この説明書はナビゲーションシステムの取り扱いについて説明しています。
ご使用前に本書を十分お読みいただき、安全・快適なカーライフにお役だてください。

●車両本体の取扱説明書と合わせてお読みください。
●画面は昼間(ライト消灯時)で、表示色を切り替えていない状態で撮影しています。印刷インクの関係で実際の色とは異なって見えることがあります。
●車両の仕様変更により、本書の内容の一部が車両と一致しない場合もございますので、あらかじめご了承ください。
●本書の内容の一部は、予告なく変更する場合がございます。あらかじめご了承ください。
●お車をゆずられるときには次に所有される方のために、車に取扱説明書をつけておいてください。

★…車種、グレードにより異なる装備またはオプションのため、すべての車にはついていない装備です。

◎… 販売会社で装着する注文装備品のため、すべての車にはついていない装備です。

総目次

目次

★：車種、グレード、オプションなどにより、装着の有無が異なります。◎：ディーラーオプションです。

ハンズフリーフォン

カーウイングス/アプリ★

音声操作

カメラシステム

ETC

付録

★：車種、グレード、オプションなどにより、装着の有無が異なります。◎：ディーラーオプションです。

地図上のマークや記号について

※ 印刷インクの関係で実際の色とは異なって見えることがあります。

目的地設定、登録をしたときのマーク

記号	記号の意味
	自車マーク
	目的地
S	出発地
1	経由地 （番号は経由する番号）
IN	高速道路入口
OUT	高速道路出口
	フェリー乗り場
	ガイド地点（ルートガイドが行われるポイント）
	登録地
	一方通行マーク （市街地図のみ）
!	交通事故多発地点

ガイド中のルート、道路、鉄道など

ガイド中のルート表示	
有料・高速道路	
一般道路	
細街路（約3〜5m）	

道路・鉄道などの表示（例）	
有料・高速道路	
国道	
県道・主要地方道路	
一般道	
その他の一般道	
鉄道（JR）	
鉄道（私鉄）	
トンネル	

VICS地図情報

■ 駐車場／パーキングエリア／サービスエリア

空き状況	駐車場	PA／SA
空車（70%以下）		
混雑（70〜90%）		
満車（90%以上）		
不明（情報なし）		
閉鎖		−

■ 渋滞情報表示

交通状況：色	VICS交通情報	プローブ交通情報（※1）
渋滞：赤		
混雑：橙		
順調：緑		

知識

（※1）プローブ交通情報とは、収集したカーウイングス会員の走行データから生成した交通情報です。渋滞情報ダウンロードや最速ルート探索などでカーウイングス情報センターから最新の交通情報をダウンロードしたときに表示されます。

■ 交通障害・規制情報記号

記号	記号の意味
	事故
	故障車
	障害物・路上障害
	作業
	工事
	凍結
	通行止め・閉鎖
80	速度規制（10〜80km/h間の10km/hごとに表示）
	車線規制
	入口制限
	徐行
	進入禁止
	片側交互通行
	対面通行
	入口閉鎖
	大型通行止め
	チェーン規制

本書の見かた

本書ではスイッチや操作画面のメニュー項目などをマークで表しています。また、車種や仕様によりすべての車についていない装備や機能などにも識別用のマークを付けています。

本書で使用しているマークの見かたは以下の通りです。

本書で使用している画面やイラストは、仕様によりお客様の車両と異なる場合があります。

マーク	説明
設定	コントロールパネルやステアリングなどにあるスイッチを表します。
自宅へ帰る	操作画面や地図上に表示されるメニューや項目を表します。
★	グレードにより異なる装備またはオプションのため、すべての車にはついていない装備です。
◎	日産販売会社で装着する注文装備品のため、すべての車にはついていない装備です。

本書では、安全上の注意・警告、お客さまに守っていただきたいこと、または知っていると便利な情報などを下記のように書き分けています。

表示	説明
⚠警告	安全のために必ず守っていただきたいこと。 守らないと生命の危険または重大な傷害につながるおそれがあります。
⚠注意	安全のために必ず守っていただきたいこと。 守らないと傷害または事故につながるおそれがあります。
アドバイス	ナビをご使用するときに守っていただきたいこと。 守らないとシステムの破損につながるおそれや正規性能を確保できないことがあります。

安全上のご注意

ナビをご使用になる前に、以下の注意事項を必ずお読みください。
これらは安全のために重要ですので、よくお読みの上、正しくお使いください。

運転中のご注意

安全にお車を運転していただくために、以下の注意事項をお読みください。

⚠ 注意

- **操作または画面を注視する際は、必ず安全な場所に停車してください。**
- **運転中にオーディオなどを使用されるときは、車外の音が聞こえる音量でご使用ください。外部の音が聞こえない状態で運転すると、安全運転の妨げになります。**

アドバイス

- 道路状況やナビの精度により、不適切な案内をすることがあります。必ず実際の交通規制・道路状況にしたがって走行してください。

停車時のご注意

⚠ 警告

- **屋内など換気の悪いところでの操作は、エンジンを切ってから行ってください。車内や屋内に排気ガスが充満して一酸化炭素中毒になるおそれがあります。**

アドバイス

- エンジンを止めた状態でのご使用は、バッテリーあがりの原因となります。

  テレビなどのご利用はエンジンをかけて行ってください。

ナビ本体についてのご注意

ナビ本体のお取り扱いについて、以下の注意事項をお読みください。

⚠ 警告

- **ナビ本体および接続機器を分解・改造・取り外しなどしないでください。感電・故障などの原因となります。**
- **故障の原因となりますので、ナビ本体およびUSBメモリなどの挿入口に異物を入れないでください。**
- **画面が表示されない、音が出ないなど、異常が発生したときは使用を中止してください。お客さまご自身で修理を行わずに必ず「日産販売会社」にご相談ください。**

アドバイス

- 低温時や高温時にデータ読み込みやデータ書き込みができず、一部の機能が動作しない場合があります。
- 本製品の故障、誤作動または不具合により保存されなかった場合のデータおよび消失したデータの補償は致しかねます。あらかじめご了承ください。
- ETCユニットを改造すると電波法により罰せられることがあります。

接続機器についてのご注意

⚠ 警告

- **ナビに接続するオーディオ用ケーブルなどを、SRSエアバッグの作動を妨げるような場所に設置しないでください。エアバッグが正常に作動しなくなったり、SRSエアバッグの作動時に接続機器が飛ばされるなどにより、死亡・重傷に至ることがあります。**

⚠ 注意

- **ナビに接続するオーディオ機器または接続用のケーブルは、運転の邪魔にならない場所に固定するなどしてください。運転に支障をきたし、交通事故の原因になることがあります。**

アドバイス

- iPodやUSB、携帯電話およびその接続用のケーブルなどを直射日光のあたるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障する恐れがあります。使用しないときは、直射日光のあたらないところに保管してください。
- 静電気や電気的ノイズを受けたり、暖房器具の熱が直接あたる恐れのある場所にiPodやUSBメモリなどを放置しないでください。データが破壊される恐れがあります。

安全運転のための機能

安全に運転をしていただくために、走行中は操作できない機能があります。

運転中操作できない機能は、メニューを選べなくなります。

また、ハンズフリーフォンや10キー入力などの操作もできなくなります。

安全な場所に停車してから操作を行ってください。

停車中

走行中

■ 画像表示制限

画像表示（テレビ、DVDなどの動画、CDジャケットなどの写真画像）はパーキングブレーキをかけたときのみご覧になることができます。

停車中

走行中

本装置には、技術基準適合認定を受けた無線機器を搭載しております。

R 005-100432

本装置は、（財）電気通信端末機器審査協会による技術基準適合認定を受けております。

T AD13-0061005

★：車種、グレード、オプションなどにより、装着の有無が異なります。◎：ディーラーオプションです。

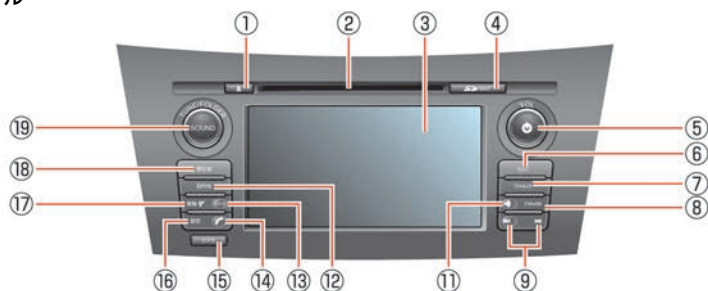
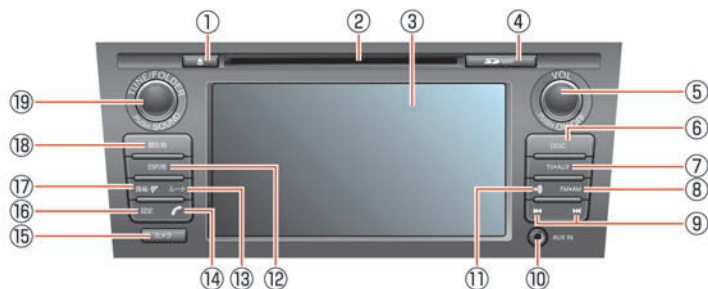
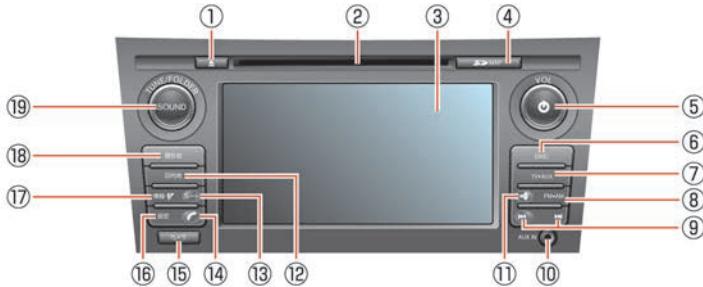
さぁ、はじめましょう！

基本的な使いかた

本システムは、画面タッチパネルとコントロールパネル上またはステアリングにある各スイッチを使って操作します。コントロールパネルやステアリングスイッチの色は、車種によって異なります。

各部の名称と機能

■ コントロールパネル

エクストレイル

セレナ

ティアナ

① [▲]スイッチ
CD/DVDを取り出します。

② **CD/DVD挿入口**

③ **ディスプレイ**

④ **SDカード挿入口**
地図データの入ったSDカードが挿入されています。
SDカードを挿入するには、カバーを外す必要があります。挿入口にSDカードを挿し、押し込んでください。取り出すときは、SDカードを押し込むと出てきます。

⑤ [VOL]/[PUSH ON・OFF]★または[⏻]★スイッチ
回すと、音量を調節できます。
スイッチを押すと、オーディオやテレビをON・OFFします。

⑥ [DISC]スイッチ
押すごとにCD/DVD → Music Box → CD/DVDに切り替えます。

⑦ [TV・AUX]スイッチ
押すごとにTV1 → TV2 → iPod/USB → Bluetooth®オーディオ → AUXに切り替えます。

⑧ [FM・AM]スイッチ
ラジオに切り替えます。押すごとにAM → FM1 → FM2に切り替わります。

⑨ [⏮]/[⏭]スイッチ
受信できるラジオの周波数・テレビのチャンネル検索や曲送りをします。

⑩ **AUX(外部機器)接続口★**

⑪ [·))]スイッチ
交通情報に切り替えます。

⑫ [目的地]スイッチ
目的地や経由地を探します。

⑬ [ルート]スイッチ
ルートの編集や確認ができます。

⑭ [✆]スイッチ
ハンズフリーフォン操作画面に切り替わります。

⑮ [カメラ]スイッチ
カメラの映像を表示します。

⑯ [設定]スイッチ
ナビ、オーディオ、電話、カメラ、その他画面表示などを設定します。

⑰ [情報・W]スイッチ
VICS、カーウイングスなどの情報を表示します。

⑱ [現在地]スイッチ
今いる場所の地図を表示します。

⑲ [TUNE/FOLDER]/[SOUND]★または[PUSH SOUND]★スイッチ
ラジオのときにスイッチを回すと、周波数が変わります。Music Box/CD(MP3/WMA/AAC)/USBメモリのときは、再生するアルバムまたはフォルダを変更できます。スイッチを押すと、音質を設定できます。

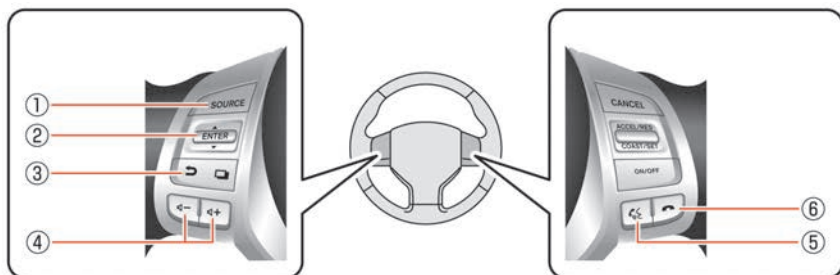
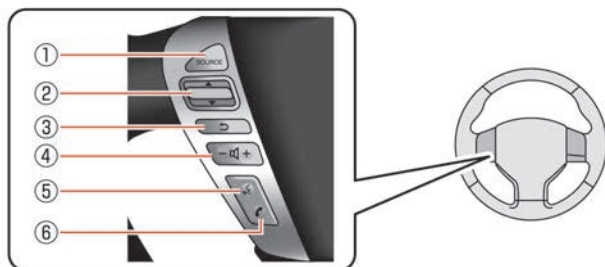
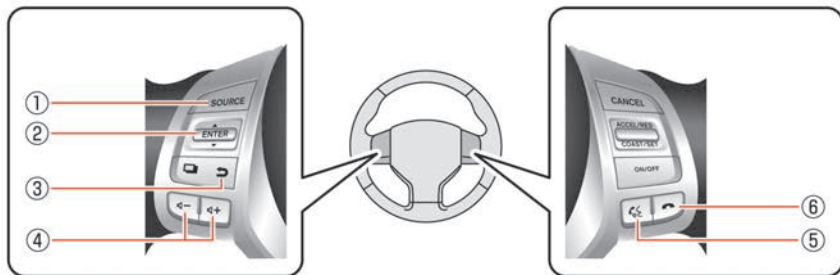
アドバイス

- CDやSDカードの挿入口に硬貨などの異物を挿入しないでください。機器の故障の原因となるおそれがあります。
- SDカードを挿入するのに、強い力で押し込み過ぎないようにしてください。カードの損傷や機器の故障の原因となるおそれがあります。
- CDやSDカードなどを取り出したとき、CDやSDカード自体が熱くなっていることがありますが、故障ではありません。
- CD／DVD挿入口にBlue-rayディスクを挿入しないでください。
- 音楽・映像データが入ったSDカードを挿入しても再生はできません。

■ ステアリングスイッチ

エクストレイル

セレナ

ティアナ

① SOURCEスイッチ
オーディオの種類を切り替えます。メディアを挿入していないときは、CDやDVDなどには切り替わりません。

② ENTER★スイッチまたはチューニングスイッチ★
上下に倒すと、ラジオ/テレビの選局やCDなどの選曲をします。（※1）

③ スイッチ
音声操作時に、1つ前の画面に戻ります。

④ ★または ★スイッチ
音声を調整します。＋側を押すと音量が大きくなり、－側を押すと小さくなります。

⑤ ★スイッチ
音声操作画面に切り替わります。
★スイッチ
音声操作画面に切り替えたり、かかってきた電話を受けたりします。

⑥ ★スイッチ
ハンズフリーフォン操作画面に切り替わります。
★スイッチ
ハンズフリーフォン操作を終了します。

(※1) • アドバンスドドライブアシストディスプレイ★の表示によっては、オーディオが操作できないことがあります。その際は、アドバンスドドライブアシストディスプレイ★の表示画面を切り替えてから操作してください。
• ENTER★スイッチを押してもナビやオーディオの操作はできません。アドバンスドドライブアシストディスプレイ★操作時のみ使用できます。

基本的な操作のしかた

本機では主にタッチパネルで操作します。

■ メニュー画面にある項目を選ぶ

1 項目をタッチする

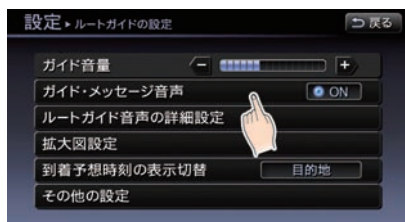
項目が決定され、次の画面を表示します。

■ 音量を調整する

1 －または＋をタッチする

タッチするごとに、目盛が変化します。

■ 機能の設定をON/OFFする

1 項目をタッチする

ON（点灯）：表示灯が点灯すると、設定がONになります。

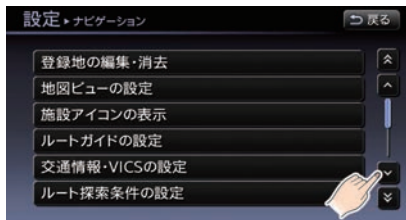
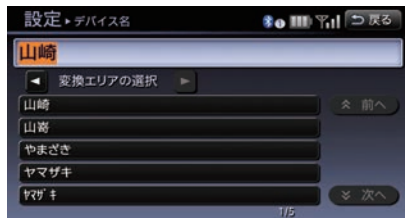
ON（消灯）：表示灯が消灯すると、設定がOFFになります。

■ 前の画面に戻る

1 戻るをタッチする

1つ前の画面に戻ります。
先頭のメニュー画面の場合は、現在地画面を表示します。

■ リストや情報画面などをスクロールさせる

1 [∧]または[∨]をタッチする

表示されていないリストや情報画面が表示されます。
タッチすると、表示されている項目を1行ずつ送ります。
[≪]または[≫]をタッチすると、次のページが表示されます。

文字／数字の入力のしかた

■ 文字を入力する

目的地の施設名称、登録地の名称、ハンズフリーフォンの設定などで文字を入力するときは、キーボード画面を使って文字を入力します。

1 入力したい文字を選ぶ

■ 漢字に変換する

1 文字を入力する

[変換]を選ぶ

2 漢字を選ぶ

漢字が確定され、文字入力画面に戻ります。

■ 文字を削除する

● 1文字ずつ削除する

1 [修正]を選ぶ

入力した最後の文字が削除されます。

● 文字を一度に削除する

1 修正 を長押しする

文字の途中にカーソルがあるときは、カーソルから右側の文字を削除します。

■ 数字を入力する

数字は数字専用キーボードで入力します。

1 入力したい数字を選ぶ

地図の操作のしかた

■ 地図を動かす

- 走行中は、地図の移動は一定の距離だけになり、市街地図表示で地図を動かすことはできません。
- 現在地の地図に戻るには、戻る をタッチするか、現在地 スイッチを押します。

● スタンダードビューの場合

1 地図をタッチする

カーソル（⊕）が表示され、タッチした場所が画面の中心になるように地図が移動します。
タッチし続けていると、その方向に地図は移動し続けます。

微調整 をタッチすると位置の微調整ができます。

解除 をタッチすると通常のカーソルに戻ります。

● バードビューの場合

1 地図をタッチする

8方向キーが表示されます。

2 8方向キーをタッチする

(上矢印):	タッチしている方向に地図が動きます。
(左回転)(右回転):	地図の向きが変わります。

タッチし続けていると、地図は動き続けます。

■ 現在地を表示する

地図を動かした後や、メニュー画面から現在地を表示します。

1 現在地スイッチを押す、または戻るをタッチする(※1)

自車マークを中心とした地図が表示されます。

知識

(※1) ルートガイド画面を表示中に現在地スイッチを押すと、現在地の地図画面とルートガイド画面を切り替えます。

■ 地図の縮尺を変える

地図の縮尺を変えることができます。

1 詳細または広域をタッチする

詳細： 地図が拡大されます。
広域： 地図が縮小されます。

■ マップメニューを使う

● 現在地のマップメニュー

マップメニューを表示させ、いろいろな操作ができます。

1 マップメニューをタッチする

2 設定したい項目を選ぶ

以下の項目が設定できます。

ここを登録：
現在地を登録地に設定します。

周辺施設を検索：
現在地周辺の施設を検索し、目的地や経由地に設定します。

地図ビューの設定：
地図ビューの切り替えや地図の表示を設定します。

施設アイコンの表示：
コンビニやガソリンスタンドなどの施設アイコンを地図上に表示させます。

VICS表示設定：
渋滞情報やVICSアイコンの地図表示を設定します。

● 地図を動かしたときのマップメニュー

1 カーソル（⊕）が表示されているときにマップメニューをタッチする

2 設定したい項目を選ぶ

以下の項目が設定できます。

ここに行く：
カーソルの地点を目的地に設定します。

ここをルートに追加：
カーソルの地点を目的地または経由地に追加します。

周辺施設を検索：
カーソルの地点周辺の施設を検索し、目的地や経由地に設定します。

ここを登録：
カーソルの場所を登録地に設定します。

渋滞情報ダウンロード：
カーソルの地点の交通情報をカーウイングス情報センターからダウンロードします。

消去(※1)：
市街地図を表示中にカーソルを合わせた地点の目的地、経由地、登録地を消去します。登録地は、登録アイコンが表示されている地点のみ消去できます。

(※1) 地図上の目的地や登録アイコンにカーソルを合わせたときに表示されます。

画面の見かた

ナビの画面表示は、ルートや場所を表示する地図画面と設定などを行うメニュー画面があります。

地図画面の見かた

■ 現在地の地図表示

① **ETCアイコン**
ETCが使用可能なときに表示されます。

② **アンテナ表示**
接続している携帯電話の受信状態を表示します。

③ **時計**
現在時刻を表示します。12時間／24時間表示を切り替えることができます。

④ オペレータ
タッチすると、カーウイングスのオペレータにつながります。

⑤ マップメニュー
タッチするとマップメニューを表示します。

⑥ **方位マーク**
地図の北方向を示します。タッチすると、地図の方向を変えることができます。（スタンダードビュー時のみ）

：　地図の向きが北を上のとき。

：　地図の向きが進行方向を上のとき。
車の進行方向にマークが動きます。

⑦ **縮尺サイズ**
地図の縮尺サイズを示します。広域または詳細をタッチすると縮尺を変えられます。

⑧ **現在地の情報**
状況に応じて以下の情報が表示されます。
- 自車位置付近の地名
- 走行中の道路の名称
- 次に通過する交差点の名称

⑨ **自車マーク**
自車位置と進行方向を示します。

⑩ **VICS情報受信時刻**
VICS情報の受信時刻を表示します。

■ ルートガイド中の地図表示

① **簡易右左折表示**
次に曲がる交差点までの距離と、曲がる方向を示します。

② **ガイド中のルート**
目的地までの道路を示します。道路の種類によって色分けされます。

有料・高速道路: （緑）

一般道路: （黄緑）

細街路（約3〜5m）: （深緑）

③ **ガイド地点**
ルートガイドが行われる地点を示します。

④ **目的地までの距離、到着予想時刻**
ルートが設定されていると表示します。

a) 目的地までの距離
b) 到着予想時刻

地図上の記号について

■ 目的地設定、登録をしたときのマーク

目的地を設定や場所を登録すると地図上に表示されるマークです。マークによっては、設定メニューで表示をON/OFFしたり、情報を見ることができます。

地図上記号（例）

 自車マーク

  ガイド地点（ルートガイドが行われるポイント）

 目的地

 出発地

 経由地

 登録地（橙）

  一方通行マーク（市街地図のみ）

 高速道路入口

 高速道路出口

 交通事故多発地点

 フェリー乗り場

 冬季通行止め道路

 時間規制道路

 経路断裂時

■ 道路、鉄道など

道路の種類や鉄道などは色分けして、地図上に表示されています。

道路、鉄道などの表示（例）

種類	色
有料・高速道路	（紺）
国道	（紫）
県道・主要地方道路	（深緑）
一般道	（灰色）
その他の一般道	（白）
鉄道（JR）	（白／黒）
鉄道（私鉄）	（黒）
トンネル	（青／紺）

■ VICS情報表示

渋滞情報

交通状況：色	VICS交通情報	プローブ交通情報
渋滞：赤		
混雑：橙		
順調：緑		

交通障害・規制情報記号

- 事故
- 故障車
- 障害物・路上障害
- 作業
- 工事
- 凍結
- 通行止め・閉鎖
- 速度規制（10〜80km/h間の10km/hごとに表示）
- 車線規制
- 入口制限
- 徐行
- 進入禁止
- 片側交互通行
- 対面通行
- 入口閉鎖
- 大型通行止め
- チェーン規制

駐車場／パーキングエリア／サービスエリア

空き状況	駐車場	PA／SA
空車（70%以下）	P	PA
混雑（70〜90%）	P	PA
満車（90%以上）	P	PA
不明（情報なし）	P	PA
閉鎖	P	—

■ 地図記号（例）スタンダードビュー

地図上の施設などを示す記号が表示されています。地図記号は常に地図に表示されていて、消すことはできません。

 都道府県庁

 市役所、東京都の区役所

 町村役場、指定都市の区役所

 警察署

 官公庁

消防署

 郵便局

 自衛隊

 海水浴場

 教会

 スタジアム

 墓地

 テーマパークゲート

 冬期通行止め

 山

 温泉、鉱泉

 城跡

 史跡、名勝、灯台

 港

 マリーナ

 工場

 病院

神社

 寺院

 高塔、展望タワー

 動物園

 植物園

 水族館

 パーキングエリア

 飛行場

 公園

 ゴルフ場

 文化施設

 キャンプ場

 その他の施設

 インターチェンジ

 サービスエリア

 ガソリンスタンド

 カー用品店

 スキー場

 日産販売会社

メニュー画面の見かた

① **画面タイトル**
現在のメニューのタイトルを表示します。

② **設定メニュー／リスト**
項目を選択すると、次の設定画面が表示されます。

③ **戻る**
1つ前の画面に戻ります。メニュー画面の先頭の場合は、現在地画面を表示します。

④ **調整ゲージ**
－または＋を押して音量や画質を調整します。

⑤ ︿/﹀
選択する項目を1つずつ送ります。

⑥ **ショートカット**
よく使う機能を簡単に操作できます。

⑦ **ON （オンスイッチ）**
機能をONまたはOFFにします。

⑧ ︽／︾
複数のページがある場合は、ページを送ります。

はじめに設定しておきたいこと

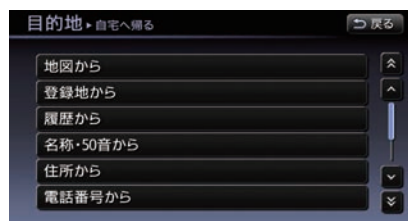
自宅を登録する

自宅を登録しておくと、簡単に目的地として設定することができます。

1 目的地スイッチを押す

自宅へ帰るを選ぶ

メッセージが表示されたらはいを選びます。

2 自宅の場所を探す方法を選ぶ

例）地図からを選びます。

3 自宅の場所に⊕を合わせ、決定をタッチする

4 終了をタッチする

設定した場所が自宅として登録されます。

音量調整をする

1 設定スイッチを押す

音量調整を選ぶ

2 設定したい項目を選ぶ(※1)

ガイド音量：
音声ガイドの音量を調整します。

ガイド・メッセージ音声：
ガイドのON/OFFを設定します。

着信音量：
電話の着信音量を調整します。

受話音量：
電話の受話音量を調整します。

送話音量：
電話の送話音量を調整します。

CARWINGS音量：
カーウイングスのオートプレイの音量を調整します。

操作音：
スイッチなどを押したときの「ピッ」という音のON/OFFを設定します。

ON（点灯）：操作音をONにします。
ON（消灯）：操作音をOFFにします。

(※1) ガイド音量、電話着信音量、電話受話音量、カーウイングス読み上げ音量は、その音が出ているときにVOLスイッチで調整することができます。調整時は、画面下部に調整する音量の種類がアイコンで表示され、現在の音量がバーグラフで表示されます。

画面の調整をする

画面表示をOFFにしたり、画質を調整できます。

1 設定スイッチを押す

画質・画面消しを選ぶ

2 設定したい項目を選ぶ

画面消し：
画面表示を消します。

明るさ：
明るさを調整します。

コントラスト：
コントラストを調整します。

地図の表示色切替：
ナビの画面を夜画面と昼画面に切り替えます。（※1）

知識

（※1）オートライト付車では、ライトスイッチのポジションがオートの場合、ライトの自動点灯、自動消灯に連動してモニター画面の表示色が切り替わります。ライトを手動で点灯しても、周囲が明るいとモニター画面の表示色は切り替わりません。

■ 画面表示をON/OFFする

1 設定スイッチを押す

画質・画面消しを選ぶ

2 画面消しを選ぶ

ON（点灯）：　画面表示をOFFにします。

ON（消灯）：　画面表示をONにします。

設定スイッチを長押ししても、画面表示をON/OFFすることができます。

■ 画面の明るさを調整する

1 設定スイッチを押す

画質・画面消しを選ぶ

2 明るさを選ぶ

－または＋を選んで明るさを調整します

3 調整後戻るをタッチする

■ 画面のコントラストを調整する

1 設定スイッチを押す

画質・画面消しを選ぶ

2 コントラストを選ぶ

－または＋を選んでコントラストを調整します。

3 調整後戻るをタッチする

時計を設定する

時計を画面上に表示させたり、時刻を調整できます。

時計に表示されている時刻は、GPSシステムにより、ほぼ正確に表示されます。

1 設定スイッチを押して、時計を選ぶ（※1）

2 設定したい項目を選ぶ

常時表示：
画面上の時計表示のON/OFFを設定します。

ON（点灯）：
時計を画面上に表示させます。

ON（消灯）：
時計を画面上に表示させません。

24時間表示：
12時間／24時間表示を切り替えます。

ON（点灯）：
24時間表示になります。

ON（消灯）：
12時間表示になります。

オフセット調整：
時間を調整します。
1分単位で調節できます。

（※1） 車種によっては、その他の設定→時計から設定することができます。

携帯電話を接続する

ハンズフリーフォンや最新の交通情報などを取得するには、携帯電話機を本機に接続します。

携帯電話の接続方法は、Bluetooth®を使った接続方法のみです。

■ Bluetooth®で接続する

お手持ちの携帯電話をBluetooth®で接続するには初期登録が必要です。

Bluetooth®携帯電話は、Bluetooth®オーディオ機器と合わせて5台まで登録することができます。

既に5台まで登録してある場合は、登録されているBluetooth®携帯電話・オーディオ機器を1台消去してから登録してください。

初期登録後は電源ポジションをACC(※1)またはONにすると自動的に接続されます。

別の携帯電話を使用したい場合は、電話の選択を行ってください。

電話機を選択する…p.169

(※1) エクストレイルのACC状態については、車両取扱説明書をご覧ください。

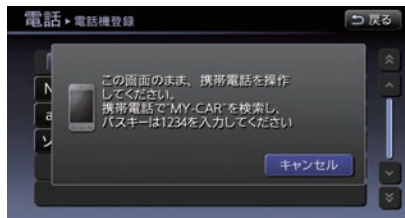
● Bluetooth®携帯電話の初期登録

Bluetooth®携帯電話の初期登録をするときは、登録する携帯電話をご用意ください。

1 スイッチを押す

電話機登録 を選ぶ

2 キャリア名（携帯事業者名）を選ぶ

以下のメッセージが表示されます。

ここからは携帯電話機での操作になります。

携帯電話のBluetooth®設定でデバイス検索し、「MY-CAR」を選択してください。 設定する機種によっては、パスキー（Bluetooth®携帯電話を本機に登録するためのパスワード）が必要な場合があります。その場合は、画面に表示されているパスキーを携帯電話に入力してください。

携帯電話機側の詳しい操作方法は、携帯電話の操作手順書を参照ください。またBluetooth®携帯電話の初期登録方法については、カーウイングスホームページ（www.nissan-carwings.com）の「適合携帯電話一覧」でご覧いただけます。

アドバイス

Bluetooth®の登録中に電源ポジションをOFFにした場合、登録は中止されます。故障の原因になりますので、登録中は電源ポジションをOFFにしないでください。

ナビゲーション

地図表示について

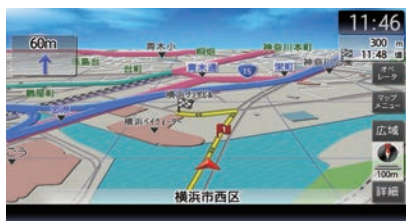
地図の種類

地図の表示は、スタンダードビューとバードビュー®の2種類があります。

■ スタンダードビュー

通常の平面図です。

■ バードビュー®

上空から見下ろしたような地図です。常に進行方向を上に表示します。

バードビュー®は、クラリオン株式会社の登録商標です。

■ 市街地図

場所により、地図の縮尺が詳細になると、建物などがより詳しく表示されます。

スタンダードビュー

バードビュー®

市街地図について

- 地図を詳細にしても市街地図にならない場合があります。
- 市街地図の状態で走行して、収録エリア外に出たときに地図が表示されなくなることがあります。しばらく走行を続けると、自動的に50mなどの縮尺の地図になります。
- 走行している地域によっては、地図が再表示されるまでに時間がかかることがあります。
- 一方通行の道路は、⇐マークが表示されます。

交通情報マークを表示する‥p.40

地図の設定を変える

現在地が表示されていないときは、現在地スイッチを押してください。

■ 地図ビューを変える

1 マップメニュー → 地図ビューの設定をタッチする(※1)

2 表示したい地図ビューをタッチする

スタンダードビュー：
通常の平面画面になります。
バードビュー：
上空から進行方向を見下ろした状態の地図になります。
2画面（スタンダードビュー）：
左右ともスタンダードビューの2画面になります。
2画面（バードビュー）：
左画面がスタンダードビュー、右画面がバードビュー®の2画面になります。

■ 地図の向きを変える

1 マップメニュー → 地図ビューの設定 → 地図表示設定 → 地図の向きをタッチする

2 地図の向きを選ぶ

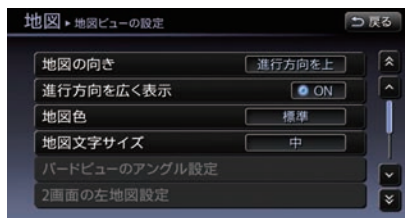
北を上：
北を上の方向に表示した地図になります。
進行方向を上：
進行方向が上の地図になります。

地図画面にあるまたはをタッチしても地図の向きを変更できます。

● 進行方向を広くする

進行方向を上がONのときのみ設定できます。

1 マップメニュー → 地図ビューの設定 → 地図表示設定をタッチする

2 進行方向を広く表示をタッチする

ONが点灯します。
自車マークの位置を中央より下にして、進行方向より広く表示します。

(※1) 設定スイッチ → ナビゲーション → 地図ビューの設定の手順でも設定できます。

■ 地図上の文字の大きさを変える

1 マップメニュー → 地図ビューの設定 → 地図表示設定 → 地図文字サイズをタッチする

2 設定したい文字サイズを選ぶ

ONが点灯します。右側のプレビュー画面で確認できます。

大：文字サイズを大きくします。

中：通常の文字サイズを表示します。

小：文字サイズを小さくします。

■ 地図の色合いを変える

1 マップメニュー → 地図ビューの設定 → 地図表示設定 → 地図色をタッチする

2 地図色を選ぶ

ONが点灯し、右側のプレビュー画面で確認できます。

標準：基本の地図色です。

道路強調：道路を強調します。

渋滞強調：渋滞情報を強調します。

■ バードビュー®の見下ろし角度を変える

1 マップメニュー → 地図ビューの設定 → 地図表示設定 → バードビューのアングル設定をタッチする

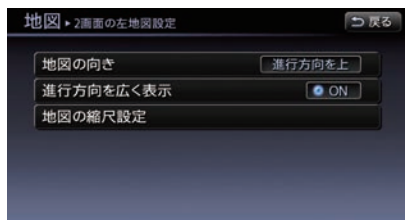
2 上げるまたは下げるをタッチする

上げる：見下ろし角度が上がります。

下げる：見下ろし角度が下がります。

■ 2画面の左地図を設定する

1 マップメニュー → 地図ビューの設定 → 地図表示設定 → 2画面の左地図設定をタッチする

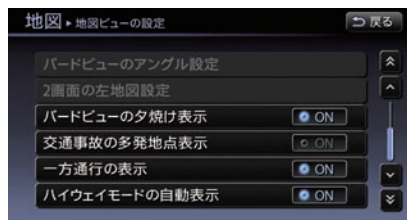
2 設定したい項目をタッチする

地図の向き：
北を上または進行方向を上に設定します。

進行方向を広く表示：
進行方向が上の表示のときのみ設定できます。進行方向をより広く表示します。

地図の縮尺設定：
左地図の縮尺を調整します。

■ バードビュー®の夕焼け表示を設定する

1 マップメニュー → 地図ビューの設定 → 地図表示設定をタッチする

2 バードビューの夕焼け表示をタッチする

ONが点灯し、夕焼け表示が設定されます。
日の出や日の入り前後にバードビュー®の空が夕焼けで表示されます。

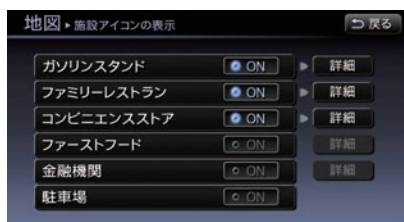
施設アイコンを表示／非表示にする

地図上にコンビニ、駐車場などの施設アイコンを表示できます。(※1)

現在地が表示されていないときは、現在地スイッチを押します。

1 マップメニューをタッチする

2 施設アイコンの表示をタッチする

3 表示したい施設をタッチする(※2)

選択した施設のONが点灯します。
詳細を選ぶと、特定の企業のみ表示できます。(※3)

知識

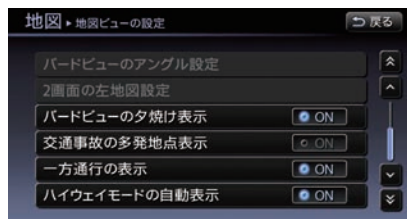
(※1) 地図の縮尺レベルが2km以上のときは、施設アイコンは表示されません。
(※2) 施設アイコンは複数選択して表示できます。
(※3) それぞれのジャンルで特定企業の施設アイコンのみを表示したい場合は、詳細をタッチして、表示される企業のリストから選択します。

ナビゲーション

交通情報マークを表示する

地図上に交通事故多発地点マークと一方通行マークを表示できます。

1 マップメニュー → 地図ビューの設定 → 地図表示設定をタッチする

2 表示したい項目をタッチする

交通事故の多発地点表示：
地図上に マークを表示します。

一方通行の表示：
地図上に マークを表示します。(※1)

知識

(※1) 市街地図表示時のみ表示されます。

目的地を探す

目的地を探すにはいくつかの方法があります。
(※1)

自宅へ帰る

自宅へ帰る……p.42

登録地から

登録地から探す……p.42

履歴から

履歴から行き先を探す……p.43

名称・50音から

施設の名前で探す……p.43

周辺施設から

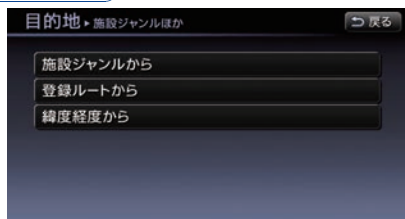
現在地周辺にある施設を探す……p.44

電話番号から

電話番号で探す……p.46

住所から

住所で探す……p.45

施設ジャンルほか

施設ジャンルから

施設のジャンルで探す……p.46

登録ルートから

登録したルートから探す……p.48

緯度経度から

緯度経度を入力して探す……p.49

(※1)
- 登録地の追加やルート編集画面で行先の追加などで一部メニューが変わることがあります。
- すでに目的地がある場合には追加を確認するメッセージが表示されます。
- 目的地を設定してルートガイドを開始する前に、目的地やルートの確認や変更をすることもできます。

ルートガイド……p.51

★：車種、グレード、オプションなどにより、装着の有無が異なります。◎：ディーラーオプションです。

自宅へ帰る

1 目的地スイッチを押す

2 自宅へ帰るをタッチする

自宅が未登録の場合はメッセージが表示されます。あらかじめ自宅を登録してください。

自宅を登録する……p.30

3 ガイドを開始をタッチする

登録地から探す

あらかじめ場所を登録する必要があります。

場所を登録する……p.71

1 目的地スイッチを押す

登録地からをタッチする

2 登録地をタッチする

並べ替え：
リストの並べ替えができます。

新規登録：
登録地の新規登録ができます。

3 ガイドを開始をタッチする

履歴から行き先を探す

1 目的地スイッチを押す

履歴からをタッチする

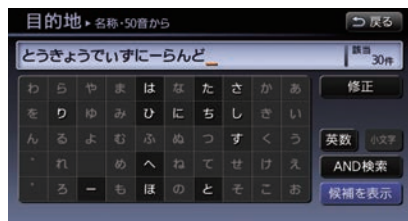
2 前回の出発地または目的地を選ぶ

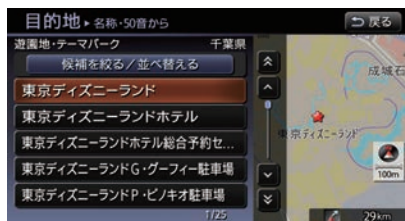
3 ガイドを開始をタッチする

施設の名前で探す

1 目的地スイッチを押す

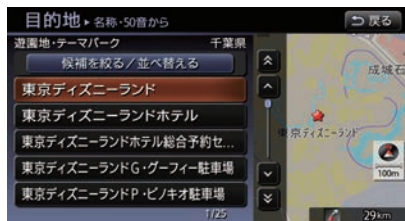
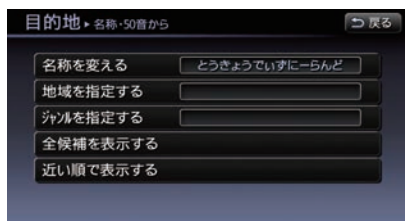
名称・50音からをタッチする

2 キーワードを入力し、候補を表示をタッチする

AND検索を選ぶと、入力欄にANDが挿入され、キーワードを入力できます。ANDの後ろには、名称、ジャンル、地名をキーワードとして入力できます。ANDの前に入力するキーワードは必ず名称を使用してください。キーワードの組み合わせによっては、検索できないことがあります。

3 目的地にしたい施設をタッチする

4 ガイドを開始をタッチする

■ 候補を絞る／リストを並び替える

名称・50 音からや施設ジャンルからで検索したリストの絞り込みや並べ替えができます。

1 候補を絞る／並べ替えるをタッチする

2 項目をタッチする

名称を変える：
名前を修正・入力します。

地域を指定する：
地域を指定して絞り込みます。

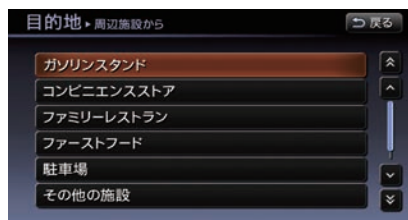
ジャンルを指定する：
ジャンルを指定して絞り込みます。ジャンル名の入力もできます。
全候補を表示する：
すべての候補を表示します。
近い順で表示する：
近い順に並べ替えます。

現在地周辺にある施設を探す

ここでは「駐車場」を例にして説明します。

1 目的地スイッチを押す

周辺施設からをタッチする(※1)

2 駐車場をタッチする

その他の施設をタッチすると、さらに多くの施設ジャンルから選ぶことができます。

3 目的地にしたい施設をタッチする(※2)

4 ガイドを開始をタッチする

(※1) マップメニューからでも、検索することができます。

(※2) ルート沿いのみ表示をONにすると、ルート周辺の施設を自車位置から近い順に、OFFまたは非表示のときは自車位置を中心とした周辺施設を近い順に表示します。

住所で探す

ここでは「神奈川県横浜市西区高島1-1-1」を例に説明します。

1 目的地 スイッチを押す

住所から をタッチする

2 神奈川県 → 横浜市西区 → 高島 をタッチする

リスト画面の50音をタッチすると、タッチした文字で始まるリストが表示されます。

3 番地を入力し、検索 をタッチする(※1)

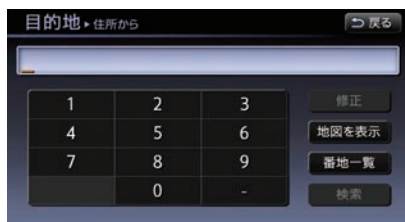
4 ガイドを開始 をタッチする

知識

(※1)
- 番地一覧 を選ぶと番地リストが表示されます。またアルファベットなど数字以外で始まる番地も表示します。
- 地図を表示 を選ぶと地図で位置を確認できます。

■ 途中で地図が表示されたとき

地図を表示 をタッチした場合や住所入力などの途中で地図が表示された場合は、地図から場所を選んで目的地に設定できます。

1 地図を表示 をタッチする

2 位置を修正して、決定 をタッチする

修正した位置を目的地（経由地）にして、ルートを探索します。

3 ガイドを開始 をタッチする

ナビゲーション

電話番号で探す

1 目的地スイッチを押す

電話番号からをタッチする

2 電話番号を市外局番から入力し、検索をタッチする(※1)

3 ガイドを開始をタッチする

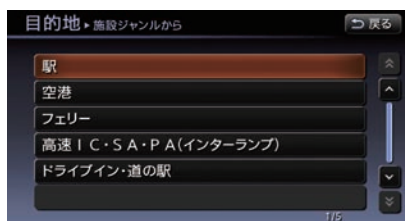
(※1) • 入力した電話番号に該当する施設が複数ある場合は、施設リストが表示されます。
• 個人宅の電話番号は、個人情報保護のため収録されておりません。

施設のジャンルで探す

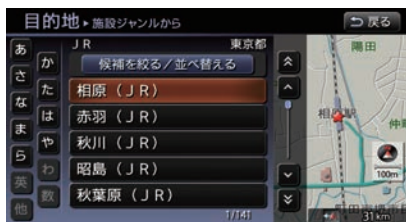
「東京にある駅」を例にして説明します。

1 目的地スイッチを押す

施設ジャンルほか → 施設ジャンルから → 交通機関をタッチする

2 駅をタッチする

3 東京都をタッチする

4 路線名をタッチする(※1)

5 目的の駅をタッチする

6 ガイドを開始をタッチする

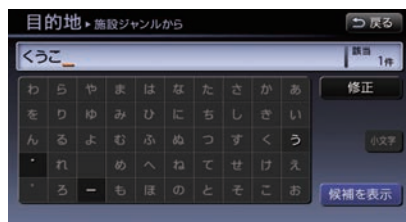
■ ジャンル名を入力して検索する

ジャンル名を直接入力して探せます。

「東京の空港」を例にして説明します。

1 目的地スイッチを押す

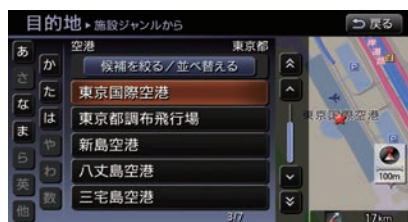
施設ジャンルほか → 施設ジャンルから → ジャンル名入力をタッチする

2 ジャンル名を入力し、候補を表示をタッチする

3 施設ジャンルをタッチする

(※1)
- リスト画面の50音をタッチすると、タッチした文字で始まるリストが表示されます
- 候補を絞る／並べ替えるをタッチすると、リストの絞り込みや並べ替えができます。

ナビゲーション

4 東京都をタッチする

5 目的の施設をタッチする

6 ガイドを開始をタッチする

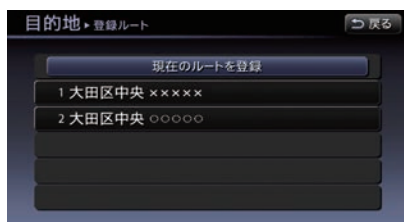
登録したルートから探す

あらかじめルートを登録する必要があります。(※1)

ルートを登録する…p.75

1 目的地スイッチを押す

施設ジャンルほか → 登録ルートからをタッチする

2 設定したいルートをタッチする

3 ガイドを開始をタッチする

(※1) ルートの登録は地点や探索条件のみが登録され、探索したルートは登録されていません。登録ルートを利用するときにルート登録時と現在地、道路状況などが異なる場合は、前回と異なるルートを表示することがあります。

緯度経度を入力して探す

1 目的地スイッチを押す

施設ジャンルほか → 緯度経度からをタッチする

2 緯度と経度を入力し、決定をタッチする

3 ガイドを開始をタッチする

地図を動かして場所を探す

1 行きたい地点に⊕を合わせ、マップメニューをタッチする

2 ここに行くをタッチする

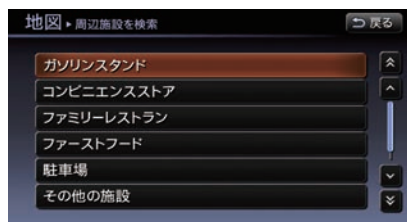
3 ガイドを開始をタッチする

地図を動かして周辺施設を検索する

カーソル（⊕）を中心とした周辺施設を近い順に最大100件まで表示します。

1 行きたい地点に⊕を合わせ、マップメニューをタッチする

2 周辺施設を検索をタッチする

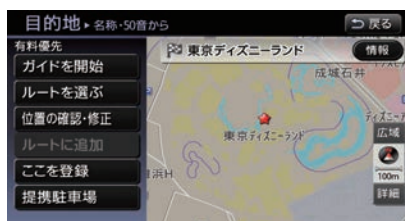
3 施設ジャンルを選ぶ

4 目的の施設をタッチする

5 ガイドを開始をタッチする

目的地を見つけたら

場所を探したあと、目的地に設定する前に位置の修正や登録、施設などの情報を確認できます。

自宅へ帰る、周辺施設から、登録ルートからを選んで目的地を設定した場合、この設定画面は表示されません。

1 場所を探す

以下の項目が設定できます。

- ガイドを開始:

  検索した地点が目的地に設定され、ルート探索します。

- ルートを選ぶ:

  ルートの確認や変更をしたり、行き先を追加できます。

  ルートガイドを開始する前に‥‥p.51

- 位置の確認・修正:

  地図画面が表示され、位置を修正できます。

- ルートに追加:

  ルートが設定されている場合は、検索した場所を目的地または経由地として追加できます。

- ここを登録:

  検索した地点を登録します。

- 提携駐車場:

  検索した地点の駐車場を表示します。

- 施設入り口:

  検索した施設の入口を表示します。

ルートガイド

ルートガイドを開始する前に

ルートガイドを始める前に、ルートの確認や他のルートを選択したり、施設の情報を確認できます。

■ ルート探索結果の見かた

① **設定できる項目**

ガイドを開始 :
目的地までのルートガイドを開始します。しばらく操作をしないと、自動的にガイドを開始します。

ルートガイドを開始する‥‥p.52

他のルートを選ぶ :
複数のルートがある場合は、他のルートに変更できます。

他のルートを選ぶ‥‥p.52

ルートの確認・登録 :
ルートの確認や登録ができます。

ルートを確認・登録する‥‥p.53

行き先を追加 :
設定したルートに目的地や経由地を追加します。

目的地や経由地を追加する‥‥p.53

最速ルート探索 :
カーウイングス情報センターから最新の交通情報をダウンロードし、最も速いルートを探索します。

最速ルートを探す‥‥p.67

② **施設名**

③ **目的地までのルート**

④ **ルート上の最初の有料道路入口と最後の有料道路出口**

タッチすると、有料区間の入口／出口を変更できます。

有料区間を修正する‥‥p.63

⑤ **目的地までの距離**

⑥ **有料道路の通行料金（目安）**

⑦ **目的地に到着する予想時刻**

■ ルートガイドを開始する

1 ガイドを開始をタッチする

ルートガイド開始時には、以下の音声ガイドが行われます。

- ルートの規制条件
- 実際の交通ルールにしたがって走行してくださいというメッセージ
- 高速道、有料道路を通る場合は、その路線名称
- 到着予想時刻

■ 他のルートを選ぶ

1 他のルートを選ぶをタッチする(※1)

2 設定したいルートを選ぶ(※2)

有料優先（推奨）：
有料道路を優先して使用する、推奨ルートです。

有料優先：
有料道路を優先して使用する、別のルートです。(※3)

一般優先（推奨）：
一般道路を優先して使用する、推奨ルートです。

一般優先：
一般道路を優先して使用する、別のルートです。

距離優先：
一般道路を優先した、距離の短いルートを設定します。（VICS情報は規制情報のみ考慮します。）

3 決定をタッチする

(※1) 経由地を設定しているときは、ルートを変更できません。

(※2) ルートが複数探索されるのは、有料区間指定を設定せず、かつ経由地が設定されていない場合または設定した経由地をすべて通過した場合のみです。

(※3)
- 有料優先のルートは、まれに有料優先（推奨）のルートよりも早くなることがあります。
- 都市間高速（東名高速、中央道、名神高速など）、都市内高速（首都高速など）や、それらに接続される一般有料道路がルートに含まれる場合、その通行料金が表示されます。ただし、料金は目安です。

■ ルートを確認・登録する

1 ルートの確認・登録をタッチする

2 項目を選んでタッチする

ルート情報：
走行ルートの道路の種類、走行距離、到着予想時刻などを確認します。

現在のルートを登録：
現在のルートを登録します。

ルートを登録する‥‥p.75

地図スクロール：
地図を動かしてルートを確認します。

■ 目的地や経由地を追加する

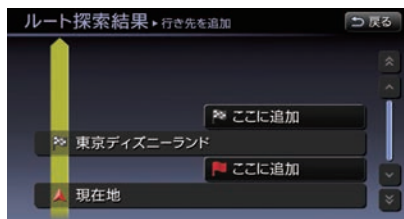
設定したルートに目的地と経由地は合わせて6ヶ所まで設定できます。

1 行き先を追加をタッチする

2 場所を探す

目的地を探す手順と同様です。

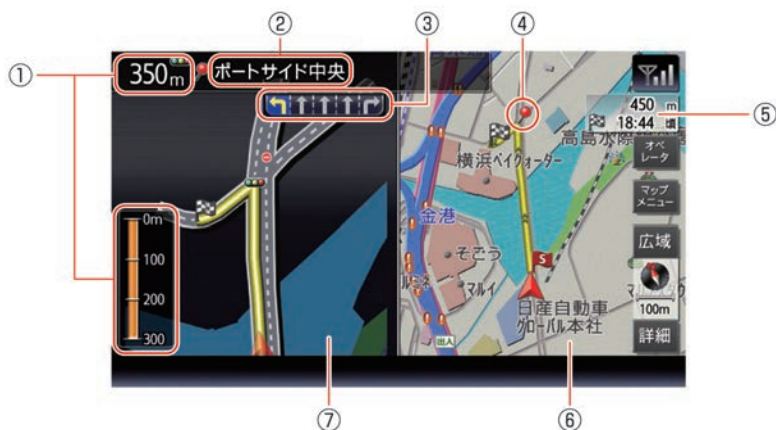
目的地を探す‥‥p.41

3 ここに追加または ここに追加をタッチする

ここに追加：
追加した地点を目的地として、前に設定した目的地は経由地に変更されます。

ここに追加：
経由地に設定されます。

ナビゲーション

ガイド画面の見かた

■ 交差点拡大図

① **ガイド地点までの距離**
現在地からガイド地点までの距離が数字とグラフで表示されます。グラフはガイド地点までの距離が近づくにつれ、減っていきます。

② **ガイド地点の名称**
交差点などのガイド地点の名称が表示されます。

③ **レーンガイド**
ルートガイドにしたがって走行しているときに、2車線以上ある道路の交差点ガイドでは、進むべき車線が黄色の矢印マークで表示されます。

④ **ガイド地点**
ルートガイドが行われるガイド地点を表すマークが表示されます。

⑤ **目的地までの距離および到着予想時刻**
現在地から目的地または経由地までの距離および到着予想時刻を表示します。

⑥ **地図画面**
現在地の地図画面が表示されます。

⑦ **ガイド地点の拡大図**
ガイド地点での曲がる方向などの拡大地図です。縮尺により道路番号や一方通行アイコンなどが表示されます。

■ 交差点リスト

ガイドする地点をリスト表示します。ガイド地点（交差点など）に近づくと、交差点拡大図に切り替わります。

① **路線番号**
現在走行中の路線を表示します。

② **VICS受信時刻**
VICS情報の受信時刻を表示します。

③ **ガイド地点までの距離**
現在地からガイド地点までの距離が表示されます。

④ **リスト送り**
タッチすると、交差点リストがスクロールされます。

⑤ **目的地（経由地）までの距離および到着予想時刻**
現在地から目的地（経由地）までの距離および到着予想時刻が表示されます。

⑥ **地図画面**
現在地の地図画面が表示されます。

⑦ **レーンガイド**
ルートガイドにしたがって走行しているときに、2車線以上ある道路の交差点ガイドでは、進むべき車線が黄色の矢印マークで表示されます。

⑧ **VICS規制情報**
交通障害や交通規制の情報を表示します。

⑨ **ガイド地点の進行方向**
ガイド地点にある交差点などの進む方向が表示されます。

⑩ **VICS渋滞情報**
渋滞状況が色別に表示されます。

⑪ **交差点リスト**
ルート上にあるガイド地点がリスト表示されます。

■ ハイウェイ情報画面

高速道・有料道路を走行すると、その路線のIC、SA、PAなどをリスト表示します。

① **VICS規制情報**
その区間に規制のあることを表示します。

② **VICS受信時刻**
VICS情報の受信時刻を表示します。

③ **ゲート案内**
一般ゲートおよびETCゲートの案内を表示します。ゲート案内は、実際のレーン数や標識とは異なる場合があります。

④ **料金表示**
ルートに有料道路があるときは、目的地までの料金総額が表示されます。ただし、料金は目安です。

⑤ **リスト送り**
タッチすると、ハイウェイリストをスクロールします。

⑥ **SA/PAの施設情報**
サービスエリアやパーキングエリアの施設情報をアイコンで表示します。

⑦ **自車マーク**
自車位置を表示します。

⑧ **VICS渋滞情報**
渋滞状況が色別に表示されます。

⑨ **ハイウェイリスト**
その地点までの到着予想時刻と距離を表示します。

■ SA/PA情報を見る

1 現在地スイッチを押して、ハイウェイ情報画面を表示する

2 情報を見たい**SA**または**PA**をタッチする

3 情報を確認する

地図を表示：
選択したSA/PAの地図を表示します。

情報を見る：
SA/PAの情報を確認することができます。

電話をかける：
表示されているSA/PAに電話をかけることができます。

施設に電話をかける‥‥p.164

SA/PAの施設アイコン（例）

- トイレ
- スナックコーナー
- 郵便ポスト
- ATM
- コインランドリー
- 保育施設
- 公衆電話
- レストラン
- 宿泊施設
- 温泉・風呂
- コイン洗車機
- ファックス
- 飲食店
- 駐車場
- ショップ
- 休憩所
- インフォメーション
- コインシャワー
- 自動販売機
- インフォメーション
- その他施設

ガイド画面を設定する

■ ガイド画面の常時表示を設定する

ガイド画面は、ガイド地点から離れていても常時表示できます。

1 マップメニュー → 地図ビューの設定 → 常時表示設定をタッチする

2 設定したいガイド画面をタッチする

常時交差点拡大図：
ガイド地点から離れていても、次の交差点拡大図を表示します。

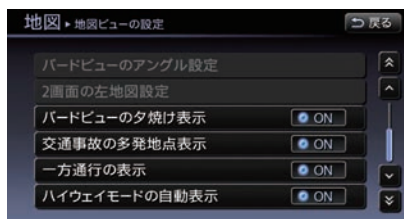
常時交差点リスト：
ガイド地点から離れている場合、ルート上のガイド地点を簡単なリストで表示します。ガイド地点に近づくと、交差点拡大図が表示されます。

常時表示解除：
ガイド地点から離れている場合、現在地の地図を表示します。ガイド地点に近づくと、交差点拡大図が表示されます。

■ ハイウェイ情報画面を設定する

高速道・有料道路を走行すると、その路線のIC、SA、PAなどをリスト表示します。

1 マップメニュー → 地図ビューの設定 → 地図表示設定をタッチする

2 ハイウェイモードの自動表示をタッチする

ONが点灯します。

目的地を表示する／消去する

設定した目的地を表示したり、消去できます。

■ 目的地を表示するには

1 目的地スイッチを押す

表示をタッチする

目的地の地図画面が表示されます。

2 設定したい項目をタッチする

位置を修正：
地図を表示して、目的地の位置を修正できます。

周辺施設を検索：
目的地の周辺施設を検索し、経由地に追加できます。

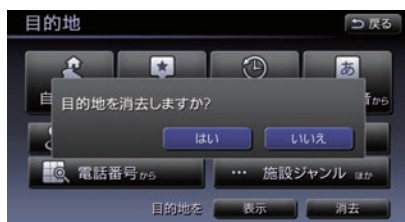
ここを登録：
設定した目的地を登録できます。

■ 目的地を消去するには

目的地を消去すると、設定したルートも同時に消去されます。

1 目的地スイッチを押す

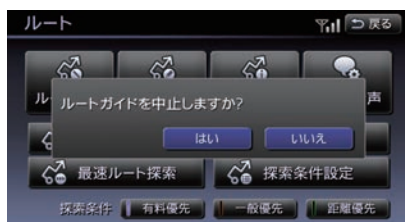
消去をタッチする

2 はいをタッチする

目的地と経由地が消去され、目的地マークと出発地マークも地図から消去されます。

ルートガイドを中止する／再開する

1 ルートスイッチを押す

ルート消去をタッチする

2 はいをタッチする

ルートガイドが一時中止されます。(※1)

ナビゲーション

ガイドを再開するには

ルートスイッチを押し、ルート復帰 → はいの順でタッチします。

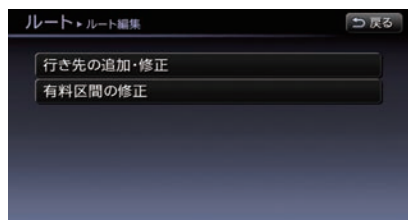
(※1) 目的地に到着するとガイドが終了し、ルートが自動的に消去されますが、出発地および目的地のマークは表示されたままになります。マークを消去するには、目的地画面の消去をタッチしてください。

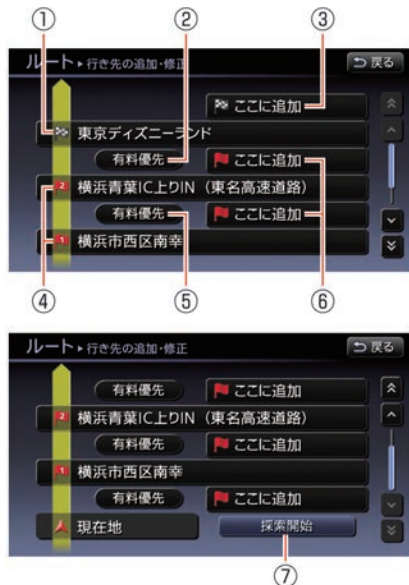
現在のルートを編集する

設定されているルートの目的地や経由地、探索条件を変更できます。

1 ルートスイッチを押す

ルート編集をタッチする

2 行き先の追加・修正をタッチする

ルート編集画面が表示されます。

ルート編集画面では以下の設定ができます。

① **目的地**：
目的地の位置の変更や消去ができます。

② **目的地までの優先道路**：
目的地までのルートについて優先的に利用する道路の種別を変更できます。

③ ここに追加：
目的地を追加できます。

④ **経由地**：
経由地の位置の変更や消去ができます。

⑤ **経由地までの優先道路**：
経由地までのルートについて優先的に利用する道路の種別を変更できます。

⑥ ここに追加：
経由地を追加できます。

⑦ 探索開始：
編集した内容を反映し、ルート探索を行います。

■ 目的地／経由地を追加する

1 ここに追加または ここに追加をタッチする(※1)

2 追加する目的地または経由地を設定する

目的地を探す手順と同様です。

3 場所を確認して、ここに決定するをタッチする

以下の操作もできます：

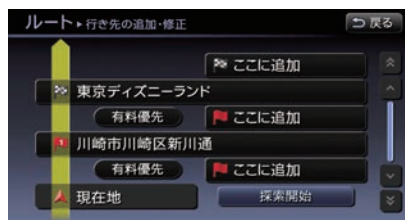
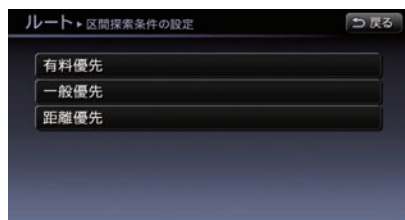
位置を修正：
地図を動かして、位置を修正できます。

情報を見る：
住所や電話番号などの情報を確認できます。

ここを登録：
探した場所を登録できます。

（※1）ここに追加をタッチすると、設定済みの目的地が経由地となり、追加する地点が目的地となります。

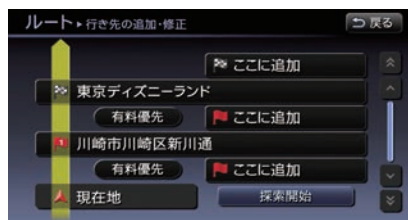
■ 探索条件を変更する

1 変更したい探索条件をタッチする

2 探索条件を選んでタッチする

有料優先：
指定した区間のみ有料道路を優先して使用します。

一般優先：
指定した区間のみ一般道路を優先して使用します。

距離優先：
一般道路を優先した、距離の短いルートを設定します。（VICS情報は規制情報のみ考慮します。）

■ 目的地／経由地を編集する

1 編集する目的地または経由地をタッチする

2 設定したい項目をタッチする

位置を修正 ：
目的地や経由地の位置を修正します。

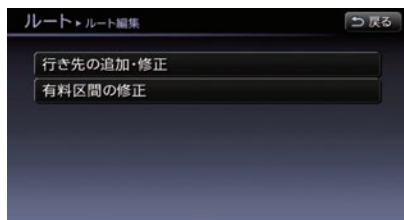
順番を変更 ：
目的地や経由地を入れ替えて、ルートの順番を変更できます。

消去 ：
目的地や経由地を消去します。(※1)

(※1) 目的地を消去した場合は、その1つ前の経由地が 目的地に代わります。目的地のみを設定している 場合は、ルートも消去されます。

■ 有料区間を修正する

1 ルート スイッチを押す

ルート編集 をタッチする

2 有料区間の修正 をタッチする

3 変更するIC入口または出口をタッチする(※1)

4 新しいIC入口または出口をタッチする(※2)

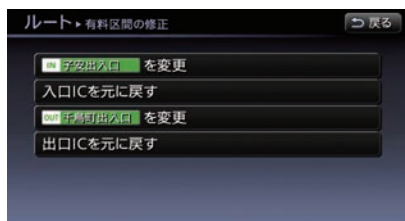
5 ガイドを開始 をタッチする

● 変更した有料区間を元に戻す

1 ルートスイッチを押す

ルート編集をタッチする

2 有料区間の修正をタッチする

3 入口ICを元に戻すまたは出口ICを元に戻すをタッチする

4 はいをタッチする

5 ガイドを開始をタッチする

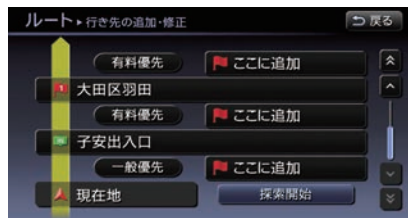
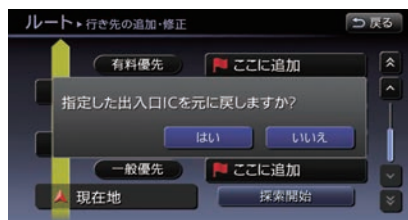
ガイドを開始をタッチせず、しばらく操作しないと、自動的にルートガイドを開始します。

(※1) 変更可能な有料区間の入口／出口は、ルート上にある最初の有料道路の入口と、最後の有料道路の出口です。

(※2)
- リストにJCT（ジャンクション）がある場合は、JCTを選ぶことで他の路線の入口／出口を選ぶことができます。
- ルート探索結果画面で、有料道路出入口名称が有料道入口または有料道出口と表示されている場合、その出入口については乗り降りする区間を指定できない場合があります。

■ 有料区間の指定を解除する

有料区間を指定している場合は解除できます。

1 解除するIC入口または出口をタッチする

2 はい をタッチする

指定した有料区間が解除され、ルート編集画面に戻ります。

現在のルートを確認・登録する

設定されているルートの情報を確認したり、登録できます。

1 ルート スイッチを押す

ルート確認・登録 をタッチする

2 確認方法を選んでタッチする

ルート情報 ：
どのルートを通るのかを確認できます。

ルートシミュレーション ：
実際に走行した場合のシミュレーションを行います。

現在のルートを登録 ：
現在のルートを登録します。

地図スクロール ：
手動で地図を動かして、ルートを確認できます。

ガイド音声を設定する

1 ルートスイッチを押す

ガイド音声をタッチする

2 ガイド音声を設定する

ガイド音量：
音量を調整します。
ガイド・メッセージ音声：
ガイド音声のON/OFFをします。

5ルートで再探索する

1 ルートスイッチを押す

再探索 → 他のルートを選ぶをタッチする

2 設定したいルートを選んで、決定をタッチする(※1)

有料優先（推奨）：
有料道路を優先して使用する、推奨ルートです。
有料優先：
指定した区間のみ有料道路を優先して使用します。
一般優先（推奨）：
指定した区間のみ一般道路を優先して使用する、推奨ルートです。
一般優先：
指定した区間のみ一般道路を優先して使用します。
距離優先：
一般道路を優先した、距離の短いルートを設定します。（VICS情報は、規制情報のみ考慮されます。）

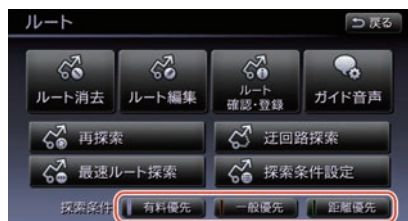
3 ガイドを開始をタッチする

設定した条件でルートを再探索し、ルートガイドを開始します。

(※1)
- 設定したルートに有料区間が指定されている場合は、1ルートのみの探索になります。5ルートで再探索する場合は、有料区間指定を解除してください。
- 設定したルートに経由地が設定されている場合は、1ルートのみの探索になります。5ルートで再探索する場合は、経由地を削除してください。
- 目的地の設定場所によっては、5ルートを表示しない場合があります。

■ ルート再探索のショートカットを使う

1 ルートスイッチを押す

2 探索条件をタッチする

有料優先：
有料道路を優先して使用したルートを設定します。

一般優先：
一般道路を優先して使用したルートを設定します。

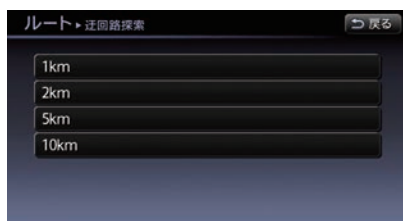
距離優先：
一般道路を優先した、距離の短いルートを設定します。（VICS情報は規制情報のみ考慮します。）

迂回ルートを探す

ルートを走行中、一時的に距離を指定して、迂回できます。

1 ルートスイッチを押す

迂回路探索をタッチする

2 迂回する距離をタッチする

選んだ距離で迂回ルートが設定されます。

最速ルートを探す

カーウイングス情報センターから最新の交通情報をダウンロードし、最速ルートを探索します。(※1)

最速ルート探索を利用すると、携帯電話の通信料金がかかります。

1 ルートスイッチを押す

最速ルート探索をタッチする

ナビゲーション

2 最新の交通情報がダウンロードされる

終了をタッチすると、ダウンロードを中断します。

3 ルートガイドが開始される

知識

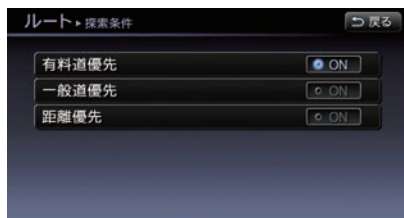
(※1) 最速ルート探索のご利用にはカーウイングスへのお申し込みが必要です。詳しくは日産販売会社またはカーウイングスお客さまセンターにお問い合わせください。

ルートの優先道路を選ぶ

■ 優先道路を変更する

1 ルートスイッチを押す

探索条件設定 → 探索条件をタッチする

2 設定したい優先道路をタッチする

有料道優先：
有料道路を優先して使用したルートを設定します。

一般道優先：
一般道路を優先して使用したルートを設定します。(※1)

距離優先：
一般道路を優先した、距離の短いルートを設定します。（VICS情報は規制情報のみ考慮します。）(※2)

知識

(※1) 一般道優先を選んでも、目的地を有料道路上（SA・PAなど）や、有料道路を通らないと到着できない場所（本州→四国、九州など）に設定すると、有料道路を通るルートを探索する場合があります。

(※2) 距離優先は一般道を優先するため、有料道路を優先したルートより距離が長くなる場合があります。

■ 最速ルート探索を設定する

アドバイス

カーウイングスへのお申し込みをしていない場合でも、自動ダウンロードを設定すると携帯電話の通信料金がかかります。カーウイングスのお申し込みをしていない場合は、行き先設定時にダウンロードをOFFにして、ダウンロード時間の間隔をダウンロードしないに設定してください。

1 ルートスイッチを押す

探索条件設定 → 最速ルート探索の自動ダウンロード設定をタッチする

2 設定したい項目をタッチする

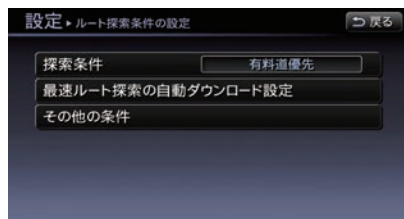
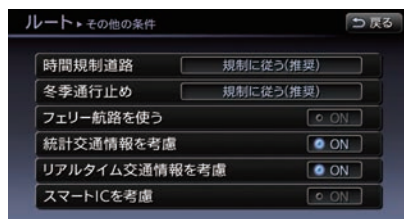
行き先設定時にダウンロード：
ルート探索時に自動で最速ルートを探索します。

ダウンロード時間の間隔：
カーウイングス情報センターに定期的に自動ダウンロードする時間の間隔を設定できます。

■ その他の条件を設定する

1 ルートスイッチを押す

探索条件設定をタッチする

2 その他の条件をタッチする

3 設定したい探索条件をタッチする

以下の探索条件が設定できます。

時間規制道路	規制に従う（推奨）： 規制のある曜日、時間を考慮してルートを設定します。 規制情報を使わない： 時間規制道路を考慮しません。規制のある道路にもルートを設定します。（実際の交通規制に従って走行してください。） 通らない： 曜日、時間にかかわらず、規制のある道路を回避したルートを設定します。
冬季通行止め	規制に従う（推奨）： 規制時期を考慮してルートを設定します。 規制情報を使わない： 冬季通行止めを考慮しません。規制のある道路にもルートを設定します。（実際の交通規制に従って走行してください。） 通らない： 冬季通行止めのある道路を回避したルートを設定します。
フェリー航路を使う	フェリー航路を優先してルートを探索します。
統計交通情報を考慮	統計交通情報を考慮して、ルートを探索します。
リアルタイム交通情報を考慮	カーウイングス情報センターからダウンロードした最新の交通情報やVICS情報を考慮して、ルートを探索します。
スマートICを考慮	スマートICを考慮して、ルートを探索します。

場所やルートを登録する

場所を登録する

登録した順に最大200件まで登録できます。

■ 現在地を登録する

現在地が表示されていないときは、現在地スイッチを押してください。

1 マップメニューをタッチする

2 ここを登録をタッチする

メッセージが表示され、カーソル（アイコン）の場所が登録されます。

■ 地図を動かして登録する

1 ⌖を合わせて、マップメニューをタッチする

2 ここを登録をタッチする

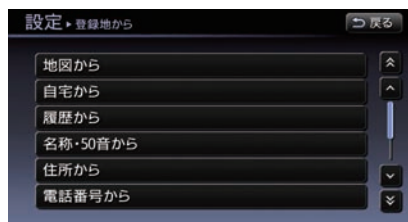
メッセージが表示され、現在地が登録されます。

■ 場所を探して登録する

1 設定スイッチを押す

ナビゲーション → 登録地の編集・消去 → 登録地をタッチする

2 新規登録をタッチする

3 場所を検索する

4 決定をタッチする(※1)

5 終了をタッチする

登録地を編集する

1 設定スイッチを押す

ナビゲーション → 登録地の編集・消去 → 自宅または登録地をタッチする

2 編集する登録地をタッチする

自宅を編集する場合は、登録地を選ぶ手順は不要です。

3 編集したい項目をタッチする

編集：
登録地の名称や電話番号の入力などができます。

位置を修正：
地図を動かして、登録した場所の位置を修正します。

消去：
登録した場所を削除します。

終了：
内容を決定して、編集を終了します。

(※1) 検索した場所の位置を修正していない場合、施設などの場所は電話番号などの情報も自動的に登録される場合があります。

登録地を消去する

アドバイス

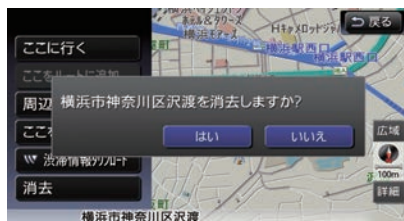
一度消去した登録地は復帰できません。十分に確認してから消去してください。

■ 地図から登録地を消去する

1 登録地に⊕を合わせて、マップメニューをタッチする

2 消去をタッチする

メッセージ画面が表示されます。

3 はいをタッチする

登録地情報を取り出す／取り込む

自宅や場所の登録情報をUSBメモリに書き出したり、USBメモリに保存した情報を本機に取り込めます。

アドバイス

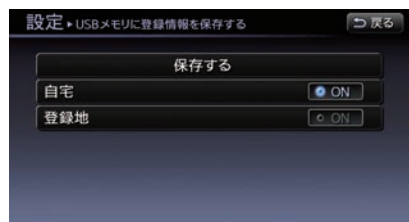
保存または読み込み中にUSBメモリを抜いたり、エンジンスイッチを押して電源ポジションをOFFにしないでください。

■ USBメモリに保存する

1 USBメモリを接続する

2 設定スイッチを押す

ナビゲーション → 登録地の編集・消去 → 登録情報の移し替え → USBメモリに登録情報を保存するをタッチする

3 保存したい項目をタッチする

4 保存するをタッチする

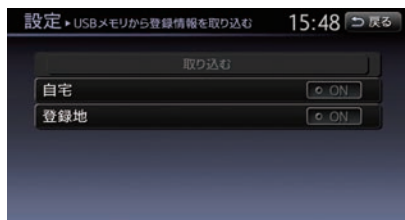
USBメモリに保存されます。(※1)

■ USBメモリから取り込む

1 USBメモリを接続する

2 設定スイッチを押す

ナビゲーション → 登録地の編集・消去 → 登録情報の移し替え → USBメモリから登録情報を取り込むをタッチする

3 保存したい項目をタッチする

4 取り込むをタッチする

データが本機に取り込まれます。(※1)

(※1) 保存したデータは他のナビゲーションシステムには使用できません。

(※1) 登録地は最大200件まで登録できます。最大件数を超えるとメッセージが表示されますので、本システムに登録されている情報を消去してから再度取り込みを行ってください。

ルートの登録や編集をする

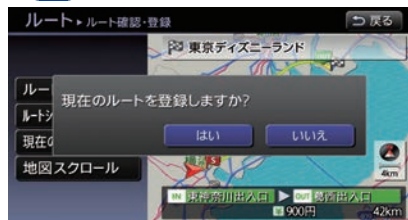
■ ルートを登録する

登録できるルートは経由地を設定したルートです。目的地のみのルートは登録できません。ルートは5件まで登録できます。

1 ルートスイッチを押す

ルート確認・登録をタッチする

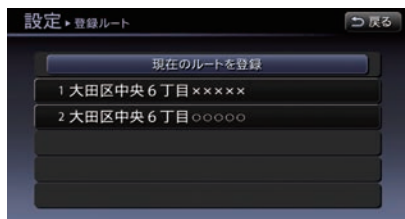
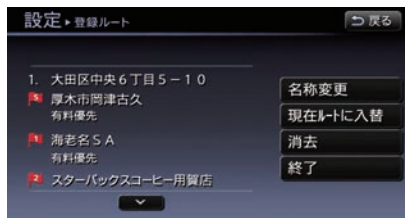
2 現在のルートを登録をタッチする

3 表示されたメッセージを確認して、はいをタッチする

現在のルートが登録されます。

■ 登録したルートを編集する

1 設定スイッチを押す

ナビゲーション → 登録地の編集・消去 → 登録ルートをタッチする

2 編集したい登録ルートをタッチする (※1)

3 編集したい項目をタッチする

名称変更：
登録したルートの名称を変更できます。

現在ルートに入替：
現在のルートをすでに登録されているルートと入れ替えます。

消去：
登録しているルートを消去します。

終了：
編集内容を決定し、前の画面に戻ります。

(※1) 現在のルートを登録をタッチすると、現在設定しているルートを登録します。

ナビゲーションを使いこなす

ナビを使いやすくするために、地図画面やルートガイドなどをより詳細に設定できます。

ショートカットを使う

1 設定スイッチを押す

2 ビュー切替／施設アイコン／VICSをタッチする

ビュー切替：
スタンダードビューとバードビュー®の切り替え、2画面の設定ができます。

施設アイコン：
コンビニなどの施設アイコンの地図上への表示／非表示を設定します。

VICS：
渋滞情報やVICSアイコンの地図上への表示／非表示を設定します。

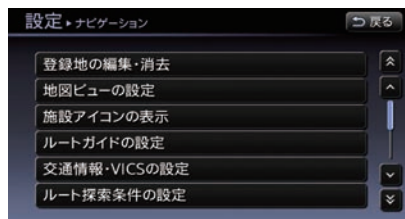
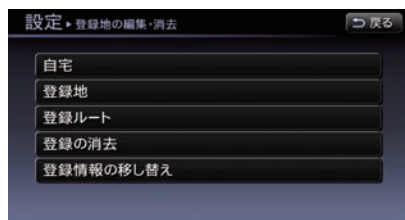
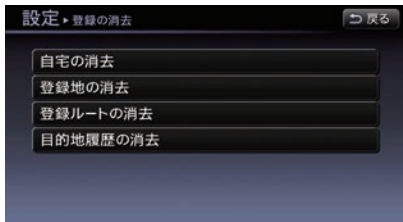
登録地やルートを一括で消去する

アドバイス

登録した場所やルートなどを一括で消去ができます。 一度消去した場所やルートなどは復帰できません。十分に確認してから消去してください。

1 設定スイッチを押す

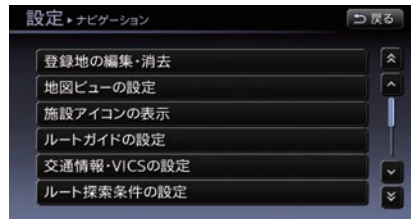
ナビゲーションをタッチする

2 登録地の編集・消去をタッチする

3 登録の消去をタッチする

4 消去したい項目をタッチする

自宅の消去：
自宅の登録を消去します。
登録地の消去：
一括消去または1件消去を選んで消去します。
登録ルートの消去：
一括消去または1件消去を選んで消去します。
目的地履歴の消去：
最近の行き先の全件消去、最近の行き先の1件消去、前回出発地の消去から選んで消去します。

5 はいをタッチする

地図表示を設定する

1 設定スイッチを押す
ナビゲーションをタッチする

2 地図ビューの設定をタッチする

3 設定したい項目をタッチする

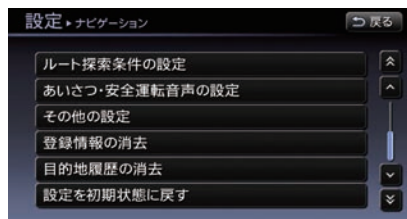
地図ビュー切替：
地図の表示を切り替えます。
常時表示設定：
ガイド画面の表示を設定します。
地図表示設定：
地図の表示や地図上に表示されるマークなどを設定します。
現在地へ戻る：
現在地の地図を表示します。

ナビゲーション

ルート探索条件の設定をする

1 設定スイッチを押す

ナビゲーションをタッチする

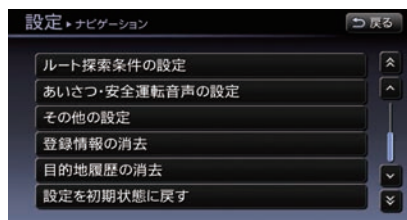
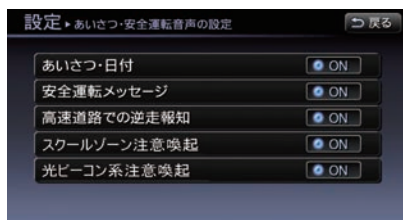
2 ルート探索条件の設定をタッチする

ルート検索時に優先する道路条件を設定します。

ルートの優先道路を選ぶ…p.68

あいさつ・安全運転音声を設定する

1 設定スイッチを押す

ナビゲーションをタッチする

2 あいさつ・安全運転音声の設定をタッチする

3 設定したい項目をタッチする

あいさつ・日付：
日付や時間帯に応じたあいさつを表示します。

安全運転メッセージ：
安全に関するメッセージを表示します。

高速道路での逆走報知：
高速道路で逆走してしまったときに、音声と警告のマーク表示で案内します。

スクールゾーン注意喚起：
小学校に近づいたときに、速度、ブレーキの状態に応じて音声と学校の マーク表示で案内します。

光ビーコン系注意喚起◎：
交差点や信号機に近づいたときに、音声と標識やマーク表示で案内します。VICS（ビーコン）対応キット接続時のみ表示します。

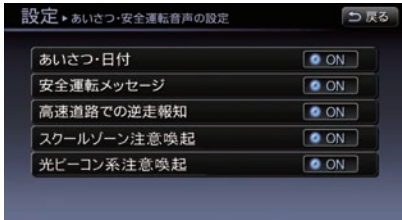
■ 高速道路での逆走報知

⚠ 注意

- **高速道路での逆走報知機能は、状況によって報知しないことや報知の内容が実際の状況と異なることがあります。実際の道路状況を確認のうえ、安全に走行してください。**
- **高速道路上で逆走をしてしまった場合は、安全を確保したうえで高速道路上に設置された非常電話等で指示を受けるようにしてください。**

1 設定スイッチを押す

ナビゲーション→
あいさつ・安全運転音声の設定をタッチする

2 高速道路での逆走報知をタッチする

ONが点灯し、高速道路での逆走報知が設定されます。

万が一、高速道路上で逆走してしまったときは、画面表示と音声でお知らせし、運転者に注意を促します。(※1)

表示を消すには、現在地スイッチを押します。

(※1) 以下のような場合には、画面表示、音声で報知しないことや、報知内容が実際の状況と異なることがあります。

- 走行条件が複雑な都市高速道路のインターチェンジ付近における逆走
- 周囲に分岐・合流のない本線道路上のUターン
- ダッシュボードの上に物を置いている、またはトンネル、高架橋下や高層ビル群地帯にいるなど、GPS信号が正しく受信できない場合
- 旋回、切り返し、その他の走行条件等により、ナビが正しい道路に自車位置を表示できない場合
- 地図画面に表示されない道路や新設された道路、改修などにより形状が変わった道路を走行している場合

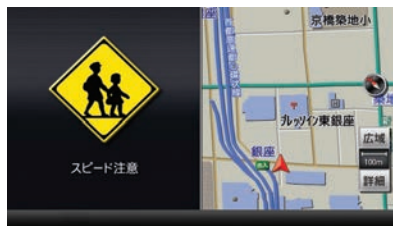
■ スクールゾーン注意喚起

1 設定スイッチを押す

ナビゲーション →
あいさつ・安全運転音声の設定を選ぶ

2 スクールゾーン注意喚起を選ぶ

ONが点灯し、小学校付近での安全運転ガイドが設定されます。

小学校付近を走行中に、速度、ブレーキの状態に応じて画面表示と音声でガイドします。

■ 光ビーコン系注意喚起◎

出合い頭・一時停止・信号機・信号待ち車両の注意ガイドの表示を設定できます。この機能は、VICS（ビーコン）対応キット◎の接続が必要です。道路上にDSSS（Driving Safety Support Systems）用の光ビーコンが設置されている場合に、出合い頭、一時停止、信号機および信号待ち車両の情報を受信すると、走行状況や交通環境に応じて必要性を判断し、音声と画面表示で注意ガイドをします。(※1)注意ガイドの必要性は、ナビゲーションシステムで判断しているため、必ずしも常にガイドするものではありません。

⚠ 注意

- **常に実際の交通状況や交通規則・標識などに従って注意してください。**

1 設定スイッチを押す

ナビゲーション →
あいさつ・安全運転音声の設定をタッチする

2 光ビーコン系注意喚起をタッチする

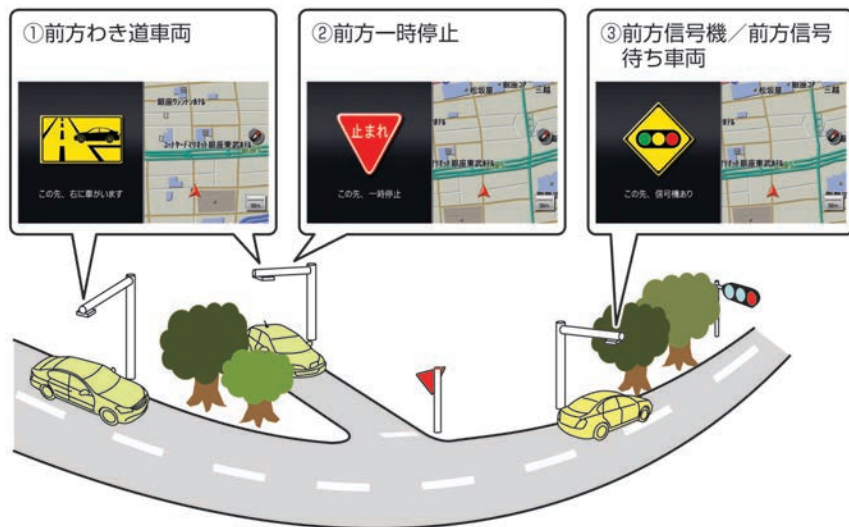
ONが点灯し、出合い頭・一時停止・信号機の注意ガイドが設定されます。設定がONのときにVICS（ビーコン）対応キット◎がDSSS用光ビーコンとの通信ができるようになり、注意ガイドができる状態になります。(※2)

(※1) **DSSSとは？**
DSSSはDriving Safety Support Systemsの略です。道路とクルマが連携し（路車協調）、交通事故の低減を目指すシステムで、警察庁とその所管法人である社団法人新交通管理システム（UTMS）協会が推進しているプロジェクトです。DSSS用光ビーコンによるサービスは、2013年10月1日現在、東京都と神奈川県の全17交差点で実施しております。DSSS用光ビーコンの設置個所につきましては、警察庁のホームページ(http://www.npa.go.jp/)で公開されています。

(※2) 以下のような条件等では、ガイドしないことや、ガイド内容が実際の状況と異なることがあります。

- VICS（ビーコン）対応キットの上に物を置いたり、窓が汚れたりしていて、DSSS用光ビー コンとの赤外線通信が遮られた場合。
- DSSS用光ビーコンが木の葉や雪などの付着により遮られた場合。
- DSSS用光ビーコンの受光部に太陽光などが入射した場合。
- DSSS用光ビーコンの通信エリアに駐停車車両がある、または機器メンテナンス作業などによって、通信できない場合。
- DSSS用光ビーコンに誤作動、異常、故障などがあり、誤った情報が車両に提供された場合。
- 前方のわき道車両や信号待ち車両の存在を検出する路上に設置したセンサーが、環境条件変化等によって、検出機能が低下し、車両の未検出や誤検出が発生した、または

DSSS用光ビーコンを通過してから、ガイド対象地点に進むまでに、わき道車両や信号待ち車両の状況が変化した場合。

走行中に速度、ブレーキ、アクセルの状態に応じて、以下の注意を音声と画面表示でガイドします。

① **前方わき道車両**

優先道路を走行中に、出合い頭事故の多い見通しの悪い交差点で、見えない位置に車両がいる場合

② **前方一時停止**

優先道路でない道路を走行中に、出合い頭事故の多い見通しの悪い交差点の一時停止の標識を見落として、そのまま走行しようとしている場合

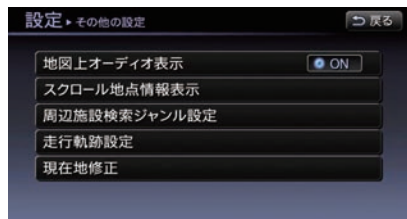
③ **前方信号機／前方信号待ち車両**

信号機が見づらいなどで赤・黄信号または信号待ちをしている車両を見落として、そのまま走行しようとしている場合

その他のナビ設定をする

1 設定スイッチを押す

ナビゲーション → その他の設定をタッチする

2 設定したい項目をタッチする

次の設定ができます。

地図上オーディオ表示	地図画面にオーディオの状態を表示します。	
スクロール地点情報表示	カーソル（⊕）を合わせた地点の情報を表示できます。	
周辺施設検索ジャンル設定	周辺施設検索の施設ジャンルをお好みに設定できます。	
走行軌跡設定★	前回の出発地から現在地までの通った道を表示します。	
	走行軌跡表示	走行軌跡の表示のON/OFFをします。
	走行軌跡記録間隔	走行軌跡の記録間隔を選択します。
	消去	現在地までの走行軌跡を消去します。
現在地修正	現在地の位置を修正できます。	

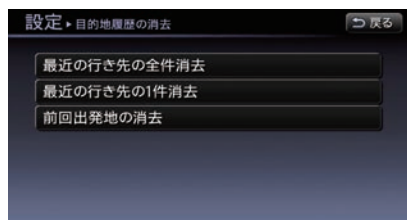
★：車種、グレード、オプションなどにより、装着の有無が異なります。◎：ディーラーオプションです。

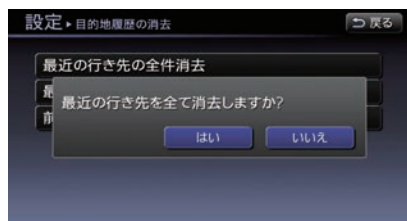
目的地の履歴を消去する

一度消去した履歴は復帰することができませんので、十分に確認してから消去してください。

1 設定スイッチを押す

ナビゲーション → 目的地履歴の消去をタッチする

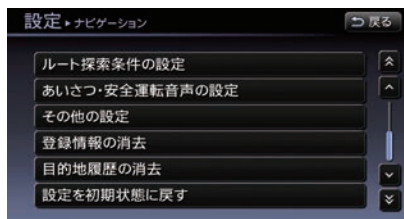
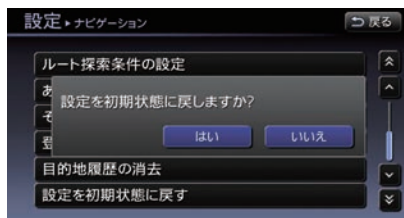
2 消去したい履歴をタッチする

最近の行き先の全件消去：
目的地の履歴をすべて消去します。
最近の行き先の1件消去：
リストから選んで1件ずつ消去します。
前回出発地の消去：
前回の出発地を消去します。

3 はいをタッチする

目的地の履歴が消去されます。

ナビの設定を初期状態にする

1 設定スイッチを押す

ナビゲーションをタッチする

2 設定を初期状態に戻すをタッチする

3 はいをタッチする

ナビの設定が初期状態になります。登録した場所やルートなどは、初期状態に戻しても消去されません。

GPS現在地情報を見る

GPSの受信状態を確認できます。

1 情報・W スイッチを押す

GPS現在地情報 をタッチする

GPS現在地情報画面が表示されます。

■ GPS現在地情報画面

衛星数、測位（受信）状態、緯度、経度、概算高度を確認できます。

- **衛星数**：

  GPS　衛星の受信状態、衛星数を確認できます。
- **捕捉中**：

  捕捉している衛星の数
- **探索中**：

  探索している衛星の数
- **測位状態**：

  いくつの衛星を使って緯度・経度・高度の計算をしているかを表示します。
  3次元測位：4つ以上の衛星から
  2次元測位：3つ以上の衛星から
  測位不能：衛星を使った測位ができない
- **緯度**
- **経度**
- **概算高度**

オーディオ・テレビ

オーディオ・テレビの基本操作

オーディオをON/OFFする

1 PUSH ON・OFF★または⏻★スイッチを押す

スイッチを押すごとにON、OFFが切り替わります。オーディオをONにすると画面にオーディオ情報が表示されます。

曲送り／曲戻しをする

1 ⏮／⏭スイッチを押す

⏮／⏭スイッチを押すごとに曲戻し/曲送りをします。

⏮／⏭スイッチを長押しすると、再生中の曲の早戻し/早送りをします。

音量を調節する

1 VOLスイッチを回す

画面上に音量調整用バーグラフが表示されます。(※1)

(※1) 音声ガイドが流れているときは、VOLスイッチを回してもオーディオの音量は調節されず、音声ガイドの音量が調節されます。

オーディオの設定をする

1 設定スイッチを押す

オーディオをタッチする

2 設定する項目をタッチする

Bass：
－または＋をタッチして低音を調整します。

Treble：
－または＋をタッチして高音を調整します。

Balance：
LまたはRをタッチして左右の音量バランスを調整します。

Fader：
RまたはFをタッチして前後の音量バランスを調整します。

車速連動ボリューム：(※1)
－または＋をタッチして効果幅をオフ（0）～3（効果大）の範囲で設定できます。

知識

(※1) 車の速度とともに大きくなる騒音で音楽がかき消されないように音量を自動調整する機能です。

ラジオをきく

ラジオをきくには

FM・AMスイッチを押して、ラジオ操作画面を表示させます。スイッチを押すごとにAM → FM1 → FM2に切り替わります。

■ ラジオ操作画面の見かた

① **現在のオーディオモード**：
FM1、FM2、AM、FM AUTO.P、AM AUTO.P、のいずれかが表示されます。

② **放送局名および周波数**：
現在受信中の放送局名および周波数が表示されます。

③ **プレイモード**：
プレイモード（SCANモード中やステレオ放送中など）が表示されます。

④ **プリセットリスト**：
放送局名または周波数が表示されます。タッチすると、選んだ放送局に切り替わります。

⑤ **重複表示**：
同じ地域に同一周波数の放送局があるときに表示されます。選ぶごとに放送局を切り替えます。

⑥ メニュー：
タッチすると、設定画面が表示されます。

⑦ 情報表示：
タッチすると、情報表示画面に切り替わります。

⑧ SCAN：
タッチすると、自動的に低い周波数から高い周波数へ放送局を検索します。放送局を受信すると5秒間止まり、再度検索を始めます。再度タッチすると、検索を終了します。

⑨ AUTO.P：
FM1またはFM2表示中にタッチすると、FM AUTO.Pが表示されます。AM表示中にタッチすると、AM AUTO.Pが表示されます。長くタッチすると、プリセットリストを更新し、現在地付近で電波の強い放送局を6局まで自動登録します。

放送局を選ぶ・登録する

■ 放送局を選ぶ

● 自動で選局をする

1 ⏮／⏭スイッチを長押しする

自動的に感度の良い放送局を受信して表示します。

● 手動で選局をする

電波状況によって自動選局が難しい場合は、手動で選局してください。

1 ⏮／⏭スイッチを押す(※1)

1ステップずつ周波数が変わります。
聞きたい周波数になるまで繰り返しスイッチを押します。

● 登録済みの放送局から選ぶ（プリセット選局）

1 FM・AMスイッチを押す

スイッチを押すごとにAM → FM1 → FM2に切り替わります。

2 リストから放送局を選ぶ

タッチした放送局に設定されます。
自動プリセット（オートプリセット）に登録されている放送局を選ぶ場合、AUTO.Pをタッチします。

● SCAN機能を使用して選局をする

1 SCANをタッチする

自動的に低い周波数から高い周波数へ放送局を検索します。放送局を受信すると5秒間止まり、再度検索を始めます。再度タッチすると、検索を終了します。

(※1) TUNE/FOLDERスイッチを回しても周波数を変更できます。

オーディオ・テレビ

★：車種、グレード、オプションなどにより、装着の有無が異なります。◎：ディーラーオプションです。

■ 放送局を登録する

手動登録　（マニュアルプリセット）　は、FM1、FM2、AMに登録されます。自動プリセット（オートプリセット）は、 FM AUTO.P、AM AUTO.Pに登録されます。

● 手動で登録する（マニュアルプリセット）

1　FM・AMスイッチを押す

登録するプリセットリストを表示させます。FMを登録する場合は、登録したいプリセットリスト（FM1またはFM2）を選びます。

2　放送局を選局し、登録したい番号のプリセットリストを長くタッチする

「ピッ」という音がして放送局が登録されます。

● 自動で登録する（オートプリセット）

1　FM・AMスイッチを押す

FMまたはAM画面を表示させます。

2　AUTO.Pを長くタッチする

自動選局を開始します。（「ピッ」という音がしてメッセージが表示されます。）
登録が終了するとオートプリセットモード（ソース）画面に切り替わります。(※1)

知識

(※1)　受信状態が悪くリストのすべてに登録できない場合は、空いたリストにオートプリセットする前の放送局が残ります。

ラジオメニューを使う

ラジオ操作画面を表示中に、設定をしたり情報を表示したりできます。

1　メニューをタッチする

2　操作したい項目をタッチする

地域設定：
選んだ地域の放送局名を表示します。
FM多重放送(※1)：
FM放送局の文字情報を表示します。

(※1)　FM多重放送をいったん受信すると、VICSのFM多重放送を表示するまで時間がかかる可能性があります。

交通情報をきく

1 [•)))]スイッチを押す

交通情報を受信します。

2 周波数を選ぶ

CDをきく

CDを再生する

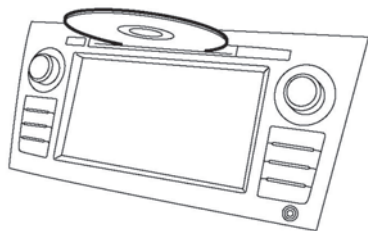
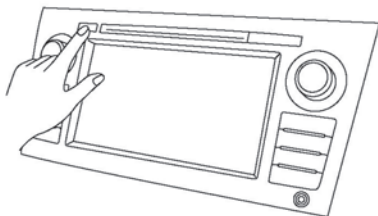
アドバイス

- ディスクを入れるときは、すでに別のディスクが入っていないことを確認してください。

1 ディスクを入れる(※1)

ディスクを読み込み、自動的に再生が始まります。(※2)

(※1) • CDはレーベル面を上にして挿入してください。
• すでにディスクが入っている場合はCDの曲情報画面が表示されるまで DISC スイッチを押してください。

(※2) マルチセッションで書き込んだCDやMP3/WMAディスクは再生開始までに時間がかかる場合があります。（セカンドセッションの音楽ファイルは再生できません。）

■ ディスクを取り出す

1 ▲ スイッチを押す

ディスクが排出されます。
そのままにしておくと、オートリロード機能により、ディスクが再び引き込まれます。

■ CD操作画面の見かた

① **曲情報**：
曲情報が登録されているときは、アーティスト名／アルバム名／トラック名を表示します。

② **再生時間**：
曲が始まってから現在までの時間を表示します。

③ **プレイモード**：
プレイモードを表示します。（全リピートのときは表示されません。）

④ **トラックリスト（CDの場合）**：
トラックリストを表示します。タッチすると、選択した曲を再生します。
フォルダリストまたはファイルリスト（MP3/WMAディスクの場合）：
ディスク内にあるフォルダまたはファイルをリスト表示します。タッチすると、ファイルリストを表示、または選んだファイルを再生します。

⑤ 録音／録音停止：
CDの全曲録音の開始、または録音中に録音停止をします。

⑥ 情報表示：
再生中の曲情報を表示します。

⑦ メニュー：
CD設定メニューを表示します。
CD設定メニューから設定する‥‥p.96

⑧ モード：
プレイモード選択画面を表示します。

収録されている音楽ファイルによって、SCANが表示されます。

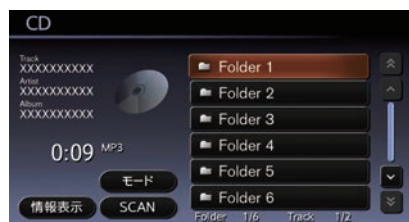
選曲する

■ CD操作画面で選曲する

1 再生したいトラック名をタッチする

選択した曲が再生されます。

■ MP3/WMAディスクの場合

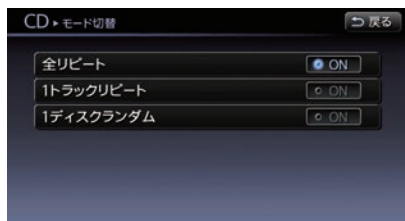
1 フォルダをタッチする

再生中の曲を含むフォルダを選択した場合：
ファイルリストが表示されます。他の曲を再生するには、続けてファイル名をタッチします。

再生中の曲を含まないフォルダを選択した場合：
タッチしたフォルダの最初の曲を再生します。

プレイモードを切り替える

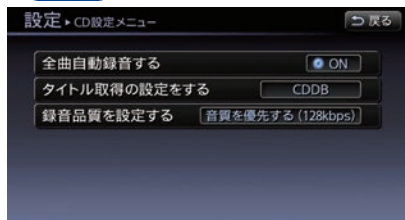
1 モードをタッチする

プレイモード切替画面が表示されます。

2 プレイモードをタッチする

ONが点灯し、プレイモードが設定されます。

CD設定メニューから設定する

ミュージックボックスの録音設定、タイトル取得の設定をCD操作画面から設定します。

1 DISCスイッチを押して、**CD**操作画面を表示する
メニューを選ぶ

全曲自動録音する:
選ぶごとに全曲自動録音のON/OFFが切り替わります。

タイトル取得の設定をする:
CD再生時または録音時にどのタイトル情報を使用するか設定します。

録音品質を設定する：
録音品質を設定します。

タイトル取得の優先設定をする

CD再生時または録音時にどのタイトル情報を使用するか設定します。

1 **CD曲情報画面を表示する**

メニュー → タイトル取得の設定をするを選ぶ

2 タイトル情報の取得先を選ぶ(※1)

CDDB：
Gracenoteデータベースで検索されたタイトル情報を使用します。

CD-TEXT：
CDに記録されているタイトル情報を使用します。

(※1) タイトル情報がどちらか一方しかない場合、設定にかかわらず存在するタイトル情報を使用します。

ミュージックボックスを使う

CDの録音をする

収録されている音楽ファイルの形式によっては、Music Boxに取り込むことはできません。

■ 録音可能容量について

収録可能曲数は、1曲4分、収録可能アルバム数は1枚10曲で換算した場合の数値です。

	収録可能局数 (1曲4分で換算)	収録可能アルバム数 (1アルバム10曲で換算)
AAC（96Kbps）	約2666曲	約266枚
AAC（128Kbps）	約2000曲	約200枚

■ 自動で録音する

自動で録音するには、全曲自動録音するの設定がONになっている必要があります。初期設定は、全曲自動録音するの設定がONになっています。

CD録音の設定をする…p.99

1 CDを挿入する

自動的にCD画面に切り替わり、録音を開始します。（オーディオモード時）
録音が完了すると録音終了のメッセージが表示され、自動的に録音を停止します。

■ 曲を選択して録音する

手動で録音するには、全曲自動録音するの設定がOFFになっている必要があります。ONの場合でも、一度録音を停止すれば手動録音が可能です。

1 CDを挿入する

録音 → 曲を選択して録音するを選ぶ

2 曲を選んで 録音開始 を選ぶ

■ 録音を停止する(※1)

録音を途中で停止することができます。

1 録音停止 を選ぶ

メッセージが表示され、録音が停止します。

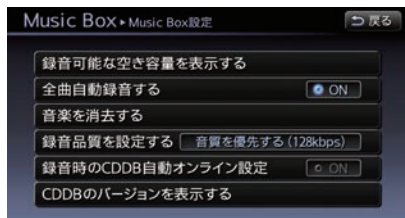
(※1) 録音を停止すると、録音中の曲は保存されません。再度録音を開始するには、録音 を選択して 全曲録音 をタッチします。 曲を選択して録音することもできます。

曲を選択して録音する""p.98

CD録音の設定をする

CD再生時、Music Boxに再生したデータが収録されていない場合、自動録音の設定ができます。

1 DISC スイッチを押して、**Music Box** 操作画面を表示する
メニュー を選ぶ

2 Music Box設定 → 全曲自動録音する を選ぶ

選ぶごとに全曲自動録音のON/OFFが切り替わります。

ON（点灯）： CDを自動録音にします。

ON（消灯）： CDを手動録音にします。

オーディオ・ビデオ

ミュージックボックスを再生する

DISCスイッチを押すとMusic Box操作画面が表示されます。押すごとに、オーディオモード（ソース）が切り替わります。

■ ミュージックボックス操作画面の見かた

① **曲情報**
曲情報が登録されているときは、アーティスト名／アルバム名／トラック名を表示します。

② **再生時間**
曲が始まってから現在までの時間を表示します。

③ **再生方法**
再生方法を表示します。

④ Playlist追加
再生中の音楽ファイルをプレイリストに追加します。
プレイリストを再生・編集する┈p.106

⑤ 情報表示
アルバム情報画面またはトラック選択画面を表示します。

⑥ メニュー
曲の編集、Music Boxの設定や曲探しなどができます。

⑦ モード
プレイモードの選択をします。

⑧ **リスト**
トラックリストを表示します。トラック名をタッチすると再生します。

■ ミュージックボックスの再生を設定する

● 全曲再生で再生順を変える

1 DISCスイッチを押して、**Music Box**操作画面を表示する
メニューを選ぶ

2 全曲再生を選ぶ

3 再生順を選ぶ

録音日順で再生：
録音日時順に全曲を再生します。

アルバム順で再生：
アルバム順に全曲を再生します。

アーティスト順で再生：
アーティスト順に全曲を再生します。

曲名順で再生：
曲名順に全曲を再生します。

発売日順で再生：(※1)
発売年の新しい順に全曲を再生します。

(※1) 同じ年に発売された楽曲は、Music Boxに録音した日が新しい順に再生します。

● 再生方法を選ぶ

1 DISCスイッチを押して、**Music Box**操作画面を表示する
メニューを選ぶ

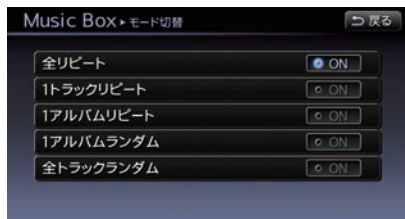
2 曲をさがすを選ぶ

3 選曲方法を選ぶ

アーティスト：
アーティストを選んで再生します。
アルバム：
アルバムを選んで再生します。
全曲リスト：
録音されているすべての曲から選曲できます。
ジャンル：
ジャンルを指定して選曲できます。

■ プレイモードを切り替える

1 DISCスイッチを押して、**Music Box**操作画面を表示する
モードを選ぶ

2 お好みのプレイモードを選ぶ

選曲方法により選べるプレイモードが異なります。
全リピート：
全曲を繰り返し再生します。
1トラックリピート：
同じ曲を繰り返し再生します。
1アルバムリピート：
1つのアルバムを繰り返し再生します。
1アルバムランダム／1アーティストランダム：
1つのアルバムまたはアーティストの曲を、順番を変えてランダムに再生します。
全トラックランダム：
全曲を自動的に順番を変えて再生します。

曲タイトル情報を取得する

市販の音楽CDを挿入すると、本機のタイトル情報データベースを元にタイトル情報を取得します。また、本機のデータベースに情報がない場合は、手動で取得することができます。

まれに、実際のタイトルと異なる場合があります。また、新作CDなどの場合、タイトル情報が取得できない場合があります。

■ 取得できるタイトル情報

- アルバムタイトル及び読み
- トラックタイトル及び読み
- アルバムのアーティスト及び読み
- トラックのアーティスト及び読み
- アルバムのジャンル
- トラックのジャンル
- アルバムの発売年

■ タイトル情報を取得するには

本機にタイトル情報データがある場合

市販の音楽CDを挿入すると、タイトル情報が表示されます。

本機にタイトル情報データがなかった場合

タイトル情報が表示されない場合は、以下の方法でタイトル情報を取得できます。

- **携帯電話を使用して取得する:**

  一番かんたんにタイトル情報を取得できます。（別途料金がかかります）

- **USBメモリを使用して取得する:**

  パソコンの使いかたに詳しい方にお勧めです。

■ 携帯電話を使用してタイトル情報を取得する

携帯電話を使用して、インターネットに接続し、タイトル情報を取得します。

アドバイス

- 携帯電話の通信料金がかかります。また、お使いのプロバイダ利用料金が請求される場合があります。詳しくは、各通信事業者へご確認ください。
- データ通信中は、本機と携帯電話の接続を解除しないでください。

データを取得するには、はじめに本機と携帯電話を接続する必要があります。

携帯電話を接続する…p.33

1 Music Box操作画面を表示する

メニュー → 曲情報の編集 → センターに接続して未取得タイトルを取得を選ぶ

2 曲を選択して、タイトル取得開始を選ぶ

画面に「設定しました」のメッセージが表示されたら完了です。

■ USBメモリを使用してタイトル情報を取得する

お持ちのパソコンを使用して、タイトル情報を取得します。

まずはUSBメモリとパソコンを使用してタイトル情報を取得する前に以下の準備をします。

● 準備するもの

① **USBメモリ**
本機にはUSBメモリが装備に含まれておりませんので、お客さまご自身でご用意ください。
ご使用できるUSBメモリの条件は以下になります。

- High Speed対応メモリ
- ファイルシステム： FAT12、FAT16、FAT32
- 最大メモリサイズ： 64GB
- セクタサイズ： 512B
- クラスタサイズ： 1kB～32kB
- 最低空き容量： 10MB以上
- パーテーション： 単一パーテーション

この条件に当てはまらないUSBメモリをご使用した場合、正しく動作しないことがあります。

② **専用ソフト「タイトル情報サーチ」**
お持ちのパソコンを使用して、専用サイトにアクセスし、マニュアルとソフトウェアをダウンロードします。（http://drive.nissan-carwings.com/TITLE_SEARCH/index.htm）

※ Webサイトのアドレスは都合により、変更させていただく場合があります。

タイトル情報サーチマニュアル

タイトル情報サーチアプリケーション画面

● 手順1：本機から未取得データを転送する

1 車に**USB**メモリを接続する

USBメモリの接続位置…p.108

2 **Music Box** 曲情報画面を表示する

メニュー → 曲情報の編集 → USBメモリに未取得データを転送を選ぶ

テレビ・オーディオ

3 タイトル未取得のアルバムを選ぶ

USBメモリへ転送 を選ぶ

データが転送されます。「保存しました」とメッセージが表示されたら、USBメモリへの転送は完了です。USBメモリ内に“export.dat”というファイルができます。

● 手順2：パソコンでタイトル情報を取得する

1 USBメモリをパソコンに接続する

未取得データ（export.dat）を取り込んだUSBメモリをお持ちのパソコンに接続します。

2 「タイトル情報サーチ」を使用してデータを取得する

詳しい操作方法については、専用サイトのマニュアルをご覧ください。

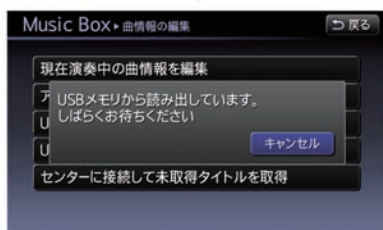
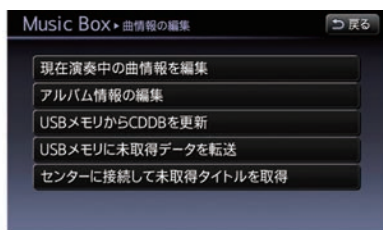
● 手順3：本機のハードディスク内の曲情報を更新する

1 車にUSBメモリを接続する

USBメモリの接続位置 p.108

2 Music Box 操作画面を表示する

メニュー → 曲情報の編集 を選ぶ

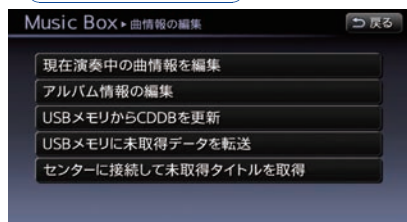
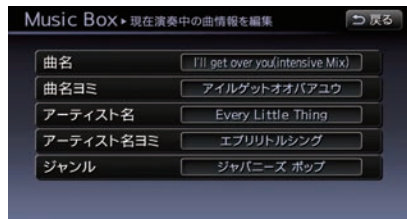
3 USBメモリからCDDBを更新 を選ぶ

データが転送されます。データの転送が完全に終了するまで、USBメモリをコネクタから抜かないでください。
「USBから読み出しが完了しました」とメッセージが表示されたら、タイトル情報の取得は完了です。

ミュージックボックスを使いこなす

曲情報を編集する

■ 演奏中の曲情報を編集する

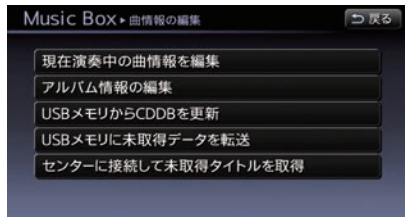
1 **Music Box**操作画面を表示する

メニュー → 曲情報の編集 → 現在演奏中の曲情報を編集を選ぶ

2 編集したい項目を選ぶ

曲名やアーティスト名を編集することができます。

文字／数字の入力のしかた‥‥p.19

■ アルバム情報を編集する

1 **Music Box**操作画面を表示する

メニュー → 曲情報の編集 → アルバム情報の編集を選ぶ

2 編集したいアルバムを選ぶ

3 編集したい項目を選ぶ

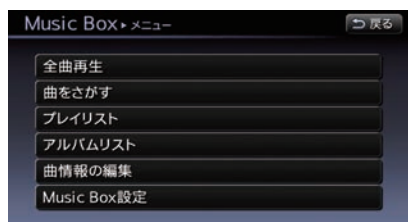
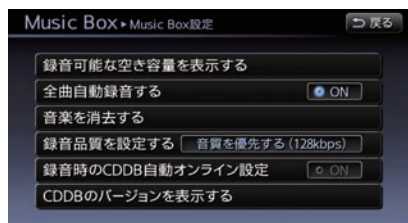
文字／数字の入力のしかた‥‥p.19

オーディオ・ビデオ

ミュージックボックスの設定をする

1 **Music Box操作画面を表示する**

メニューを選ぶ

2 Music Box設定を選ぶ

3 設定したい項目を選ぶ

以下の設定をすることができます。

録音可能な空き容量を表示する：

Music Box容量情報が表示されます。

全曲自動録音する：

CDを入れたときに、自動で録音するように設定できます。

音楽を消去する：

録音した音楽ファイルを消去します。アルバムまたは1曲を選んで消去します。すべての曲を一括で消去することもできます。

録音品質を設定する：

録音品質を設定します。

録音時のCDDB自動オンライン設定：

本機に収録されているデータベースに情報がないCDを録音する場合、自動的にインターネットのGracenoteデータベースに接続し、タイトルの取得をします。

CDDBのバージョンを表示する：

Gracenote データベースのバージョンを表示します。

■ プレイリストを再生・編集する

お客さま自身で作成したプレイリストを再生します。また、お好みの曲をプレイリストに追加したり、プレイリストの順番変更や、名称の編集をすることができます。

● プレイリストを再生する

1 **Music Box操作画面を表示する**

メニューを選ぶ

2 プレイリストを選ぶ

3 再生したいプレイリストを選ぶ

● プレイリストを編集する

1 **Music Box操作画面を表示する**

メニューを選ぶ

2 プレイリスト→編集を選ぶ

3 設定したい項目を選ぶ

プレイリストは、以下の項目の設定ができます。

現在の再生曲をプレイリストに追加する：
現在再生している曲をプレイリストに追加します。

アルバムを選んでプレイリストに追加する：
ミュージックボックスに録音されているアルバムから曲を選んで、プレイリストに追加します。

アーティストを選んでプレイリストに追加する：
ミュージックボックスに録音されているアーティストの曲を選んで、プレイリストに追加します。

プレイリストの曲の順番を編集する：
作成したプレイリストの曲順を変更します。

プレイリスト名称を編集する：
作成したプレイリストの名称を変更します。

プレイリストから曲を消去する：
プレイリストにある曲を選んで消去します。

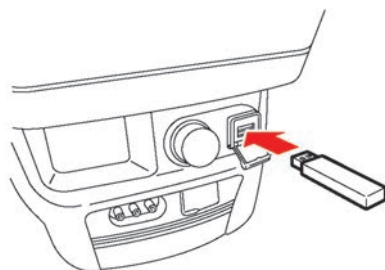
USBメモリを使う

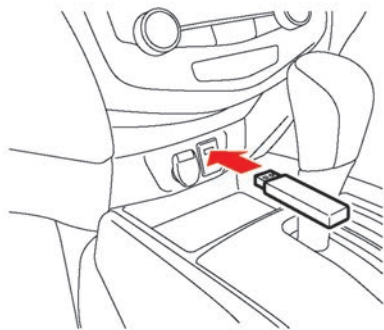
- USBメモリは装備に含まれておりません。お客様ご自身でご用意ください。
- ご使用に際しては、USBメモリが正しく接続されていることをご確認ください。
- USBメモリのフォーマットは本機では行えません。お手持ちのパソコンなどで行ってください。
- **使用できるUSBメモリの仕様：**
  - 規格 : USB2.0のみ
  - ファイルシステム ： FAT12、FAT16、FAT32
  - 最大メモリサイズ：64GB
  - セクタサイズ：512B
  - クラスタサイズ：32kB以下

  データ収録の制限について
  - 最大ファイル数：8000
  - 最大フォルダー数：255
  - 最大フォルダー階層：8
  - 1ファイルあたりの最大ファイルサイズ：2GB未満
- **複数のパーテーションに分かれているUSB機器は使用できない場合があります。**
- **暗号化やコピープロテクト、著作権保護されたファイルなどは再生できません。**
- **USBメモリには一部対応していない機種があり、すべてのUSB機器の動作を保証するものではありません。**

USBメモリの接続位置

USBメモリの接続位置は、車種により設置場所が異なります。

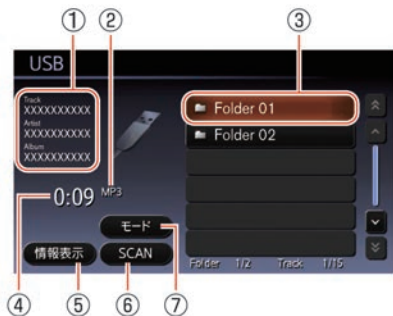
セレナ

ティアナ

エクストレイル

USBメモリの音楽データの再生をする

1 USBメモリを接続する

USBメモリの接続位置‴p.108

USBメモリを接続すると、自動的に音楽データが再生されます。

■ USBメモリ操作画面の見かた

① **曲情報**：
曲情報が登録されているときは、アーティスト名／アルバム名／曲名を表示します。

② **プレイモードおよびフォーマット**：
再生中のファイルフォーマットとプレイモードを表示します。（全リピートのときはプレイモードは表示されません。）

③ **フォルダリストまたはファイルリスト**：
メモリ内にあるフォルダがリスト表示されます。
再生中の曲を含むフォルダを選択した場合
ファイルリストが表示されます。他の曲を再生するには、続けてファイル名をタッチします。
再生していないフォルダを選択した場合
タッチしたフォルダの最初の曲を再生します。

④ **再生時間**：
曲が始まってから現在までの時間を表示します。

⑤ 情報表示：
再生中のトラック情報を表示します。

⑥ SCAN：
タッチすると、現在の曲を10秒間再生し、次の曲に変わります。再度タッチするとSCANモードが終了し、通常の再生に戻ります。

⑦ モード：
タッチすると、プレイモード選択画面を表示します。

iPodをきく

iPodについて

iPodは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。

接続可能なiPodおよびiPhone、ファームウェアのバージョンについては、日産自動車ホームページの「ナビ関連データ」（http://www.nissan.co.jp/OPTIONAL-PARTS/NAVI_AUDIO/NAVI/）でご確認ください。

- 動画、静止画表示には対応していません。
- iPod shuffle、iPod mini、iPod Photo、iPod第3世代、iPod第4世代には対応していません。
- iPodの動作については全てを保証するものではありません。
- iPodを接続しても操作ができない場合は、iPodを外して時間をおいてから再度接続してください。
- iPodの接続対象機種一覧に記載があっても、ファームウェアのバージョンによって動作しない場合があります。
- iPod内のビデオファイルの再生はできません。
- iPodのファームウェアのバージョンによって、本機と接続するとiPodからの操作ができない場合があります。
- 本機と接続中、iPodは充電されます。
- 本機と接続するときは、iPodのヘッドフォンなどのアクセサリーを使用しないでください。正しく動作しない場合があります。
- 接続するiPodの取扱説明書も併せてご覧ください。
- iPodご使用の際の制約事項につきましては、「iPodの制約事項について」をお読みください。

iPodを接続する

アドバイス

- iPodの機種やファームウェアバージョンによっては、一部機能の制限があります。
- 本機でiPodを使用しているときにiPodのデータが消失しても、消失したデータの補償はできませんのでご容赦ください。

1 iPodを接続する

iPodケーブルをUSBコネクタに接続します。

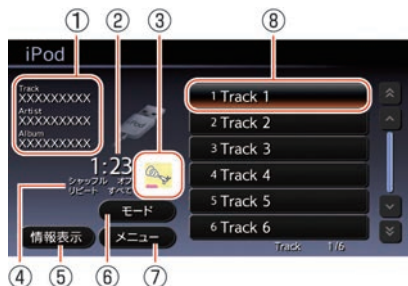
USBメモリの接続位置˝˝p.108

iPodケーブルは、装備に含まれておりません。お客さまご自身でご用意ください。

iPodを再生する

TV・AUXスイッチを押すと、iPod操作画面が表示されます。

曲を選ばないまま2秒以上経過すると、選択されているプレイリスト内の曲を自動的に再生します。

■ iPod操作画面の見かた

① **曲情報**：
曲情報が登録されているときは、アーティスト名／アルバム名／曲名を表示します。

② **再生時間**：
曲が始まってから現在までの時間を表示します。

③ **イメージファイル**(※1)
画像ファイルがあるとき、表示されます。

④ **プレイモード**：
プレイモードを表示します。

⑤ 情報表示：
再生中のトラック情報を表示します。

⑥ モード：
タッチすると、プレイモード選択画面を表示します。

⑦ メニュー：
タッチすると、再生方法の選択画面を表示します。

⑧ **トラックリスト**：
トラックリストを表示します。トラック名をタッチすると、選択した曲を再生します。

(※1) ジャケット写真に対応した音楽ファイルを再生した場合、iTunesで指定した画像のみが本機に表示されます。

ソートした曲を再生する

1 **iPod操作画面を表示する**

2 メニューをタッチする

3 再生方法をタッチする

以下の項目で選択した曲を再生します。

再生中：
iPod操作画面に戻ります。

プレイリスト：
プレイリストを表示します。

アーティスト：
アーティストリストを表示します。

アルバム：
アルバムリストを表示します

曲：
曲名リストを表示します。

Podcast：
Podcastリストを表示します。

ジャンル：
ジャンルリストを表示します。

作曲者：
作曲者リストを表示します。

オーディオブック：
オーディオブックを表示します。

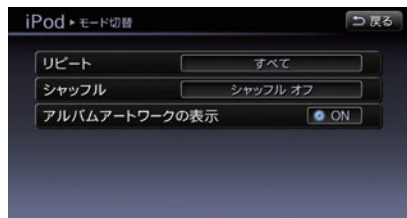
テレビ・オーディオ

プレイモードを切り替える

1 iPod操作画面を表示する

モードをタッチする

プレイモード切替画面が表示されます。

2 プレイモードをタッチする

リピート：
曲を繰り返し再生します。

シャッフル：
曲順を変えて再生します。

アルバムアートワークの表示：
イメージファイルが有るとき、表示をON/OFFすることができます。

シャッフルとリピートの設定は組み合わせて使用します。

		シャッフル		
		オフ	曲	アルバム
リピート	1 曲	1 曲リピート		
	すべて	全曲リピート	全曲シャッフルリピート	全アルバムシャッフルリピート

Bluetooth®オーディオをきく

Bluetooth®オーディオ機器を初期登録する

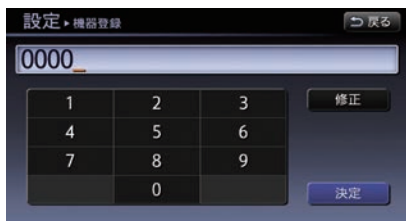
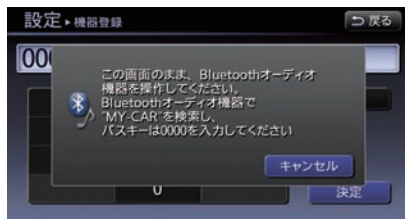
Bluetooth®オーディオ機器は、Bluetooth®携帯電話機と合わせて5台まで登録できます。(※1)

登録する前に、車内に別のBluetooth®オーディオ機器がある場合は、電源をOFFにしてください。

1 設定スイッチを押す

Bluetooth → 機器登録をタッチする

2 いいえをタッチする(※2)

3 パスキー(※3)を入力し、決定をタッチする

4 Bluetooth®オーディオ機器を操作する

画面が表示されたらBluetooth®オーディオ機器の登録操作を行ってください。操作方法は、Bluetooth®オーディオ機器の取扱説明書をご覧ください。

(※1)
- すでに5台まで登録してある場合は、登録されているBluetooth®オーディオ機器を1台消去してから登録してください。
- Bluetooth®オーディオ機器を登録すると、自動的に接続するBluetooth®オーディオ機器に設定されます。別の登録機器を使用したい場合は、オーディオ機器の選択を行ってください。

(※2) 登録されたハンズフリーフォンをオーディオとして使用する場合、携帯電話機で使用するサービスを選択する必要がありま す。詳しくは携帯電話機の操作手順書を参照 ください。

(※3)
- パスキーとは、Bluetooth®オーディオ機器を本機に登録するためのパスワードです。登録機器のパスキーについては、Bluetooth®オーディオ機器の取扱説明書をご覧ください。
- 入力したパスキーと登録機器のパスキーが異なる場合は、キャンセルをタッチして、パスキーの変更を行ってください。

Bluetooth®オーディオをきく

TV・AUXスイッチを押すと、Bluetooth®オーディオ操作画面が表示されます。スイッチを押すごとにモード（ソース）が切り替わります。

接続するBluetooth®オーディオ機器によっては、再生が開始されるまでに数10秒程度かかることがあります。

Bluetooth®接続する／しない▷p.114

■ Bluetooth®オーディオ操作画面の見かた

使用するBluetooth®オーディオ機器の機種によっては、一部の操作メニューが使用できないことがあります。

① **曲情報**：
曲情報が登録されているときは、アーティスト名／アルバム名／トラック名を表示します。

② **再生時間**：
曲が始まってから現在までの時間を表示します。

③ **プレイモード**：
プレイモードを表示します。（全曲リピートのときは表示されません。）

④ ►/II：
タッチすると、曲を再生もしくは一時停止します。接続するBluetooth®オーディオ機器によっては、再生が開始されるまで、数10秒程度かかることがあります。

⑤ モード：
タッチすると、以下のプレイモードを設定することができます。

- シャッフル：
自動的に曲順を変えて再生します。オフ、全曲、グループから選びます。
- リピート：
曲順を繰り返し再生します。オフ、1曲、全曲、グループから選びます。

⑥ トラックリスト
トラックリストを表示します。トラック名をタッチすると、選択した曲を再生します。

⑦ メニュー：
タッチすると、再生方法の選択画面を表示します。

Bluetooth®オーディオを使いこなす

■ Bluetooth®接続する／しない

1 設定スイッチを押す

Bluetoothをタッチする

2 Bluetoothで接続をタッチする

ONが点灯し、Bluetooth®接続ができます。

Bluetooth®接続について

Bluetooth®接続をしない設定にすると、ハンズフリーフォンのBluetooth®接続もできなくなりますのでご注意ください。

■ 接続するオーディオ機器を切り替える

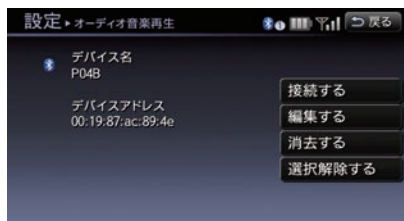
オーディオ機器切り替え時はBluetooth®オーディオ再生を停止してください。

1 設定 スイッチを押す

Bluetooth → 機器の接続切替・編集・消去 をタッチする

2 オーディオ音楽再生 をタッチする

3 切り替える機器をタッチする(※1)

4 接続する をタッチする

編集する ：
デバイス名を変更できます。

消去する ：
登録機器を消去できます。

選択解除する ：
選択した登録機器を解除できます。

テレビ・オーディオ

知識

(※1) リストには、登録した携帯電話機も表示されます。必ずBluetooth®オーディオ機器として登録した機器を選んでください。

■ 車載機のBluetooth®情報を見る

1 設定スイッチを押す

Bluetooth → 車載機のBluetooth情報・変更をタッチする

2 変更する項目をタッチする

パスキー：
車載機のパスキーを変更できます。

デバイス名：
車載機のデバイスの名称を変更できます。

デバイスアドレス：
車載機のデバイスアドレスを表示します。

3 決定をタッチする

登録内容が変更します。

DVDビデオを見る

DVDを再生する

1 ディスクを挿入する

CDを再生する˝˝p.94

ディスクを読み込み自動的に再生が始まります。

2 操作画面が表示される

何も操作しないと数秒後に消えます。(※1)

［▲］を押すと、ディスクが排出されます。(※2)

知識

(※1) 再度、操作画面を表示するには DISC スイッチを押すか、再生中に画面にタッチしてください。

(※2) 排出されたディスクをそのままにしておくと、オートリロード機能が働き、ディスクが再び引き込まれます。

■ DVD操作画面の見かた

① **タイトル／チャプター表示（DVD-VIDEO 再生時）**
トラック（VIDEO-CD再生時）
現在再生中のタイトル／チャプター／グループ／トラック番号を表示します。

② **再生時間**
再生の経過時間を表示します。

③ **ディスクの音声フォーマット（記録形式）**
ディスクの音声フォーマットを表示します。

④ **サウンドモード**
ディスクのサウンドモードを表示します。

⑤ **画面設定**
現在の画面設定を表示します。

⑥ **操作メニュー**
再生、停止などの操作メニューを表示します。（操作メニューは、ディスクによって異なります。）

⑦ 設定
各種機能の設定画面を表示します。

⑧ 消す
画面上の操作メニューを消します。

⑨ 移動
画面上の操作メニューが移動します。

DVD ビデオを操作する

以下の操作メニューを使って操作します。

：

再生が一時停止します。

一時停止中は▶に表示が変わります。

：

再生が停止します。

▶▶|：

次のトラック／チャプターに進みます。

長くタッチすると、タッチしている間早送りし、指を離すと再生を始めます。

|◀◀：

1回タッチすると現在のトラック／チャプターの最初に戻ります。

更にタッチすると、タッチした回数だけ前のトラック／チャプターに戻ります。

長くタッチすると、タッチしている間早戻しをし、指を離すと再生を始めます。

：

タッチするごとに設定した間隔でジャンプします。 15秒、30秒、60秒から設定します。

トップメニュー：

画面にメニューが表示されます。

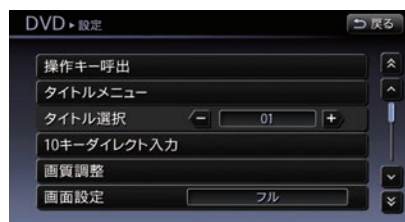
DVDビデオを使いこなす

DVDプレーヤーには音声言語や字幕言語を切り替える機能や、字幕の有無を設定できる機能などがあります。

1 操作画面を表示する

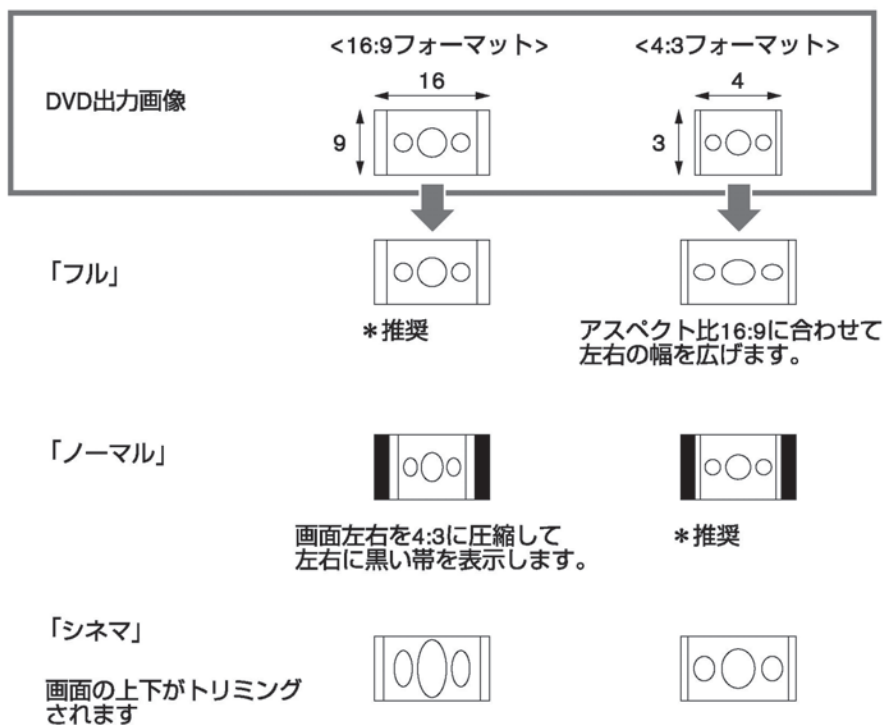
設定を選ぶ

2 項目を選ぶ

テレビ・オーディオ

以下の項目を設定することができます。

設定項目	設定内容	適用ディスク
操作キー呼出	画面にメニューを操作するための操作キーを表示します。	DVD-VIDEO VIDEO CD2.0
タイトルメニュー	ディスクに収められている各タイトルのメニューが表示されます。	DVD-VIDEO
タイトル選択	タイトルを選ぶことができます。	DVD-VIDEO DVD-VR
10キーダイレクト入力	見たいグループ／トラック、タイトル／チャプターを指定して再生することができます。	VIDEO CD2.0 のみ非表示
画質調整	明るさ、コントラストなどの画質調整ができます。	すべてのディスク
画面設定	フル、ノーマル、シネマから選びます。	すべてのディスク
プレイモード切替	プレイモードを切り替えます。	VIDEO CD2.0 のみ 非表示
音声	DVDディスクに収録されている音声を切り替えることができます。	すべてのディスク
字幕	DVDディスクに収録されている字幕の言語を切り替えることができます。	VIDEO CD2.0/1.1 のみ非表示
アングル	カメラアングルが複数収録されているディスクの場合に別のカメラアングルに切り替えることができます。	DVD-VIDEO
アングルマーク	全画面で映像表示中にアングル操作が可能になったことを知らせるアイコンが表示されます。表示のON/OFFを選ぶことができます。	DVD-VIDEO
メニュースキップ	DVDメニュー（ソフト固有のメニュー）を自動選択することで、選択操作をしなくても本編を再生するように設定できます。（自動選択には5秒ほどかかります。）	DVD-VIDEO
CMスキップ	CMスキップの秒数を設定できます。	DVD-VIDEO
ダイナミックレンジコントロール	ダイナミックレンジコントロール機能（DRC）のON/OFFを設定できます。	DVD-VIDEO DVD-VR
ソフトメニュー言語	DVDメニューのトップメニューを表示する言語を切り替えることができます。	DVD-VIDEO
タイトルリスト	タイトルリストを表示します。	DVD-VR

設定項目	設定内容	適用ディスク
セレクトNo	VIDEO-CD 2.0のメニュー（セレクション）を指定して再生することができます。	VIDEO CD2.0
PG/PLモード切替	DVD-VRの優先再生モードの設定を切り替える機能です。 ※ PG/PL（プログラム/プレイリスト）	DVD-VR

■ 画面の縦横比について

画面の縦横比率をアスペクト比といいます。

家庭用テレビのアスペクト比は、一般的な4:3（1.33:1）とワイドTVの16:9（1.78:1）の2つの規格が存在します。また、DVD（DVD-VIDEO）側に記録されている映像も4:3フォーマットのものと16:9フォーマットのものがあります。

そこで、DVD（DVD-VIDEO）では、映像のアスペクト比（画面の縦横比率）を、モニター側のアスペクト比に合わせる処理が行われます。（16:9フォーマットの映像の左右をトリミングしたものを「パン&スキャン」といいます。）

本機では、16:9フォーマットのソフトを利用するときは「フル」、4:3フォーマットのソフトを利用するときは、基本的に「ノーマル」を選択してください。また、お好みに合わせて「シネマ」を選択することもできます。

テレビを見る

⚠ 注意

- 安全のため走行中に地上デジタルテレビ画面は映りません。車を完全に停止し、パーキングブレーキをかけたときのみ、ご覧になることができます。それ以外では走行中と判断し、「画像は停車中にお楽しみください」と表示され、音声のみとなります。

テレビ画面を表示する

TV・AUX スイッチを押すとテレビ操作画面が表示されます。

■ 地上デジタル放送について

初めて地上デジタル放送画面を表示するときは、地上デジタル放送を表示する前に、画面上にB-CASカード使用許諾契約約款を表示します。必ずよくお読みの上、同意してから地上デジタル放送をお楽しみください。

地上デジタルテレビについて…p.277

● B-CASカードについて

- B-CASカードは、本機に組み込まれております。地上デジタル放送（12セグ）を初めて使用する際に、B-CASカード使用許諾契約約款が本機モニター上に表示されます。
- B-CASカード使用許諾契約約款において 承諾する を選択した場合、地上デジタル放送が視聴可能になります。また、一度承諾したあとは、それ以降B-CASカード使用許諾契約約款は表示されません。
- 承諾しない を選択した場合、1セグのみの視聴可能となります。地デジ設定から B-CASカード使用許諾契約約款 を選択することで、再度B-CASカード使用許諾契約約款画面を表示することができます。

■ テレビ操作画面の見かた

① **現在のテレビモード**：
TV1（自宅エリア）またはTV2（おでかけエリア）のどちらかが表示されます。

② **選局チャンネル**：
現在受信中のチャンネルが表示されます。放送局名がない場合は、3桁もしくは2桁のチャンネル番号を表示します。

③ **受信感度バー**：
受信状態を表示します。
アンテナ3本：強い
アンテナ1本：弱い
アンテナ0本：受信できません。

④ **放送メッセージ消去**：
タッチすると放送メッセージの表示を消去できます。（緊急メッセージなど、消去できないメッセージでは表示されません。）

⑤ メニュー ：
テレビ番組を見るためのメニューと設定メニューを表示します。

⑥ **チャンネルリスト**：
プリセットリストに登録されたチャンネルが表示されます。

テレビ操作画面について

- 操作しないと8秒後にチャンネルリストなどが消えて、通常のテレビ画面になります。画面をタッチすると、再びチャンネルリストなどが表示されます。
- 1つのチャンネルで複数の番組を同時に放送している場合は、チャンネルリストにSUBアイコンが表示されます。SUBアイコンが表示されたチャンネルをタッチするごとに、同じチャンネル内にある複数の番組を切り替えることができます。SUBチャンネルは、地上デジタル放送（12セグ）のみ受信できます。

■ チャンネルを選ぶ

1 TV・AUXスイッチを押す

テレビ操作画面が表示されます。

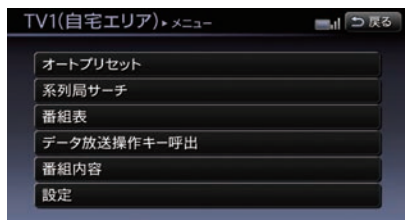
2 見たいチャンネルをタッチする

選んだチャンネルが表示されます。

■ テレビのメニュー画面の見かた

1 TV・AUXスイッチを押す

メニューをタッチする

2 設定する項目をタッチする

オートプリセット：
現在地付近の放送局を自動登録します。

系列局サーチ：
走行エリア付近の放送局の系列局を自動的にサーチします。

番組表：
番組表を表示します。

データ放送操作キー呼出：
データ放送の操作キーを表示します。

番組内容：
番組の詳しい内容を表示します。

設定：
受信チャンネルやメールの設定また音声、画質などの設定をします。

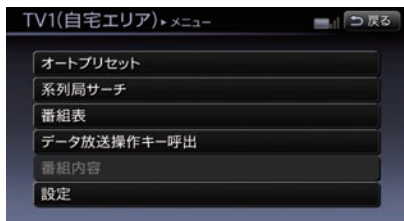
TV2の画面を表示させるには、TV1が選ばれているときTV・AUXスイッチを押して下さい。

■ オートプリセット

現在地で受信可能な放送局を自動的に取得します。TV1、TV2に12局ずつ、最大24局まで自動的に登録されます。

1 TV・AUXスイッチを押す

メニューをタッチする

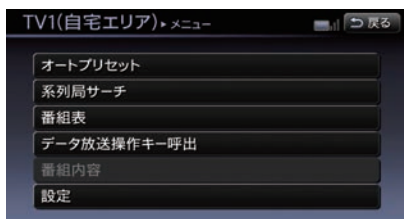
2 オートプリセットをタッチする

放送局を自動で探します。

■ 系列局をサーチする

受信している放送局のエリア圏外に入ったときなどに、走行エリア付近の系列局を探します。

1 TV・AUXスイッチを押す

メニューをタッチする

2 系列局サーチをタッチする

最大で約3分間サーチしても放送局が見つからない場合は、元のチャンネルに戻ります。

受信チャンネルを設定する

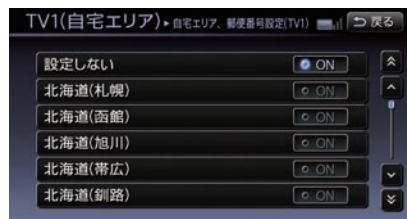
初めて地上デジタルテレビを見るときは、「自宅のエリア、郵便番号の設定がありません。設定しますか？」というメッセージ画面が表示されます。設定を選んで、受信チャンネルの設定を行ってください。

■ 自宅エリアを設定する

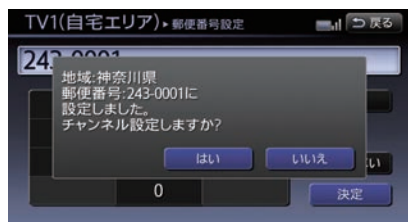
1 TV・AUXスイッチを押て、**TV1**（自宅エリア）を表示する

メニュー → 設定 →

自宅エリア、郵便番号設定（TV1）をタッチする

2 自宅のある地域をタッチする

3 郵便番号を入力する

入力したら、決定をタッチします。

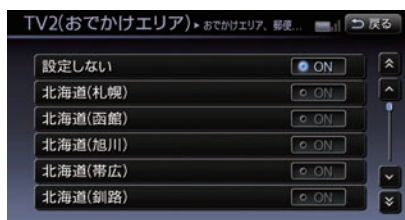
テレビ・オーディオ

4 はい をタッチする

自宅エリアのチャンネルが設定されます。

■ おでかけエリアを設定する

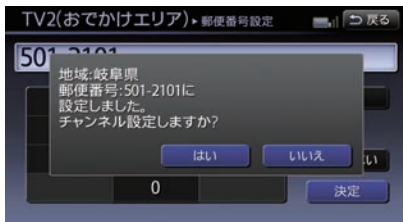
1 TV・AUX スイッチを押て、**TV2**（おでかけエリア）を表示する

メニュー → 設定 → おでかけエリア、郵便番号設定（TV2）をタッチする

2 お出かけ先の地域をタッチする

3 郵便番号を入力する

入力したら、決定 をタッチします。

引越しなどで受信地域が変わった場合は、自宅エリアを再設定してください。

4 はい をタッチする

お出かけ先のチャンネルが設定されます。

■ チャンネルを登録する

1 登録したいチャンネルを表示する

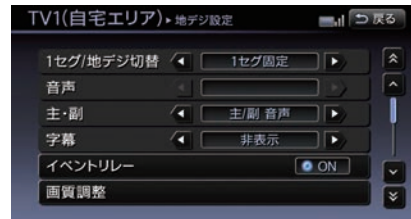
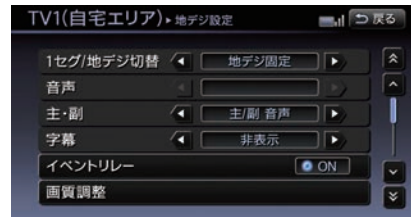
2 登録したいチャンネルリストを長くタッチする

「ピッ」と音がすると、登録が完了します。

テレビを使いこなす

■ 1セグと地上デジタル放送を切り替える

1 TV・AUX スイッチを押す

メニュー → 設定 をタッチする

2 1セグ/地デジ切替の ◀ または ▶ をタッチして項目を切り替える

自動：
受信状況に応じて自動的に切り替わります。
地デジ固定：
地上デジタル放送に固定されます。
1セグ固定：
1セグ放送に固定されます。

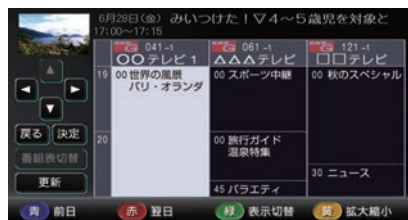
オーディオ・ビデオ

★：車種、グレード、オプションなどにより、装着の有無が異なります。◎：ディーラーオプションです。

■ 番組表を表示する

1 TV・AUX スイッチを押す

メニュー → 番組表 をタッチする

2 項目をタッチする

番組表について

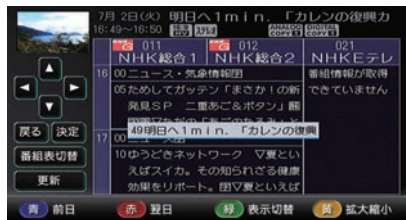
- 画面上に表示する番組表は、地上デジタル放送の場合は最大4日分、1セグ放送の場合は最大10番組になります。
- 電源をONにした直後は、番組表が表示されるまでに約1分程度かかる場合があります。
- 地上デジタルの番組情報は、地上デジタル放送と一緒に送られています。
- 受信可能な放送局で番組情報が表示されない場合は、その放送局を選んで 決定 をタッチします。（数分かかることがあります）

● 番組表の見かた

① **現在受信している番組**
② **選択している番組**
③ **番組表**
④ (青)：
前日の番組表を表示します。
(赤)：
翌日の番組表を表示します。
(緑)：
全ての番組表表示と主要な番組表表示とを切り替えます。
(黄)：
番組表を拡大または縮小します。（4段階）
⑤ (更新)：
番組表を更新します。
⑥ (番組表切替)：
1セグと地上デジタル放送の番組表を切り替えます。（1セグ／地デジ切替が自動に設定されている場合のみ、切替操作できます。）
⑦ (戻る)：
前画面に戻ります。
⑧ (決定)：
選択した項目を決定します。
⑨ ◀ ▼ ▶ ▲：
カーソルを上下左右に移動して、項目を選択します。

● 間引き番組を表示する

省略されている番組（間引き番組）の番組表を前面にポップアップ表示させます。番組が省力されているときは、青い横線（間引き線）で示します。

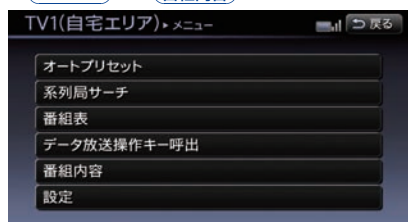
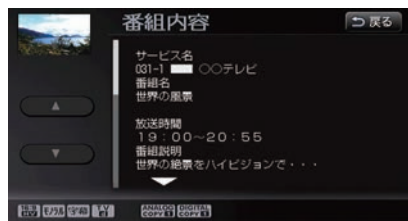
1 ▼または▲をタッチして、間引き線に移動する

間引き番組がポップアップ表示されます。

間引き番組が複数ある場合は、ポップアップ表示の下に太い横線で強調表示されます。

■ 番組の詳しい内容を見る

地デジ受信中のみ番組内容を表示できます。1セグ受信中は番組内容やデータ放送の視聴はできません。

1 TV・AUX スイッチを押す

メニュー → 番組内容 をタッチする

2 番組内容を確認する

▲：
表示が上方向にスクロールします。

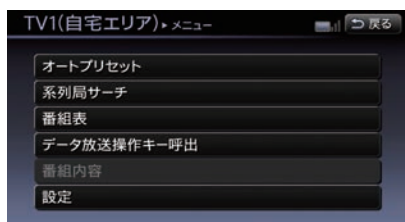
▼：
表示が下方向にスクロールします。

■ データ放送を見る

データ放送のある番組からはいろいろな情報が見れます。アイコンが表示された番組にはデータ放送があります。

アイコン一覧‥p.135

1 TV・AUX スイッチを押す

メニュー → データ放送操作キー呼出 をタッチする

2 操作キーをタッチする

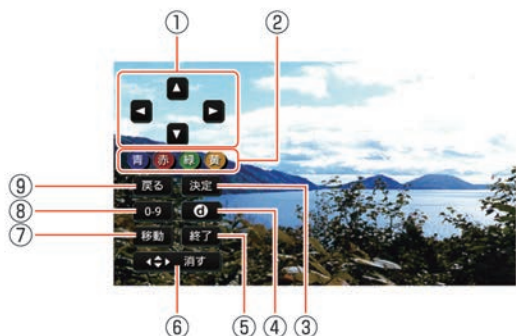
◆：
データ放送操作画面を表示します。

d：
データ放送に切り替わります。(※1)

終了：
通常のデジタル放送に戻ります。

知識

(※1)
- 情報量が多いときは、表示に時間がかかる場合があります。
- チャンネル切り替え直後は、データ放送に切り替わらない場合があります。画面下に「データ取得中」とメッセージが表示された後にもう一度をタッチしてください。

● データ放送操作画面の見かた

① ◀ ▼ ▶ ▲ ：
カーソルを上下左右に移動します。

② 青 赤 緑 黄 ：
データ放送のコンテンツに依存した動作をします。

③ 決定 ：
選択した項目を決定します。

④ d ：
データ放送を表示します。

⑤ 終了 ：
データ放送画面を終了します。

⑥ 消す ：
操作キーを元の表示に戻します。

⑦ 移動 ：
操作キーの表示位置を左右に移動させます。

⑧ 0-9 ：
10キー入力の操作キーが表示されます。

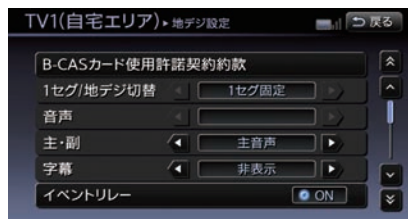
⑨ 戻る ：
データ放送のコンテンツに依存します。

各種機能の設定をする

自宅エリア、郵便番号設定（TV1）、おでかけエリア、郵便番号設定（TV2）を除き、TV1、TV2とも共通の設定となります。

1 TV・AUXスイッチを押す

メニュー → 設定をタッチする

2 設定する項目をタッチする

以下の項目を設定することができます。

B-CASカード使用許諾契約約款：(※1)
B-CASカード使用許諾契約約款を表示します。

1セグ／地デジ切替：
1セグ固定／地デジ固定／自動切替を設定します。

音声：
日本語／英語など言語を切り替えます。

主・副：
主音声と副音声を切り替えます。

字幕：
字幕言語を切り替えます。

イベントリレー：
視聴している番組のイベントリレーを設定します。

画質調整：
画面の明るさやコントラストなど、画質の調整をします。

チャンネル番号入力：
3桁チャンネル番号を入力して、選局できます。

自宅エリア、郵便番号設定（TV1）：
自宅周辺の受信チャンネルを設定します。

おでかけエリア、郵便番号設定（TV2）：
旅行先など、お出かけになる地域の受信チャンネルを設定します。

放送メール(※2)：
放送局からのお知らせや情報を確認できます。

B-CASカード情報：
B-CASカードの情報を確認できます。

設定情報初期化：
設定した情報を消去し、設定を初期設定の状態に戻します。

(※1) • B-CAS使用許諾契約約款は初回のみ表示します。

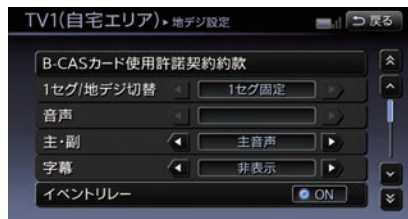
(※2) • 放送メールは、最大8通まで保存できます。

• 新しいメールを受信すると、未読・既読に関係なく古いメールから削除されます。

■ 音声と字幕の設定をする

1 TV・AUX スイッチを押す

メニュー → 設定 をタッチする

2 設定したい項目の ◀ または ▶ をタッチして項目を切り替える

音声：
日本語／英語／その他の対応言語に音声を切り替えます。

主・副：
主・副／主音声／副音声を切り替えます。

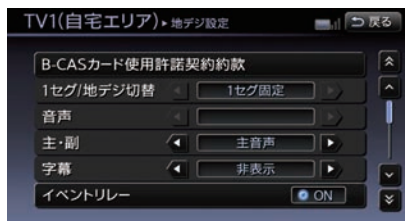
字幕：
非表示／第一言語／第二言語から字幕を切り替えます。

■ イベントリレーを設定する

同じ番組内容でチャンネルが別のチャンネルへ移行する場合、チャンネルを移行先のチャンネルへ自動で切り替え、番組の視聴を継続できます。

1 TV・AUX スイッチを押す

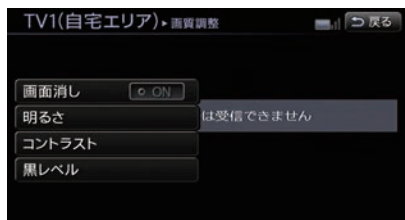
メニュー → 設定 をタッチする

2 イベントリレー をタッチする

ON が点灯し、イベントリレーが設定されます

■ 画質の調整をする

1 TV・AUX スイッチを押す

メニュー → 設定 → 画質調整 をタッチする

2 調節する項目をタッチする

画面消し：
画面表示のON/OFFを切り替えます。

明るさ：
画面の明るさを調整します。

コントラスト：
画面のコントラストを調整します。

黒レベル：
画面の黒レベルを調整します。

■ チャンネル番号を入力して選局する

1 TV・AUX スイッチを押す

メニュー → 設定 → チャンネル番号入力 をタッチする

2 3桁チャンネル番号を入力する(※1)

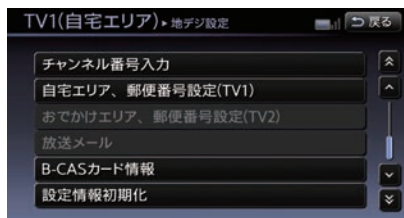
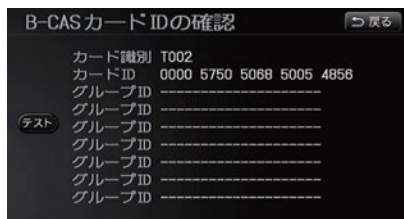
番号を入力したら、決定 をタッチします。

■ B-CAS カードの情報を見る

B-CASカードのナンバーなどの情報を見たり、B-CASカードのテストができます。

1 TV・AUX スイッチを押す

メニュー → 設定 をタッチする

2 B-CASカード情報 をタッチする

3 テスト をタッチする

テストの結果が表示されます。
カードナンバーが表示されない場合は、日産販売会社 にご相談ください。

知識

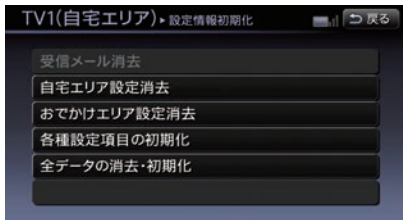
チャンネル番号入力の選局について

(※1)
- あらかじめ登録されているチャンネルのみ選局できます。
- 1セグ／地デジ切替設定が1セグ固定または地デジ固定の場合は、それぞれに該当する3桁チャンネルを入力してください。

■ 設定を初期化する

1 TV・AUX スイッチを押す

メニュー → 設定 → 設定情報初期化 をタッチする

2 消去する設定をタッチする

受信メール消去 ：
放送メールを消去します。

自宅エリア設定消去 ：
自宅エリアの設定を消去します。

おでかけエリア設定消去 ：
おでかけエリアの設定を消去します。

各種設定項目の初期化 ：
音声、字幕などの各種設定を初期化します。

全データの消去・初期化 ：
全データを消去し、設定を初期状態にします。画質調整の設定は初期化されません。

アイコン一覧

- 本機はアイコンによって、表示画面の情報をお知らせします。アイコンは番組内容の表示であり、「デジタル1COPY」など本機の機能と関連のないものもあります。
- 放送局から情報が送られてこない場合は、正しいアイコンを表示しない場合があります。

番組内容画面

アイコン	説明
TV	テレビ放送（映像＋音声）の番組。
データ	データ放送の番組。
1 SEG	1セグ放送の番組。
地デジ DIGITAL	地上デジタル放送の番組。
TV+d	番組内容に関連したデータ放送を行っている番組。
TV d	番組とは別のデータ放送を行っている番組。
モノラル	モノラル音声の番組。
2カ国	2カ国語放送の番組。
ステレオ	ステレオ放送の番組。
DIGITAL 出力 ☒	デジタル出力していない番組。
字幕	番組の中に字幕（日本語／英語）の情報が含まれている番組。
DIGITAL COPY ☒	デジタルコピーガードが、かかっている番組。（デジタルで録画できません）
ANALOG 出力 ☒	アナログ出力していない番組。
臨時	臨時放送時に表示されます。
ANALOG COPY ☒	アナログコピーガードが、かかっている番組。（アナログで録画できません）

DIGITAL COPY 1	1回のみデジタルコピーが可能な番組。（録画後、ダビングできません）
16:9 HV	ワイド画面のハイビジョン放送の番組
4:3 HV	ノーマル画面のハイビジョン放送の番組。
16:9 SD	ワイド画面の通常放送の番組。
4:3 SD	ノーマル画面の通常放送の番組。
	1セグ／地デジ切替の設定が自動の場合に表示されます。
	緊急警報放送（EWS）時に表示されます。

AUX（外部機器）を使う

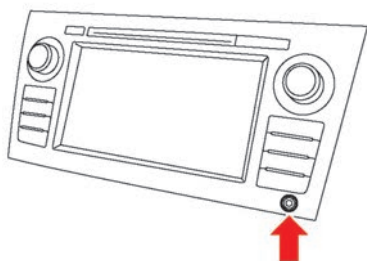
ポータブルMP3プレーヤーなどオーディオ機器を接続して使用できます。

外部機器を接続する

外部機器の接続端子は、ナビゲーションユニットもしくはセンターコンソール下部にあります。

外部機器の接続を行うときは、オーディオの電源をOFFにします。また接続する外部機器の電源も切ってください。

1 接続ケーブルの端子を接続する

セレナ（※1）、ティアナ

エクストレイル

アドバイス

- 外部機器の接続端子には、1/4 inch (3.5 mm)のステレオミニプラグのケーブルを接続してください。モノラルミニプラグのケーブルをご使用になると、音声が正常に出力されない場合があります。
- 接続端子にプラグを挿入したまま横方向に荷重をかけると、接続端子が破損したり、オーディオ機器のプラグが変形するおそれがあります。

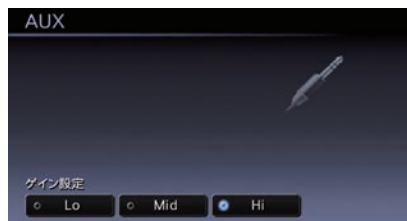
知識

（※1） 後席ディスプレイ付き車は、後席ディスプレイ専用の外部機器入力端子があります。

後席用AUX（外部機器）の接続口´´´ p.147

AUX画面を表示する

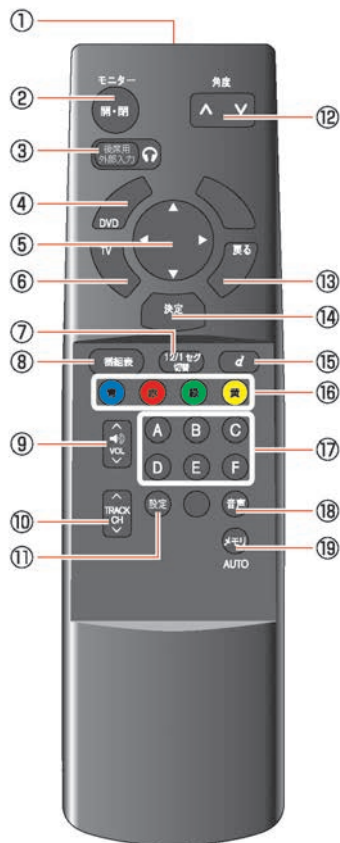
外部機器の電源をONにして、TV・AUXスイッチを押すとAUX画面が表示されます。

■ AUX操作画面の見かた

ゲイン設定：
出力レベルをLo、Mid、Hiから設定します。

後席でオーディオ・テレビを見る★

後席リモコンの使い方

後席ディスプレイの操作は、付属の後席リモコンで行います。

■ 各部の名称と機能

① **リモコン発光部**
後席ディスプレイの受光部に向けてスイッチを押します。

② **開・閉スイッチ**
後席ディスプレイを開閉します。

③ **後席用外部入力スイッチ**(※1)
AUX （外部機器）画面に切り替えます。

④ **DVDスイッチ**
DVD画面に切り替えます。

⑤ **セレクトスイッチ**
設定画面の各項目を選択します。

⑥ **TVスイッチ**
テレビ画面に切り替えます。

⑦ **12/1セグ切替スイッチ**
押すごとに、地上デジタル放送→1セグ放送→ AUTOに切り替わります。

⑧ **番組表スイッチ**
番組表を表示します。

⑨ **∧ VOL ∨ スイッチ**
車内のスピーカーの音量を調整します。

⑩ **∧TRACK CH∨スイッチ**
テレビ画面のときは、短く押すとチャンネルを切り替えます。長く押すと放送局をサーチします。
DVD再生のときは、短く押すとチャプターを切り替えます。長く押すと早送り／早戻しをします。

⑪ **設定スイッチ**
画面の明るさや色合いなどを変更します。

⑫ **∧ ∨スイッチ**
後席ディスプレイの角度を調整します。

⑬ **戻るスイッチ**
設定中の各画面で、一つ前の画面に戻ります。

⑭ **決定スイッチ**
各項目の設定を決定します。

⑮ **dスイッチ**
データ放送画面を表示します。

⑯ **青 赤 緑 黄スイッチ**
テレビ画面上で指示が出たときに使います。

⑰ **A～Fスイッチ**
テレビ画面のときは、登録されているテレビのチャンネルに切り替えます。DVD/USB再生のときは、各スイッチに割り当てられ

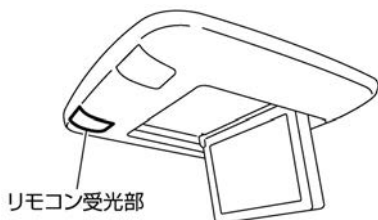
た機能を実行します。

⑱ 音声スイッチ
DVDソフト、地上デジタル放送、USBの動画ファイルの音声言語を切り替えます。

⑲ メモリスイッチ
長押しすると、受信可能なテレビチャンネルを自動で登録します。

(※1) AUX再生中からその他のオーディオに切り替える場合は、後席用外部入力でAUX表示をOFFにしてから、操作してください。

■ 後席リモコン受光部

後席操作を行うときは、後席リモコンの発光部を後席ディスプレイ付近にある受光部に向けてスイッチを押して操作します。

■ 電池の交換をする

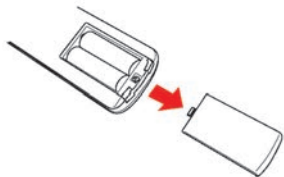
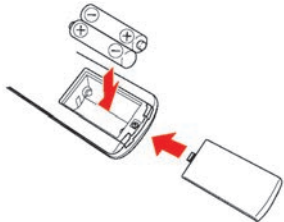
後席リモコンの電源は、単3乾電池を2本使用します。

注意

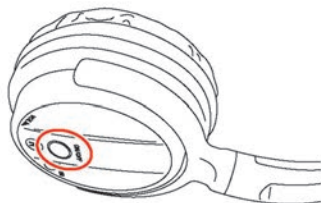
- **電池の＋、－の向きを間違えたり、新しい乾電池と消耗した乾電池、または種類の違う乾電池を混ぜて使用したりすると、液漏れや破損により火災やけがの原因になることがあります。**

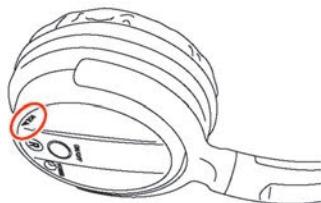
アドバイス

- 液漏れが起こったときは、液をよくふき取ってから新しい乾電池を入れてください。また万一、漏れた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。
- 付属の乾電池は充電できません。

1 後席リモコンのふたを開けて、古い乾電池を取り出す

2 乾電池の＋、－の向きを確認して、正しくセットする。乾電池を入れたら、ふたを閉める

ヘッドフォンの使い方

■ ヘッドフォンを使う(※1)

1 電源スイッチを押す

- 電源スイッチは、ヘッドフォンの右側にあります。
- ヘッドフォンの電源ランプが点灯し、ヘッドフォンから音声が流れます。

2 音量を調整する

ヘッドフォンの右側に音量調整用のダイヤルがあります。
ダイヤルを回して調整します。

(※1) ヘッドフォンは、運転席側セカンドシートのシートアンダーボックスに収納されています。

■ 電池の交換をする

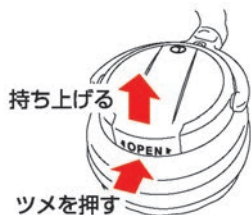
ヘッドフォンの電源は、単4乾電池を2本使用します。

⚠ 注意

- **電池の＋、－の向きを間違えたり、新しい乾電池と消耗した乾電池、または種類の違う乾電池を混ぜて使用したりすると、液漏れや破損により火災やけがの原因になることがあります。**

アドバイス

- 液漏れが起こったときは、液をよくふき取ってから新しい乾電池を入れてください。また万一、漏れた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。
- 付属の乾電池は充電できません。

1 ヘッドフォン左の**OPEN**の溝にマイナスドライバーのようなものを差し込み、ふたを開けて、古い乾電池を取り出す

2 乾電池の＋、－の向きを確認して、正しくセットする。乾電池を入れたら、ふたを閉める

後席ディスプレイを操作する

⚠ 注意

- **後席ディスプレイを閉じるときまたは角度の調整を行っているときに、格納部に手を入れないでください。指を挟んでケガをしたり、無理な力が加わり故障の原因となります。**
- **後席ディスプレイを開いたままにしておくと不用意に体などが接触し、思いがけないケガをしたり、大きな力が加わり故障の原因となります。**

■ 後席ディスプレイを開閉する

1 開・閉スイッチを押す

後席ディスプレイが開閉します。

設定スイッチ → 後席オーディオ → 後席ディスプレイを開くからでも、後席ディスプレイを開閉できます。

■ 後席ディスプレイの角度を調節する

1 後席ディスプレイが開いているときに、∧∨スイッチを押す

後席ディスプレイの角度が変化します。

アドバイス

- 使用後はリモコンやヘッドフォンをリモコンフォルダー（同梱品）またはヘッドフォン袋に入れて邪魔にならない場所に格納してください。

後席でテレビを見る

■ テレビ画面の操作

● 画面メニューを操作する

1 TVスイッチを押す

2 項目を選ぶ

3 決定スイッチを押す

以下の項目を設定することができます。

番組表	番組表を表示します。
データ放送	データ放送画面を表示します。
番組内容	番組内容画面を表示します。
音声	日本語／英語／その他の対応言語に音声を切り替えます。

字幕	非表示／第一言語／第二言語から字幕を切り替えます。
主・副	主・副／主音声／副音声を切り替えます。
系列局サーチ	走行エリア付近の系列局を探します。
CH番号入力	チャンネル番号を入力することができます。
数字入力	データ放送画面を表示中に数字の入力をすることができます。

■ チャンネルを変更する(※1)

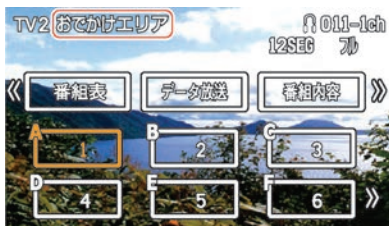
1 TV→A～F スイッチを押す

知識

(※1)
- TV操作メニュー表示中、後席リモコンのTVを押すたびに、TV1画面とTV2画面が切り替わります。
- セレクトスイッチの▽を押して、カーソル《または》の出ている方向へ画面をスクロールすると、A～Fに登録されているチャンネルが切り替わります。

■ チャンネルを登録する

● 手動で登録する（マニュアルプリセット）

1 TVスイッチを押してエリアを選ぶ

2 チャンネルを選ぶ

3 A～Fスイッチを長押しする

「ピッ」と音が鳴り、チャンネルが登録されます。

● 自動で登録する（オートプリセット）(※1)

1 TVスイッチを押してエリアを選ぶ

2 メモリスイッチを長押しする

「ピッ」という音が鳴ると、自動登録が開始します。自動登録が終了すると、操作画面が表示されます。

(※1) 電波の強い放送局を順に登録します。
TV1・TV2 に12局ずつ、最大24局まで自動的に登録されます。

後席で映像を見る（DVD）

■ 映像画面の操作

1 DVDスイッチを押す

2 項目を選ぶ

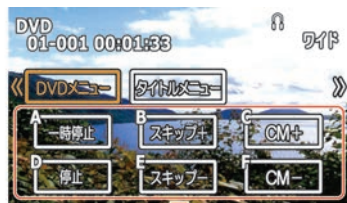
画面上部の項目は、後席リモコンのセレクトスイッチの左右を押して選び、決定を押します。

以下の操作が出来ます。(※1)

DVDメニュー	DVDソフト固有のメニューが表示されます。詳細については、各ソフトをご覧ください。

タイトルメニュー	ディスクに収められている各タイトルのメニューが表示されます。詳細については、各ソフトをご覧ください。
音声	DVDディスクに収録されている音声を切り替えることができます。
字幕	DVDディスクに収録されている字幕の言語を切り替えることができます。
アングル	カメラアングルが複数収録されているディスクの場合に別のカメラアングルに切り替えることができます。
タイトル選択	タイトルを選ぶことができます。
10キー入力	見たいグループ／トラック、タイトル／チャプターを指定して再生することができます。
Select No.	VIDEO-CD 2.0のメニュー（セレクション） を指定して再生することができます。

(※1) 表示される操作項目は、再生されるメディアやデータによって異なります。

画面下部の項目は、左上のアルファベットに対応した後席リモコンのA～Fを押します。

以下の操作ができます。

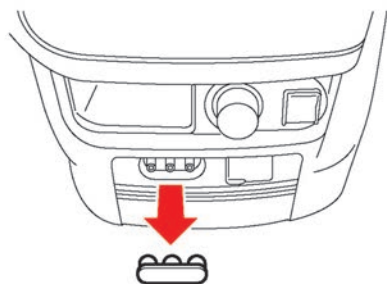
一時停止／再生	停止中は再生を開始します。再生中は、一時停止します。もう一度押すと一時停止を解除します。
停止	停止します。
スキップ+	チャプターやトラックを送ります。
スキップ−	チャプターやトラックを戻します。
CM+／CM−	押した回数ごとに前席で設定した間隔でジャンプします。
フォルダ+	ファイルやフォルダを送ります。
フォルダ−	ファイルやフォルダを戻します。

後席で映像を見る（AUX）

後席ディスプレイのみ外部入力端子から接続したビデオやゲーム機器などの外部機器を再生することが可能です。

AUX接続時、AUXの音声は、ヘッドフォンでのみ聞くことができます。

■ 後席用AUX（外部機器）の接続口

後席用AUX（外部機器）の接続口は、センターロアボックスの下部にあります。

■ 後席でAUX（外部機器）を表示する

1 後席リモコンで 後席用外部入力 スイッチを押す

AUX再生中は、リモコンの TV または DVD スイッチを押しても再生は切り替わりません。後席用外部入力 を押して、AUX（外部機器）表示をOFFにしてからテレビ、DVDを再生してください。

画質を調整する

1 設定 スイッチを押す

2 設定したい項目を選ぶ

以下の項目を設定することができます。

画面モード	画面サイズをノーマル／ワイド／シネマ／フルに切り替えます。
ピクチャーモード	ノーマル／ダイナミック／シネマ／ゲームの4モードで設定できます。 明るさ／色合い／色の濃さ／コントラスト／黒レベルを調整します。(※1)
カラーシステム	AUTO/NTSC/PAL/PAL60/PALMに切り替えます。
3次元Y/C	ONにすると画面のにじみやチラつきを低減します。

(※1) 明るさをオートに設定すると、周囲の明るさに応じて画面の明るさが自動的に変化します(オートブライト機能)。

テレビ・オーディオ

情報を見る

交通情報を見る

VICSを使った交通情報をナビゲーション画面上に表示させたり、設定することができます。

VICS地図情報の見かた

① **VICS受信時刻表示**

② **渋滞情報表示**
渋滞状況を示す矢印が色別に表示されます。矢印は、道路の混み具合によって色分けされ、長さで渋滞の範囲が分かります。

交通状況：色	VICS 交通情報	プローブ 交通情報
渋滞：赤		
混雑：橙		
順調：緑		

③ **地図情報記号**
交通障害、速度規制、駐車場などの情報を記号で表示します。

交通障害:　規制情報記号

：　事故
：　故障車
：　障害物・路上障害
：　作業
：　工事
：　凍結
：　通行止め・閉鎖
：　速度規制（10～80km/h間の10km/hごとに表示）
：　車線規制
：　入口制限
：　徐行
：　進入禁止
：　片側交互通行
：　対面通行
：　入口閉鎖
：　大型通行止め
：　チェーン規制

駐車場／パーキングエリア／サービスエリア

施設	駐車場	PA/SA
空車（70%以下）	P（青）	PA（青）
混雑（70～90%）	P（橙）	PA（橙）
満車（90%以上）	P（赤）	PA（赤）
不明（情報なし）	P（灰）	PA（灰）
閉鎖	P	PA

VICS FM多重情報を見る

1 情報・W スイッチを押す

VICS FM多重情報 をタッチする

2 表示させたい情報をタッチする

図形情報 :
渋滞情報を簡易図形で表示します。

文字情報 :
渋滞情報を文字で表示します。

所要時間 :
現在地に近い区間から所要時間情報が表示されます。

緊急情報 :
緊急情報を表示します。(※1)

知識

(※1) 緊急情報は受信すると自動的に表示されます。

■ VICS FM情報画面

① **メニュー画面**
受信したFM多重情報のメニューの一覧です。タッチしても情報画面は表示されません。

② **メニュー番号**
メニューに表示されている番号をタッチすると、情報画面が表示されます。

③ **メニュー番号送り**
タッチすると、表示しているメニュー画面の続きが表示されます。

④ **情報画面**
選択したメニューの図形情報などを表示します。

⑤ **ページ送り**
2ページ以上あるときは、∧をタッチして、ページを進めます。前のページに戻るには∨をタッチします。

情報を見る

VICSビーコン情報を見る◎

ビーコンからVICS情報を取得します。ビーコンには、高速道路に設置され、電波により、前方200km程度の高速道路の道路交通情報を中心に提供する電波ビーコンと、主要な一般道路に設置され、光により、30km程度先までの一般道の道路交通情報を中心に提供する光ビーコンがあります。

1 情報・W スイッチを押す

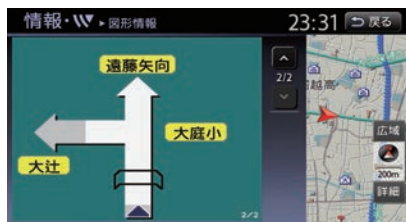
VICS FM多重情報 をタッチする

2 表示させたい情報をタッチする

選んだ情報画面が表示されます。
図形・文字・所要時間・緊急情報を確認できます。

電波ビーコン情報画面（例）

電波ビーコンは主に進行方向の高速道路の情報やインターチェンジ付近の接続道路、平行する一般道路の、渋滞・リンク旅行時間・規制・障害情報・SA/PA情報・簡易図形などを表示します。

光ビーコン情報画面（例）

光ビーコンは主に進行方向の一般道路と高速道路の、渋滞・リンク旅行時間・規制・駐車場情報・区間旅行時間などを表示します。

VICS情報を使いこなす

ここでは、さまざまなシーンでのVICS情報の活用方法を紹介します。

■ 駐車場の空き情報を見る

周辺の駐車場の空き情報を確認します。

また、駐車場も目的地に設定することもできます。

1 情報・W スイッチを押す

駐車場空き交通情報 を選ぶ

2 駐車場空き情報 を選ぶ

3 駐車場を選ぶ

駐車場の空き情報が表示されます。

■ SA/PA 駐車場の空き情報を見る

高速道路のサービスエリア（SA）/パーキングエリア（PA）の駐車場の空き情報が表示されます。

1 情報・W スイッチを押す

駐車場空き交通情報 を選ぶ

2 SA/PA駐車場空き情報 を選ぶ

3 駐車場を選ぶ

SA/PA駐車場の空き情報が表示されます。

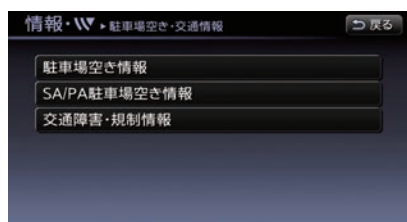
■ 交通障害・規制情報を見る

事故、故障車、路上障害物、工事、作業などのVICSマークを表示します。

画面上のVICSマークを選ぶと、交通障害・規制情報の詳しい内容がわかります。

1 情報・W スイッチを押す

駐車場空き交通情報 を選ぶ

2 交通障害・規制情報 を選ぶ

3 情報を選ぶ

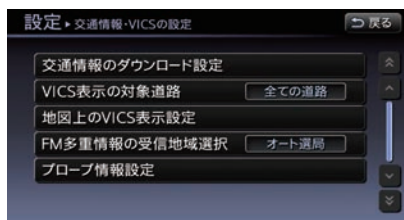
規制などの詳しい情報が表示されます。

VICSの設定をする

VICSの各種機能を設定します。

1 設定 スイッチを押す

ナビゲーション → 交通情報・VICSの設定 をタッチする

2 設定する項目をタッチする

交通情報のダウンロード設定 :
カーウイングス情報センターからの交通情報ダウンロードの設定をします。

VICS表示の対象道路 :
VICS情報を表示させる道路を設定します。

地図上のVICS表示設定 :
VICSアイコンや渋滞情報が地図上に表示されます。

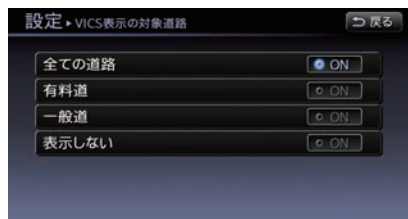
FM多重情報の受信地域選択 :
FM多重情報を受信する地域を設定します。

プローブ情報設定 :
プローブ情報の送信設定と消去をします。

■ VICS表示の対象道路を設定する

1 設定スイッチを押す

ナビゲーション → 交通情報・VICSの設定 → VICS表示の対象道路をタッチする

2 VICS情報を表示したい道路をタッチする

全ての道路：
すべての道路のVICS情報を表示します。

有料道：
有料道路上の交通情報やSA/PAなどのVICS情報を表示します。

一般道：
一般道路上の交通情報や駐車場などを表示します。

表示しない：
VICS情報を表示しません。

■ 地図上のVICS表示を設定する

1 設定スイッチを押す

ナビゲーション → 交通情報・VICSの設定 → 地図上のVICS表示設定をタッチする

2 設定する項目をタッチする

が点灯し、地図上に表示されるように設定されます。(※1)

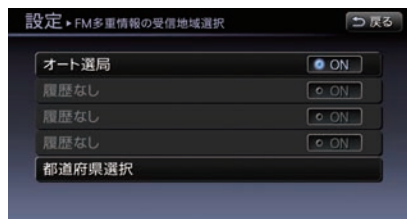
知識

(※1)
- 地図情報提供の対象外になっている道路や、情報提供の対象であっても情報が提供されていないか、不明と送信されている道路の情報は表示されません。
- 地図縮尺が2km以上のときは、渋滞情報やVICS情報は地図表示されません。

■ FM多重情報の受信地域を選択する

1 設定スイッチを押す

ナビゲーション → 交通情報・VICSの設定 → FM多重情報の受信地域選択をタッチする

2 設定する項目をタッチする

オート選局：
自動的に選局します。

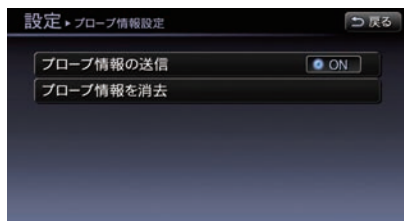
過去に使用した地域名称：
過去に使用した地域に設定します。

都道府県選択：
都道府県リストから選択します。

■ プローブ情報を設定する

1 設定スイッチを押す

ナビゲーション → 交通情報・VICSの設定 → プローブ情報設定をタッチする

2 設定する項目をタッチする

プローブ情報の送信：
プローブ情報の送信のON/OFFを設定します。

プローブ情報を消去：
プローブ情報を消去します。

プローブ情報とは

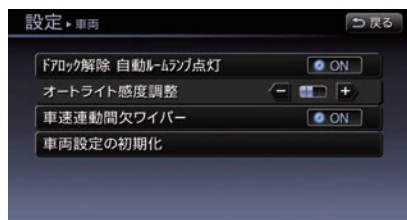
位置、走行距離および燃費などの走行情報のことです。これらの情報は、カーウイングス情報センターに送られ、渋滞情報などに利用されます。プローブ情報の送信をONに設定すると、カーウイングス情報センターから交通情報をダウンロードするときや、最速ルート探索時にプローブ交通情報をダウンロードで きます。

車両の機能を設定する★

ナビ画面から車両の各機能を設定できます。

1 設定スイッチを押す

その他設定 → 車両を選ぶ

2 設定したい項目を選ぶ

ドアロック解除　自動ルームランプ点灯：
キー連動室内照明システムをON/OFFします。

オートライト感度調整：
オートライトシステムの感度を調整します。

車速連動間欠ワイパー：
間欠ワイパーの車速感知機能をON/OFFします。

車両設定の初期化：
上記の車両設定を初期設定に戻します。

情報を見る

ナビソフトのバージョン情報を見る

地図データおよびナビソフトのバージョンなどを確認できます。

1 情報・W スイッチを押す

2 ナビバージョン情報 をタッチする

地図データについて

地図データは原則として年2回程度更新しています。地図データの更新については、日産販売会社にご相談ください。

地図データについて……p.254

ハンズフリーフォン

ハンズフリーフォンについて

携帯電話の接続のしかた

本機と携帯電話の接続は、Bluetooth®で接続します。

携帯電話を接続する→p.33

Bluetooth®携帯電話は、Bluetooth®オーディオ機器と合わせて5台まで登録することができます。

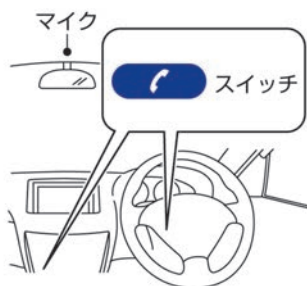
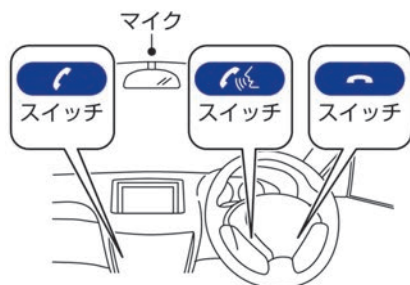
既に5台まで登録してある場合は、登録されているBluetooth®携帯電話・オーディオを1台消去してから登録してください。

Bluetooth®携帯電話を登録すると、登録したBluetooth®携帯電話が自動的に接続して使用可能になります。

別の登録機器を使用したい場合は、携帯電話の選択を行ってください。

操作スイッチとマイク位置

ハンズフリーフォンの操作は、ステアリングスイッチまたは、コントロールパネルで行います。通話は専用マイクで行います。マイクの位置は車種によって異なります。

セレナ：

ティアナ、エクストレイル：

ハンズフリーフォンを使うときは、マイクに近づいたり、意識的にマイクの方向に向いたりせずに、安全に運転できる姿勢で会話をしてください。

音量を調節する

コントロールパネルのVOLスイッチまたはステアリングの－◁＋★/◁＋ ◁－★ スイッチで音量を調節します。

着信音量の調節は、着信音が鳴っているときにVOLスイッチを操作します。

受話音量の調節は、通話中にVOLスイッチを操作します。ただし、音声ガイド中は調節できません。

着信音量、受話音量、送話音量は、あらかじめ別々に設定できます。

音量を設定する→p.170

受話音量が大き過ぎると、送話音（通話相手に聞こえる声）がエコーがかかったような音に聞こえることがあります。

ハンズフリーフォンの基本操作

電話をかける

■ 電話操作画面の見かた

Bluetooth®アイコン：

Bluetooth®携帯電話を接続すると表示されます。（数字は登録番号）

バッテリー表示：

携帯電話の電池の状態を表示します。

アンテナ表示：

電波の受信状態を表示します。

■ 番号を入力してかける

1 スイッチを押す

ダイヤル入力 をタッチする

2 市外局番から入力する

3 決定 → 電話をかける をタッチする

通話を開始します。通話を終了するには、電話を切る をタッチするか、★または★スイッチを押します。

同じ番号にかけたときに、特定の事象（相手が出ない、相手が圏外にいる、相手が出る前に電話を切る）が一定の回数を繰り返すと、その番号に発信できなくなることがあります。携帯電話の電源をOFFにして、再度ONにして接続し直してください。

■ 短縮ダイヤルからかける

1 スイッチを押す

短縮ダイヤル をタッチする

2 相手先をタッチする

走行中は短縮ダイヤルリストの1～5番までを選ぶことができます。

新規登録：

短縮ダイヤルの新規登録をします。

短縮ダイヤルを登録する‥p.167

ハンズフリーフォン

3 電話をかける をタッチする

通話を終了するには、電話を切る をタッチするか、（ボタン）★または（ボタン）★スイッチを押します。

■ 発信／着信履歴からかける

発信または着信の履歴がそれぞれ最新の5件まで保存され、電話をかけることができます。(※1)「非通知」に電話をかけることはできません。

1 （ボタン）スイッチを押す

発着信履歴 をタッチする

2 相手先をタッチする(※2)

発信履歴 または 着信履歴 をタッチすると、履歴リストが切り替わります。

3 電話をかける をタッチする

通話を開始します。通話を終了するには、電話を切る をタッチするか、（ボタン）★または（ボタン）★スイッチを押します。

知識

(※1) 携帯電話本体の発信／着信履歴に電話をかけることができません。

(※2)
- 同じ相手の発信／着信履歴は、それぞれ最新の履歴のみが表示されます。
- 電話番号が登録されている相手先は登録名が表示されます。登録されていない場合は、電話番号が表示されます。

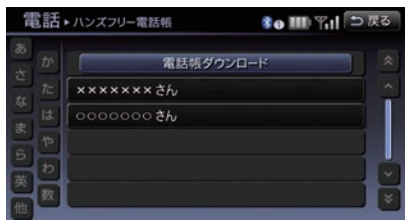
■ ハンズフリー電話帳からかける

あらかじめ携帯電話の電話帳を本機に登録する必要があります。

携帯電話の電話帳をダウンロードする‥‥p.167

1 スイッチを押す

ハンズフリー電話帳 をタッチする(※1)

2 相手先をタッチする(※2)

3 電話番号をタッチする

4 電話をかける をタッチする

通話を開始します。通話を終了するには、電話を切る をタッチするか、 ★または、 ★スイッチを押します。

(※1) 携帯電話のメモリ読み出しをせずに操作をすると、「携帯メモリを読み出しますか？」というメッセージが表示されます。
電話帳ダウンロード をタッチすると、携帯メモリの読み出しができます。

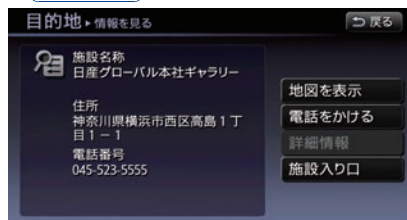
(※2) リスト画面の50音をタッチすると、タッチした文字で始まる相手先リストが表示されます。

ハンズフリーフォン

■ 施設に電話をかける

施設情報などに電話番号情報がある場合、情報表示画面から電話をかけることができます。

1 施設情報画面を表示する

電話をかける をタッチする

通話を開始します。通話を終了するには、電話を切る をタッチするか、★または、★スイッチを押します。

電話を受ける

電話がかかってくると、呼び出し音が鳴り、自動的に着信画面になります。

■ 着信画面の見かた

電話に出る ：電話に出ます。

保留する ：電話を保留にします。

着信拒否する ：電話を拒否します。

電話の着信について

着信応答画面には、短縮ダイヤルもしくはハンズフリー電話帳に着信相手の電話番号が登録されている場合は、種別アイコンと相手の名前が表示されます。

保留にする

走行中などで応答できない場合は保留にできます。保留中は電話がつながり、かけた相手に応答できないことを音声で案内します。

- 機種によっては、着信相手の名前が表示されないことがあります。
- 機種によっては電話機本体が保留になり、本システムに保留画面が表示されません。通話を開始する場合は、★または★スイッチを押します。
- 自動応答保留 をONにしておくと、自動的に保留になります。
  音量を設定する…p.170
- 着信設定の効果音やメロディーによっては、音が聞こえにくい場合があります。
- 機種によっては着信音が電話機本体と車のスピーカーの両方から聞こえる場合があります。

■ 電話に出る

1 電話に出るをタッチするか、[通話]★または[通話]★スイッチを押す(※1)

通話を開始します。通話を終了するには、電話を切るをタッチするか、[通話]★または[終話]★スイッチを押します。

通話中の操作

通話中は、短縮ダイヤルもしくはハンズフリー電話帳に通話相手の電話番号が登録されている場合は、種別アイコンと相手の名前が表示されます。また、目安として通話時間が表示されます。

電話を切る：
電話を切ります。

ハンドセット切替：
携帯電話本体での通話に切り替えます。再びハンズフリー通話に戻すには、[通話]★または、[通話]★スイッチを押します。(※1)

ミュートにする：
相手に声が聞こえないようにします。
ミュート中はミュート解除するになります。

ダイヤル入力：
通話中の番号入力に使用します。入力画面から通話中画面に戻るには戻るをタッチします。

(※1)
- 電話機本体で電話を受けた場合、電話の機種によりハンズフリー通話にならない場合があります。
- 電話機本体がドライブモードやマナーモードになっている場合、着信音が鳴らないことがあります。

(※1)
- 携帯電話本体で切り替えできる機種もあります。また、機種によって切り替えができないものもあります。
- 電源ポジションをOFFにしたあとも通話を続けたい場合は、あらかじめ携帯電話での通話に切り替えてください。

ハンズフリーフォン

■ 別の画面を表示する

着信中、通話中、保留中に地図画面など別の画面に切り替えられます。

1 **通話中にコントロールパネル上のスイッチを押す**

地図画面やメニュー画面が表示されます。
スイッチを押すと、再び電話画面が表示されます。

電話番号を登録する

短縮ダイヤルを登録する

短縮ダイヤルに登録しておくと簡単に電話をかけることができます。最大5件まで登録できます。

(※1)

すでに登録済みの項目を選ぶと内容を編集できます。

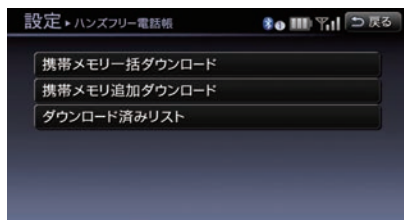
携帯電話の電話帳をダウンロードする

携帯電話のメモリを読み出して、ハンズフリー電話帳にダウンロードします。携帯電話5台までダウンロードできます。

すでに携帯電話のメモリがダウンロードされている場合は、メッセージが表示されます。

1 設定スイッチを押す

電話・CARWINGS → 電話 → ハンズフリー電話帳をタッチする

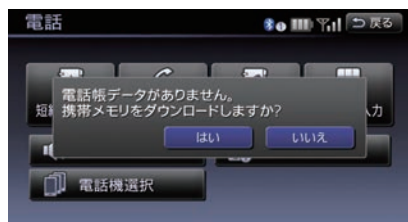
2 ダウンロード方法を選ぶ

携帯メモリ一括ダウンロード：
携帯電話のメモリを一括でダウンロードします。

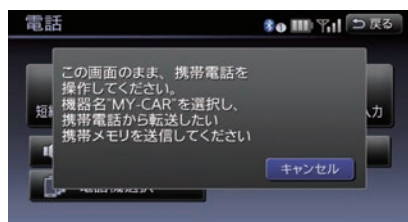
携帯メモリ追加ダウンロード：
携帯メモリを1件ずつダウンロードします。

ダウンロード済みリスト：
ダウンロードしたメモリを表示します。

ハンズフリーフォン

★：車種、グレード、オプションなどにより、装着の有無が異なります。◎：ディーラーオプションです。

3 はいをタッチする

メモリの読み出しを開始します。

4 携帯電話を操作する

携帯電話からメモリが送信されます。

ハンズフリー電話帳のダウンロードについて

- 携帯メモリ一括ダウンロードをタッチしたときに、お使いの携帯電話によっては、自動的にメモリ読出しが開始される場合があります。
- メモリを1件ずつしか送信できない携帯電話の場合は、携帯メモリ追加ダウンロードをタッチしてください。
- お使いの携帯電話によってはメモリの読み出しができない場合があります。適合携帯電話機種については、日産販売会社またはカーウイングスお客さまセンターにお問合わせいただくか、N-Link OWNERS（http://n-link.nissan.co.jp）またはカーウイングスホームページ（www.nissan-carwings.com）の「適合携帯電話一覧」を必ずご確認ください。
- ハンズフリー電話帳は電話帳をダウンロードした携帯電話が車内に無いとご利用いただけません。

携帯電話のメモリ呼び出しについて

- メモリ呼び出し中に電源ポジションをOFFにすると、メモリの呼び出しが中止します。故障の原因となりますので、メモリ呼び出し中に電源ポジションをOFFにしないでください。
- ハンズフリー電話帳は自動的に更新されません。携帯電話本体のメモリを更新したときは、再度ハンズフリー電話帳の登録を行ってください。
- 携帯電話本体にダイヤルロックやオートロックなどの制限機能が設定されていると、メモリの呼び出しができなかったり、メモリの呼び出し後に電話の操作ができなくなる場合があります。必ず携帯電話本体のロック機能を解除してから、メモリの呼び出しを行ってください。
- 携帯電話の機種によってメモリの呼び出しよりも着信を優先する場合があります。
- シークレットメモリの呼び出しは、携帯電話の機種によってできる場合とできない場合があります。
- 呼び出しできるメモリの文字数は、名前が18文字、電話番号が36桁までになります。
- 呼び出された種類（アイコン）は、携帯電話本体に登録されているアイコンと一致しない場合があります。
- 電話機一台ごとに最大1000件のメモリを登録できます。1件のメモリにつき最大5件の電話番号を登録できます。ただし、携帯電話によっては正しく呼び出しできない場合があります。
- 特殊な文字、記号、アイコンなどは表示できない、またはメモリ呼び出しができな場合があります。
- ハンズフリー電話帳のメモリを携帯電話本体に転送することはできません。

ハンズフリーフォンを使いこなす

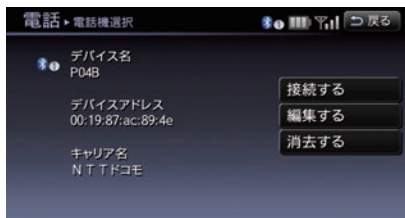
電話機を選択する

携帯電話は、最大5台まで本機に登録できます。

1 スイッチを押す

電話機選択をタッチする

2 使用する電話機をタッチする

3 接続するをタッチする

接続する：
選択した電話機に切り替わり、ハンズフリーに接続します。

編集する：
選択した電話機を編集できます。

消去する：
選択した電話機の登録を消去します。

登録した電話番号を消去する

1 設定スイッチを押す

電話・CARWINGS → 電話 → メモリ消去をタッチする

2 消去したい項目をタッチする

短縮ダイヤル：
短縮ダイヤルを一括消去または1件消去できます。

発着信履歴：
発着信履歴（発信履歴、着信履歴）を一括消去、履歴ごとの消去、1件消去でできます。

ハンズフリー電話帳：
ハンズフリー電話帳を一括消去または1件消去できます。

メモリ全消去：
接続されている携帯電話の短縮ダイヤル、発着信履歴、ハンズフリー電話帳の登録内容をすべて消去します。

ハンズフリーフォン

音量を設定する

電話音量をあらかじめ設定できます。

1 設定スイッチを押す

電話・CARWINGS → 電話 → 音量調整をタッチする

2 設定したい項目をタッチする

着信音量：
着信音の音量を調整します。

受話音量：
通話先相手の声の大きさを調整します。

送話音量：
自分の声の送話音量を調整します。

自動応答保留：
電話がかかってきたときに、自動的に保留にできます。保留中は電話がつながり、かけた人に応答できないことを音声で案内します。走行中などですぐに応答できないときに設定しておくと便利です。

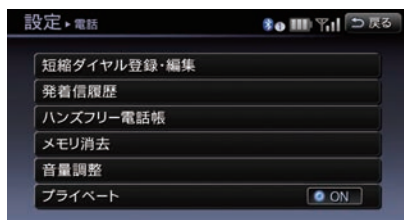
車載機の着信音使用：
着信時に車載機の持っている着信音を鳴らします。

プライベート機能を設定する★

着信した電話をナビ画面上には表示せず、アドバンスドドライブアシストディスプレイ★のみに表示することができます。

1 設定スイッチを押す

電話・CARWINGS → 電話 → プライベートをタッチする

2 ONをタッチする

ON(点灯)　：プライベート機能ON

ON(消灯)　：プライベート機能OFF

Bluetooth®の設定をする

1 設定スイッチを押す

Bluetooth を選ぶ

2 設定したい項目を選ぶ

Bluetoothで接続 ：
Bluetooth®で接続します。

機器登録 ：
Bluetooth®機器の登録、ユーザー設定をします。

機器の接続切替・編集・消去 ：
接続するBluetooth®機器の切り替えや名称の編集、登録の消去ができます。

車載機のBluetooth情報・変更 ：
車載機のBluetooth®情報の変更をします。

■ Bluetooth®携帯電話の登録をする

1 設定スイッチを押す

Bluetooth → 機器登録 を選ぶ

2 メッセージを確認して、はい を選ぶ

3 登録する携帯電話のキャリア名を選ぶ

メッセージが表示されます。

4 携帯電話を操作する

操作については、携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

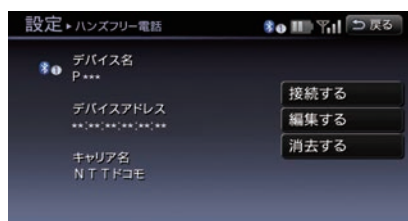
■ Bluetooth®携帯電話の切替・編集をする

1 設定スイッチを押す

Bluetooth →
機器の接続切替・編集・消去 →
ハンズフリー電話 を選ぶ

ハンズフリーフォン

2 電話機を選ぶ

3 接続するを選ぶ

接続する：
別の電話機に接続を切り替えることができます。

編集する：
登録されているBluetooth®携帯電話の名称やキャリア名を変更します。

消去する：
Bluetooth®携帯電話の登録を消去します。

■ Bluetooth®情報の確認と変更をする

1 設定スイッチを押す

Bluetooth →
車載機のBluetooth情報・変更を選ぶ

2 設定したい項目を選ぶ

パスキー：
車載機のパスキーを変更します。

デバイス名：
車載機のデバイス名称を変更します。

デバイスアドレス：
車載機のデバイスアドレスを表示します。

3 登録内容を確認し、決定を選ぶ

カーウイングス/アプリ★

カーウイングス

カーウイングスは、携帯電話を接続し、カーウイングス情報センターと通信することで、車内で必要とするさまざまな情報を提供するサービスです。

アドバイス

- 車をお譲りになる場合は、必ず退会手続きを行ってください。また本機に保存されている情報（情報チャンネル履歴など）は消去してください。詳しくは、カーウイングスお客さまセンターにご相談ください。
- サービスを提供するうえで必要となる情報（例えば、車の位置や車載機ID、携帯電話番号など）はご利用時にカーウイングス情報センターへ自動的に送られます。
- カーウイングスのサービスをご利用になると、携帯電話の通信料金がかかります。

カーウイングスをお使いになる前に

■ サービスのお申し込みについて

サービスのご利用にはカーウイングスへのお申込みが必要です。詳しくは日産販売会社またはカーウイングスお客さまセンターへお問い合わせください。

■ ご使用上の注意

- カーウイングスをご利用になるときは、必ず本機に携帯電話を接続してください。
  携帯電話を接続する´´´p.33
- 接続する携帯電話によって、一部ご利用できない機種がありますので、詳しくは、カーウイングスお客さまセンターでご確認ください。
- 携帯電話の電波状態などによっては、情報センターに接続できない場合や、途中で通信が途切れる場合があります。電波状態が良好になってから再度通信を行ってください。

メニュー項目の詳細などについては、カーウイングスお客さまセンターにお問い合わせください。
カーウイングスお客さまセンター：
0120-981-523
受付時間9:00～ 17:00（年末年始を除く）
ホームページアドレス
http://www.nissan-carwings.com

こんなことができます

カーウイングスでは、次のようなサービスをご利用いただけます。メニュー項目の詳細などについては、カーウイングスお客さまセンターにお問い合わせください。

最速ルート探索（p.178）
カーウイングス情報センターから最新の交通情報をダウンロードすることにより最速ルートを探索します。

情報チャンネル（p.180）
交通情報や天気など、ドライブに役立つ情報を提供します。

オペレータ（p.176）
オペレータにご要望を伝えるだけで目的地や経由地または登録地の設定、施設情報検索、電話接続がご利用いただけます。

★：車種、グレード、オプションなどにより、装着の有無が異なります。◎：ディーラーオプションです。

オペレータを活用する

オペレータの基本操作

1 地図画面上の オペレータ をタッチする

口頭で要望を伝える

電話機本体では操作しないでください。

2 オペレータの指示があってから、ダウンロード を選ぶ(※1)

オペレータとの会話中に ダウンロード を選んでもデータはダウンロードされません。オペレータの指示があってから ダウンロード を選んでください。

オペレータとの通話中に スイッチを押すか、終了 を選ぶと電話回線を切断し、終了することができます。回線切断には時間がかかる場合があります。

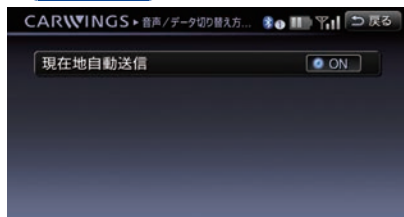
(※1) ご利用の携帯電話の機種や通信設定の状態により、自動的にダウンロードを行う場合があります。

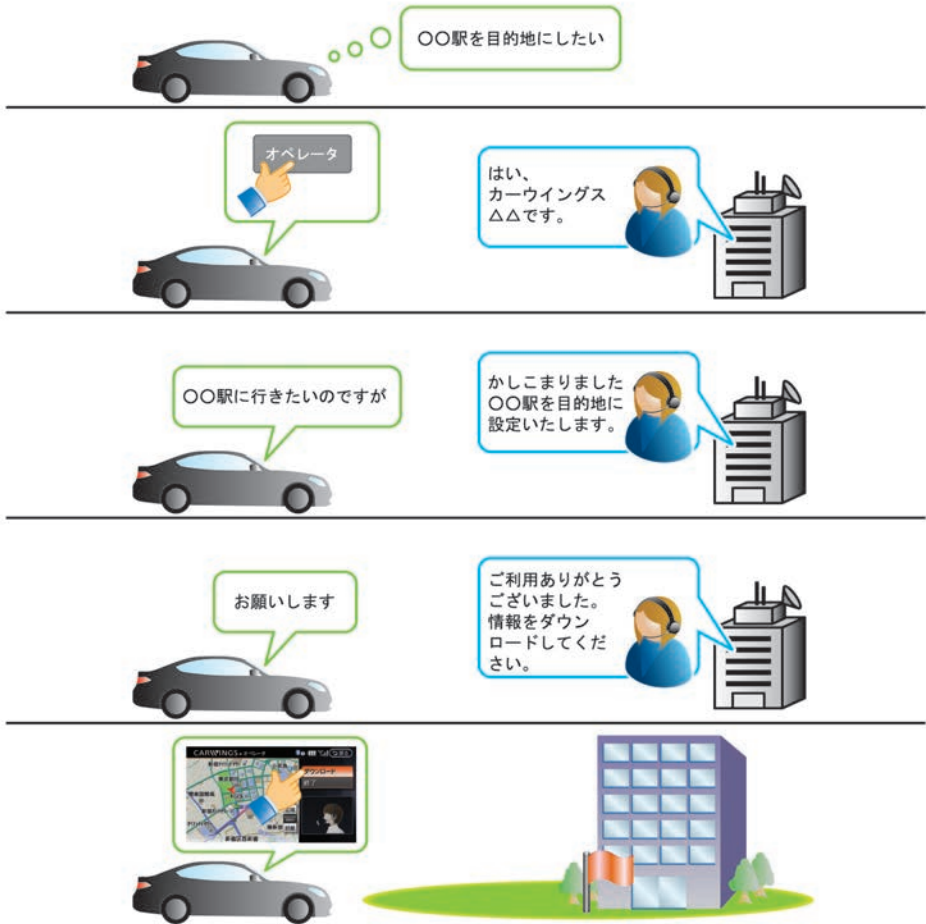
オペレータの設定をする

オペレータ接続時に現在地の情報を自動的に送信するかを設定できます。

1 設定 スイッチを押す

電話・CARWINGS → CARWINGS → オペレータ設定 を選ぶ

2 音声／データ切り替え方式の設定 → 現在地自動送信 を選ぶ

ON が点灯し、オペレータ接続時に現在地情報が通知されます。

オペレータにおねがいできること（通話例）

例えばこんなふうにお使いいただけます

目的地設定:

目的地を伝えるだけでオペレータが目的地や経由地を設定します。

電話接続:

電話番号をお調べし、お客さまの携帯電話から直接接続できるようにします。

情報検索:

ご要望に応じたさまざまな情報をお調べします。

ロードサービスの取り次ぎ:

ドライブ中に故障など予期せぬトラブルが発生した場合は必要に応じてロードサービス業者へのお取次をいたします。

最速ルート探索

最速ルートを探索する

アドバイス

- 最速ルート探索を利用すると、携帯電話の通信料金がかかります。

1 ルートスイッチを押す

最速ルート探索を選ぶ

最新の交通情報がダウンロードされます。

2 ルートを選ぶ

ルートガイドを開始します。

最速ルート探索の設定をする

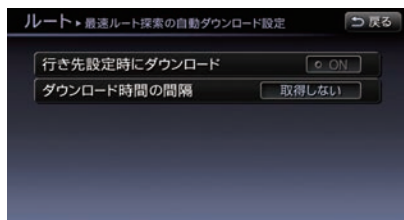
アドバイス

- 自動ダウンロードを設定すると、設定したタイミングで通信を自動的に行います。カーウイングス情報センターとの通信には、携帯電話の通信料金がかかります。

■ 行き先を設定したときに自動でダウンロードする場合

1 ルートスイッチを押す

探索条件設定 →
最速ルート探索の自動ダウンロード設定を選ぶ

2 行き先設定時にダウンロードを選ぶ

ONが点灯し、設定されます。

■ 自動接続時間を設定する場合

最新の交通情報などをダウンロードするため定期的にダウンロードする間隔を設定できます。

1 ルートスイッチを押す

探索条件設定 →
最速ルート探索の自動ダウンロード設定 →
ダウンロード時間の間隔を選ぶ

2 ダウンロードしたい間隔を選ぶ

以下の設定ができます。
ダウンロードしない：
自動でダウンロードしません。
5分ごと：
5分ごとに自動でダウンロードします。
10分ごと：
10分ごとに自動でダウンロードします。
30分ごとに：
30分ごとに自動でダウンロードします。
1時間ごとに：
1時間ごとに自動でダウンロードします。

情報チャンネルを見る

カーウイングスでは、情報を受信すると画面に表示し、音声で読み上げます。（オートプレイ）
オートプレイとは、カーウイングス情報センターから受信した情報を順に表示し、自動的に内容を音声で読み上げる機能です。(※1)

情報チャンネルの基本操作

1 情報・W スイッチを押す

CARWINGS → 情報チャンネル を選ぶ

2 見たいジャンルのフォルダを選ぶ

3 チャンネルリストを選ぶ

カーウイングス情報センターに接続され、選んだチャンネルの最新情報が表示されます。

(※1)
- オートプレイはダウンロードが完了した情報から随時読み上げが開始されます。読み上げ中も残りの情報がある場合は継続してダウンロードが行われます。
- 1度に受信できる情報は最大6件です。オートプレイが終了した後に、残りの情報がある場合は、残りの情報をダウンロードするか、確認するメッセージが表示されます。

■ 情報画面の見かた

：前の情報を読み上げます。

：次の情報を読み上げます。

1/2：情報番号/情報件数

：位置データがあるときに表示されます。

：電話データがあるときに表示されます。

読上げ停止：オートプレイを停止します。

■ オートプレイ停止中にできる操作

1 読上げ停止を選ぶ

2 設定したい項目を選ぶ

オートプレイ停止中に、以下の項目を設定できます。

読上げ再開：

オートプレイを再開します。

地図を見る：

情報に位置データがある場合に表示されます。表示中の情報の地図を見ることができます。

ここに行く：

目的地に設定できます。

ルートに追加：

目的地が設定されている場合は、情報の場所をルートに追加できます。

電話する：

情報に電話番号データがある場合に表示されます。表示中の情報先に電話をかけることができます。

画像を見る：

情報に画像データがある場合に表示されます。画像を見ることができます。

詳細を見る：

情報に詳細な説明がある場合に表示されます。詳細情報を見ることができます。

ここを登録：

表示されている場所や施設を、登録します。

現在地表示：

現在地の地図を見ることができます。

チャンネル消去：

履歴に保存されている情報を消去します。

■ お気に入りに登録する

1 情報・W スイッチを押す

CARWINGS を選ぶ

2 お気に入りチャンネル → （未登録）新規登録 を選ぶ

チャンネルを選び、メッセージにしたがって登録操作をします。

■ 読み上げ音量を調整する

1 設定 スイッチを押す

音量調整 を選ぶ

2 CARWINGS音量 を選ぶ

－、＋にタッチして調整します。

各種サービスを利用する

交通情報を取得する

■ 自車位置周辺の情報を取得する

1 情報・W スイッチを押す

CARWINGS → 渋滞情報ダウンロード を選ぶ

最新の渋滞情報をダウンロードします。

■ 地図を動かして情報を取得する

1 情報を取得したい場所に⊕を合わせる

マップメニュー →
渋滞情報ダウンロード を選ぶ

渋滞情報をダウンロードします。

カーウイングスを使いこなす

カーウイングスの履歴から情報を見る

1 情報・W スイッチを押す

CARWINGS を選ぶ

2 情報チャンネル履歴 を選ぶ

下記の履歴を確認することができます。

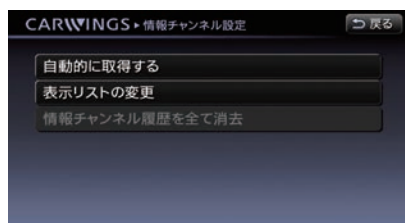
情報チャンネル履歴 ：
情報チャンネルの履歴を確認できます。

カーウイングスの各種設定をする

■ 情報チャンネルの設定をする

1 情報・W スイッチを押す

CARWINGS → CARWINGS設定 → 情報チャンネル設定 を選ぶ

2 設定したい項目を選ぶ

自動的に取得する ：
自動接続する時間や情報チャンネルの選択を設定できます。

表示リストの変更 ：
情報チャンネルをお気に入りに登録できます。また、表示リストを更新、初期化できます。

情報チャンネル履歴を全て消去 ：
情報チャンネルの履歴をすべて削除できます。

■ プローブ情報設定をする(※1)

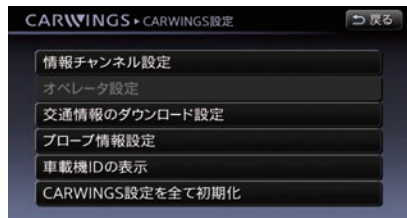
1 情報・W スイッチを押す

CARWINGS → CARWINGS設定 を選ぶ

2 プローブ情報設定 を選ぶ

プローブ情報の送信 :
プローブ情報の送信のON/OFFを設定します。

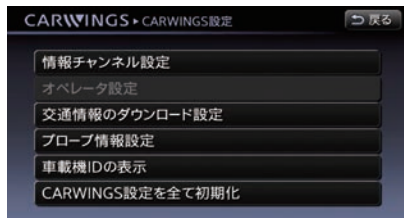
プローブ情報を消去 :
プローブ情報を消去します。

知識

(※1) **プローブ情報とは**
位置、走行距離および燃費などの走行情報のことです。これらの情報は、カーウイングス情報センターに送られ、渋滞情報などに利用されます。プローブ情報の送信をONに設定すると、カーウイングス情報センターから交通情報をダウンロードするときや、最速ルート探索時にプローブ交通情報をダウンロードできます。

■ 車載機 IDを表示させる

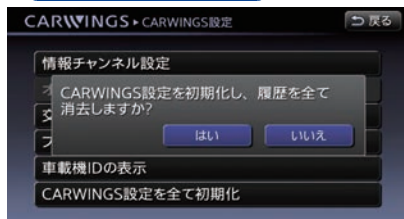
1 情報・W スイッチを押す

CARWINGS → CARWINGS設定 を選ぶ

2 車載機IDの表示 を選ぶ

車載機のIDが表示されます。

■ カーウイングスの設定を全て初期化する(※1)

1 情報・W スイッチを押す

CARWINGS → CARWINGS設定 → CARWINGS設定を全て初期化 を選ぶ

はい を選択するとカーウイングスの設定が初期状態に戻ります。
以下の項目を消去・初期化することができます。

- **消去されるもの**

  情報チャンネル履歴

- **設定が初期化されるもの**

  情報チャンネルの設定、オペレータの設定、交通情報のダウンロード設定、プローブ情報設定

カーウイングス★／アプリ

知識

(※1) 初期化された設定および消去された履歴は元に戻すことはできません。

スマートフォンアプリを使う★

スマートフォン連携とは

お使いのスマートフォン上で使用しているアプリを、NissanConnectアプリを使って車両の画面から利用できるようにする機能です。

ご利用には、対応する機種のスマートフォンにNissanConnectアプリをインストールし、 ナビゲーションユニットと通信できるように接続する必要があります。

ご利用できるスマートフォンアプリは、NissanConnectアプリ上で確認できます。

注意

- **走行中は運転の妨げにならないよう、一部の操作を制限しています。運転中は画面を注視しないでください。**
- **お客様の携帯キャリアとの契約内容によって課金が発生する場合があります。**
- **NissanConnectアプリをインストールしたことが原因でお使いのスマートフォンの他のアプリの動作に不具合が出ても当社は保証しません。**
- **車を譲渡する時には、車載機に保存されたアプリデータ(メールなど)は消去してください。**
- **スマートフォンが通信圏外のエリアではサービスの利用ができません。**
- **スマートフォン連携でご利用できるアプリの機能は、お使いのスマートフォンやコンピューターなどのアプリの機能に比べて限定されています。**

アドバイス

- アプリのアップデートについては、スマートフォンで使用しているアプリと、必ずしも同期するものではありません。
- アプリサービスは予告なく変更、または終了する場合があります。
- NissanConnect アプリを初めてお使いの時は、ユーザーIDとパスワードを取得する必要があります。
- スマートフォン連携時、iPhoneを接続する場合はUSBケーブルで接続してください。
- スマートフォン連携時、Android携帯を接続する場合はBluetooth®で接続してください。
- NissanConnectアプリは各アプリストアからダウンロードしてください。
- スマートフォン連携ができるスマートフォン端末と、カーウイングスをご利用できる携帯電話は異なります。それぞれに対応したスマートフォンと携帯電話については、下記をご確認下さい。
  - ± スマートフォン連携：

    http://n-link.nissan.co.jp/MANUAL/NISSANCONNECT/MOBILEAPP/index.html
  - ± カーウイングス：

    www.nissan-carwings.com

スマートフォン連携の初期設定

■ ユーザーIDとパスワードを取得する

1 スマートフォンにNissanConnectアプリをダウンロードする

お使いのキャリアの各アプリストアからNissanConnectアプリをダウンロードしてください。

2 NissanConnectを起動させ Create Account を選ぶ

以下の情報を送信するとパスワードとユーザーIDが作られます。

国
名前
ユーザーID (有効なe-mailアドレス)
パスワード

N-Link OWNERS （http://n-link.nissan.co.jp）でもユーザーIDとパスワードを取得することができます。

■ スマートフォンのアプリを車両にリンクさせる

1 スマートフォンを車両に接続する（※1）

USBケーブルまたはBluetooth®で接続してください。

2 スマートフォンのNissanConnectアプリを起動させて、サインインする。（※2）

ユーザーID、パスワードを入力してサインインします。

3 情報・W スイッチを押す

Apps を選ぶ

スマートフォンにインストールされた対応アプリケーションがシステムと連携します。

4 使いたいスマートフォンアプリを選択する

(※1) アプリによっては、スマートフォン連携に対応していないものもあります。

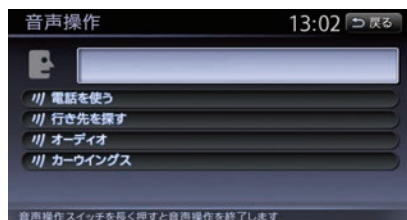
(※2) 2回目以降の接続は、アプリを止めただけであればサインインした状態から立ち上がります。また、スマートフォンを再起動した場合は、サインインから接続してください。

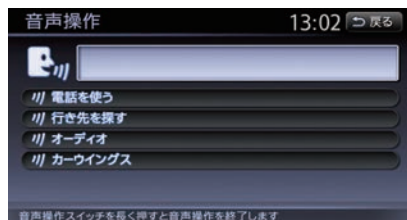
音声操作

音声操作の基本操作

基本的な操作の流れ

音声操作を行うには、ステアリングの★または★スイッチを押して、ボイスコマンドを発話します。ここでは音声操作の基本的な流れを説明します。

1 ★または★スイッチを押す

音声操作画面が表示されます。

2 アイコンが から になったときにコマンドを発話する

システムがコマンドを認識すると、次の画面が表示されます。

- ガイド音声の音量は、ステアリングの★/ ★スイッチで調整できます。
- ステアリングのスイッチを押すと1つ前のコマンド画面に戻ります。始めの画面では音声操作をキャンセルします。
- ★または★スイッチを長く押すと、音声操作がキャンセルとなり終了します。

音声操作を上手に操作するには

ボイスコマンドを正しく認識させて、スムーズにコマンドを実行させるには、以下の点に注意してください。

- 同乗者がいる場合は、発話をするのを避けてもらってください。
- マイクに近づいたり、意識的にマイクの方向に向いたりせずに、安全に運転できる姿勢でボイスコマンドを発話してください。
- 大きな声でハッキリと正確に発話するなど、呼びかけかたを変えてお試しください。
- ボイスコマンドは、正しく発話してください。コマンド以外の言葉を発話しても、正しく認識されません。
- 「えーと」などの声を発したりすると、ボイスコマンドが正しく認識されないことがあります。
- ★または★スイッチを押した後、“ピッ”という音が鳴ってからお話しください。話し始めるまでに時間がかかったときは、「コマンドをどうぞ」と再度ガイドされます。
- リストに表示されている電話番号や（電話帳の）登録名などは、リストの番号を発話してください。
- 画面上に白色で表示されている言葉がコマンドとして認識できる言葉です。灰色で表示されているものは発話しても認識することができません。
- ボイスコマンドは自然な速さで発話してください。ゆっくり話しすぎると正しく認識されません。

■ 音声マイクの位置

音声操作用のマイクはハンズフリーフォン用マイクと共用です。

操作スイッチとマイク位置˝˝p.160

音声操作の便利な使いかた

音声操作で場所を探す

神奈川県横浜市港北区○○ 1の2の3を設定する操作を例に説明します。

1 ★または★スイッチを押す

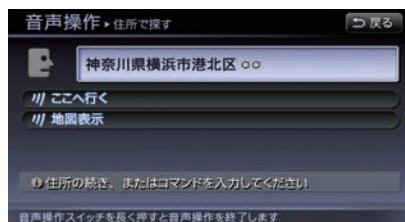
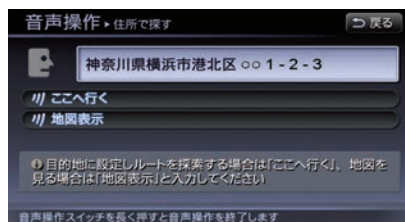
音声操作が始まります。

2 『行き先を探す』と発話する

システムがコマンドを認識すると、次の画面が表示されます。
ピッとなってから発話してください。

3 『住所で探す』と発話する

4 『神奈川県横浜市港北区○○』と発話する

5 『1の2の3』と発話する

6 『ここへ行く』と発話する

ガイドが流れ、目的地までのルートが探索されます。

■ 住所や電話番号の発話のポイント

- 音声入力しているときにステアリングのスイッチを押すと、最後に音声で入力した内容を消去しますので、途中から入力をやり直すことができます。
- 住所を入力するときは、「都道府県名から大字（おおあざ）まで」を発話した後に一度区切り、応答メッセージが流れてから小字（こあざ）がある場合は「小字、丁目、番地、号」、ない場合は「丁目、番地、号」を発話してください。
- 「都道府県名」と「市名」、「市名」と「町名」の間などは、区切って入力もできます。

  例1）『かながわけんよこはまし』と続けて発話。

  例2）『かながわけん』と発話した後に一度区切り、応答メッセージが流れてから『よこはまし』と発話。

- 政令指定都市、および東京23区については、都道府県名を省略して入力できます。
- 番地を入力する際、1丁目23番地4号（1-23-4）を入力する場合は、『いち の に さんのよん』または『いち にさんよん』と発話します。23を『にじゅーさん』と発話しても入力できます。
- 番地を入力しなくても、大字（おおあざ）まで入力後、『行き先にする』と発話すると、付近までのルートを探索します。
- 地域によっては小字（こあざ）の入力に対応していない場合があります。
- 丁目、番地、号には、一部入力できないものがあります。

音声動作で電話をかける

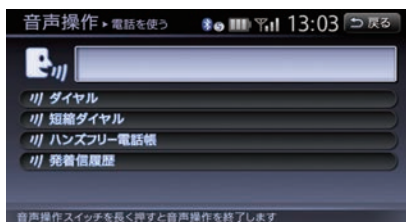
ここでは「045-523-5523」に電話をかける操作を例に説明します。

1 ★または★スイッチを押す

音声操作が始まります。

2 『電話を使う』と発話する

システムがコマンドを認識すると、次の画面が表示されます。
ピッとなってから発話してください。

3 『ダイヤル』と発話する

4 『045 523 5523』と発話する(※1)

5 『開始』と発話する

相手先に発信します。

(※1) 1度に全ての電話番号を発話するのではなく、初めに市外局番、認識できたら市内局番、最後に残りの番号と、3回に分けて認識させると、より正確に認識できます。

音声操作

リストから番号を選んで操作する

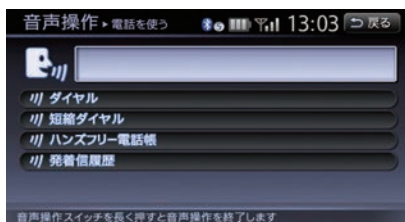
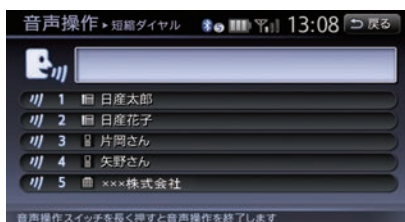
登録地や短縮ダイヤルなど、コマンドによってはナビに保存された情報がリスト表示され、番号を発話して操作します。

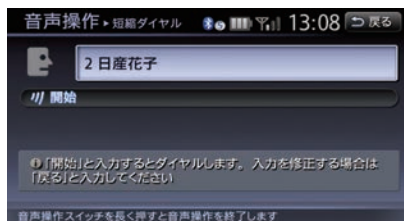
1 ★または★スイッチを押す

音声操作が始まります。

2 『電話を使う』と発話する

システムがコマンドを認識すると、次の画面が表示されます。
ピッとなってから発話してください。

3 『短縮ダイヤル』と発話する

4 『2』と発話する

「にばん」とコマンドを認識し、「にばん」に、電話をかけます。

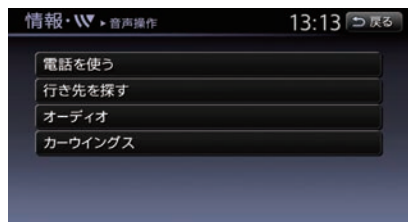
5 『開始』と発話する

相手先に発信します。

コマンドリストを表示する

音声操作で発話できるボイスコマンドのリストを表示できます。

1 情報・W スイッチを押す

音声操作 をタッチし、
コマンドリストを見る をタッチする

2 コマンドリストを表示させたい機能をタッチする

電話を使う:
電話操作に使用できるコマンドリストを表示します。

行き先を探す
ナビゲーション操作使用できるコマンドリストを表示します。

オーディオ：
Music Box、ラジオ、テレビ、DVDなどの操作に使用できるコマンドリストを表示します。

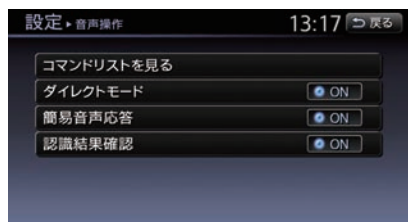
カーウイングス：
カーウイングスの操作に使用できるコマンドリストを表示します。

ボイスコマンド一覧…p.285

音声操作を使いこなす

音声操作を使いやすくするための設定ができます。

1 設定スイッチを押して、音声操作を選ぶ（※1）

2 設定したい項目をタッチする

コマンドリストを見る：
コマンドリストを表示します。

ダイレクトモード：
ダイレクトモードにすると、通常のステップを踏まなくても、直接コマンドを認識します。

簡易音声応答：
ガイド音声やコマンドを認識したときの応答音声が短くなります。

認識結果確認：
コマンドを発話した後に、認識結果が正しいかの確認メッセージを表示します。認識されたコマンドが正しければ、『はい』と発話して音声操作を続けます。コマンドを間違って認識しているときは、『いいえ』と発話して前の画面に戻ります。

(※1) 車種によっては、その他の設定→音声操作から設定することができます。

カメラシステム

カメラシステムについて

安全にお使いになるために

⚠ 注意

- **カメラシステムは障害物などの確認を補助するシステムです。車両の操作をするときは、周囲の安全をミラーや目視で直接確認してください。**
- **目安ラインや予想進路線は、乗車人数や燃料の容量などの影響により実際の距離と異なることがあります。あくまでも目安としてお使いください。**

アドバイス

- カメラレンズの特性により、画面上の距離と実際の距離が異なって見えたり、対象物が変形して見えることがあります。
- カメラ部は精密機械のため高圧洗車など、強い衝撃を与えないでください。故障の原因になります。
- カメラレンズ部に泥、雨滴、雪などが付着すると、モニター画像の映りが悪くなりますので、ぬれた柔らかい布で汚れをふき取ったあと、乾いた柔らかい布でふき取ってください。
- カメラ部には傷をつけないでください。画面の映像へ影響が出ることがあります。

モニター画面の調整について

画面の明るさ、コントラストなどの画質を調整することができます。

1 カメラ画面を表示中に 設定 スイッチを押す

2 設定したい項目を選ぶ

明るさ：
明るさを調整します。

色合い：
色合いを調整します。

色の濃さ：
色の濃さを調整します。

コントラスト：
コントラストを調整します。

黒レベル：
黒レベルを調整します。

アラウンドビューモニターを使う

⚠ 注意

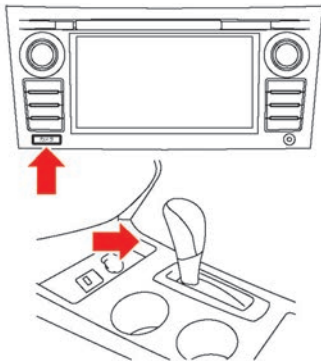
- **画面だけを見ながら走行することは絶対にしないでください。画面に映っている映像と実際の状況は異なることがあり、画面だけを見て走行すると車両をぶつけたり思わぬ事故を引き起こしたりする恐れがあります。走行するときは、必ず目視やミラーなどで周囲の安全を直接確認してください.**
- **ドアミラーを格納した状態では使用しないでください。適切な範囲を映すことができません。**

アラウンドビューモニターを表示する

電源ポジションがONのとき、セレクトレバーを

Rにするか、カメラスイッチを押すとアラウンドビューモニターを表示します。

■ 画面の切り替え

カメラスイッチを押すか、セレクトレバーを入れ替えることによって、画面を切り替えます。

セレクトレバーがRのときは、リヤビューが表示され、R以外のときはフロントビューが表示されます。

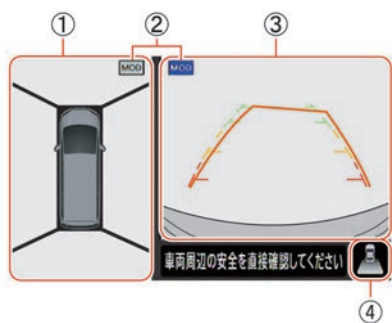
● 3分タイマー機能

カメラスイッチを押してから約3分後に自動的にもとの画像に戻す機能です。セレクトレバーがR以外のときに作動します。（ただし、タイマー作動中にその他のスイッチを押すとキャンセルされます。）

● 車速連動自動OFF機能

車速が約10km/h以上になると自動的にカメラ画面が消え、元の画面に戻ります。

■ 画面の見かた

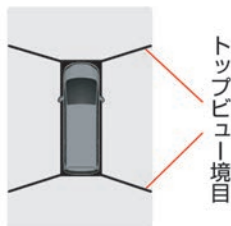
● アラウンドビューモニター画面

① **左画面**
トップビューまたはサイドブラインドビューを表示します。

② MOD(移動物検知)機能作動状態アイコン
どちらのビューでMOD（移動物検知）機能が作動するかを表します。
MOD：MOD(移動物検知)機能が作動します
MOD：MOD(移動物検知)機能が作動しません

③ **右画面**
セレクトレバーが R のときはリヤビューを、R 以外のときはフロントビューを表示します。

④ **方向指示アイコン**
右画面の映している方向を表します。
：リヤビュー表示中
：フロントビュー表示中

■ 画面表示の種類

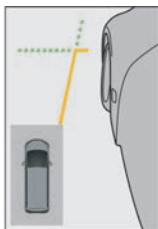
● トップビュー

自車位置や駐車スペースへの進入コースが分かりやすい、車両を上から見たような映像をアラウンドビュー左画面に表示します。

カメラで撮影できない領域（トップビュー境目）が黒色で表示されます。トップビュー境目は、電源ポジションをONにして最初にアラウンドビューモニターを表示したときに4秒間黄色で強調表示できます。また、ソナー★の作動状況をお知らせするアイコンが点滅表示されます。

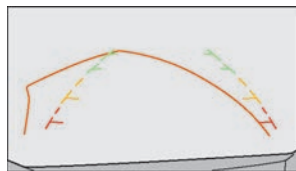
（赤色）：ソナーON

（灰色）：ソナーOFF

アイコンは、ソナーの設定をOFFにした直後にも点滅します。

● サイドブラインドビュー

車両の左側前輪付近から前方を、アラウンドビュー左画面に表示します。

道路端への幅寄せ駐車などに便利です。

● リヤビュー

リヤビューは、車両後方の映像をアラウンドビュー右画面に表示します。

● フロントビュー

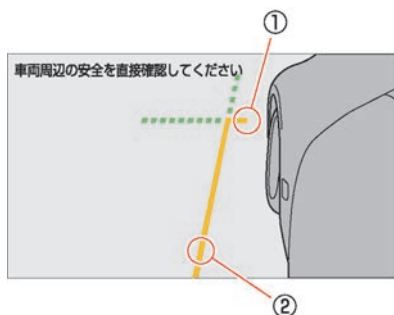
フロントビューは車両前方の映像をアラウンドビュー右画面に表示します。

■ 表示線の見かた

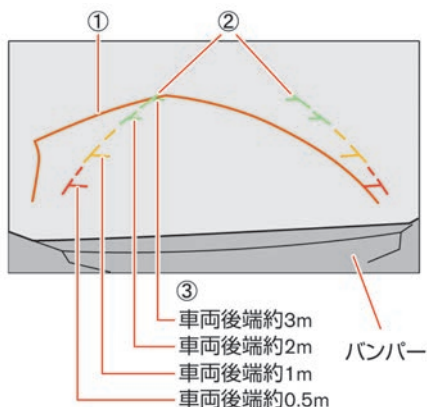
リヤビューモニターカメラは車幅の中心よりずれた位置に取り付けられているため表示線は多少右にずれて見えます。

アドバイス

リヤビューモニターの映像は、ルームミラーやドアミラーで見るのと同様に左右反転させた鏡像です。

● サイドブラインドビュー

① 前端目安ライン
車両前方の位置の目安を示します。延長部分が破線で表示されます。

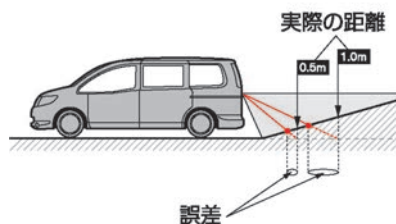
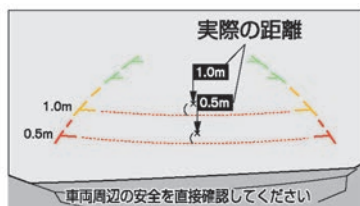
② 側方目安ライン
ドアミラーを含めた車幅の目安を示します。延長部分が破線で表示されます。

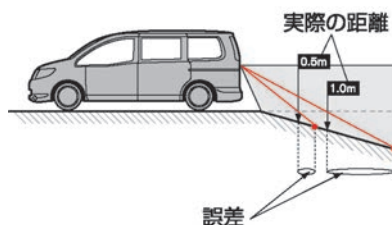
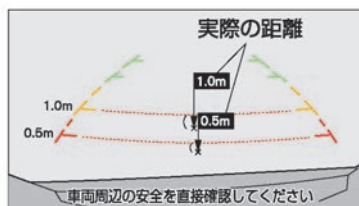
● リヤビュー

① 予想進路線
ハンドルを切った角度のまま後退したときの予想進路を示します。ハンドルが中立になると消えます。

② 車幅目安ライン
後退したときの車幅の目安を示します。

③ 距離目安ライン
車両後方の距離の目安を示します。

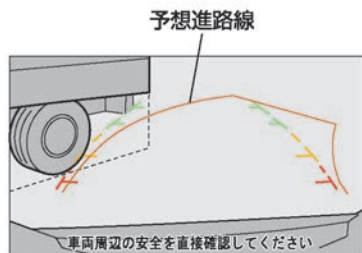
● 映像と実際の路面との誤差について

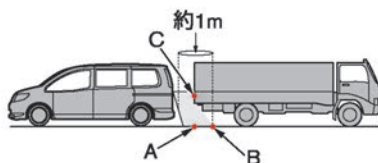
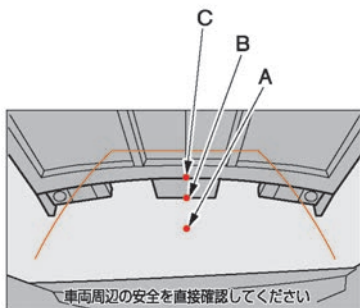
急な上り坂が後方にあるとき
距離目安ライン、車幅目安ラインは実際の距離よりも手前に表示されます。
また、障害物が実際よりも遠くにあるように見えます。

急な下り坂が後方にあるとき
距離目安ライン、車幅目安ラインは実際の距離よりも後ろに表示されます。
また、障害物が実際よりも近くにあるように感じます。

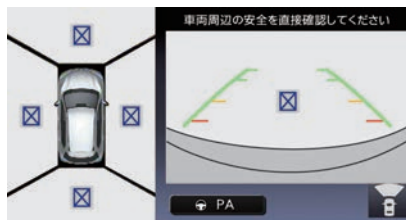
カメラシステム

立体物が近くにあるとき

立体物が近くにある場合には実際の距離と異なって表示される場合があります。

例1）

予想進路線はトラックの車体に触れていないため、ぶつからないように見えます。しかし、実際は車体が進路上に張り出しているため、ぶつかることがあります。

例2）

Cの位置はBの位置よりも遠くにあるように見えますが、実際はAの位置と同じ距離です。Aの距離まで下がるとぶつかることがあります。

■ 画面のエラー表示について

⚠アイコンが画面内に表示された場合は、アラウンドビューモニターの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。

⊠アイコンが画面内に表示された場合は、カメラ映像が一時的に周囲の電子機器の影響を受けている可能性があります。 頻繁に表示される場合は日産販売会社で点検を受けてください。

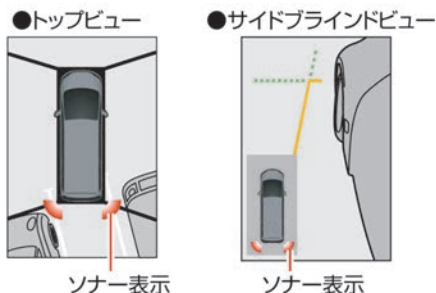
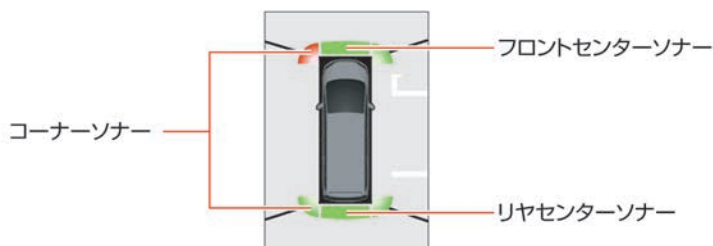
カメラ補助ソナー機能★

⚠ 注意

- 気温や天候、路面状態などの周囲の状況や、障害物が動いていたり小さい場合にはセンサーが検知できないことがあります。必ず周囲の安全を確認してから運転してください。
- センサーは前後バンパーについています。バンパーには、ステッカーを貼ったりアクセサリーなどを取り付けないでください。
- バンパーに凹みなどがあると正確な距離が測定できず、誤検知する場合があります。
- 適正なタイヤの空気圧を維持してください。誤警報や誤操作の原因になります。

車速約10km/h以下で前進中にソナーが障害物を検知した場合は、自動的にアラウンドビューモニター画面に切り替わり、ソナー表示とブザーでお知らせします。

ソナー表示はトップビュー、サイドブラインドビュー画面に表示されます。

モニター上のソナー表示位置

ソナーの表示

ソナー表示の色は、障害物が近づくにしたがって、緑、黄、赤と変化します。

コーナーソナー

障害物までの距離(目安)	60〜50cm	50〜30cm	30cm以下
表示色	緑	黄	赤
表示点滅速度	遅い	早い	点灯
ブザー音	ピッ、ピッ、ピッ・・・	ピピピピピ・・・	ピー

フロントセンターソナー★

障害物までの距離(目安)	100〜60cm	60〜50cm	50〜30cm	30cm以下
表示色	緑	緑	黄	赤
表示点滅速度	遅い	遅い	早い	点灯
ブザー音	無し	ピッ、ピッ、ピッ・・・	ピピピピピ・・・	ピー

リヤセンターソナー★

障害物までの距離(目安)	150〜60cm	60〜30cm	30cm以下
表示色	緑	黄	赤
表示点滅速度	遅い	早い	点灯
ブザー音	ピッ、ピッ、ピッ・・・	ピピピピピ・・・	ピー

ソナー表示色

ソナー表示の色は、障害物に近づくにしたがって、緑、黄、赤と変化します。

ソナーの表示の色と距離目安線とでは障害物までの距離は異なります。

ブザー音

- 障害物との距離が近づくにしたがって、断続音の間隔が短くなります。表示が赤の場合は連続音になります。
- 障害物との距離が広がった場合は断続音が消え、ソナー表示のみとなります。
- フロントソナーが検知した時は低音、リヤソナーが検知した時は高音でお知らせします。
- コーナーソナーが検知した時は障害物との距離が3秒間変わらない場合は断続音は消え、ソナー表示のみとなります。

ソナー機能OFF

- エクストレイル：

  アドバンスドドライブアシストディスプレイで設定が可能です。機能のON/OFF切り替え方については車両取扱説明書をご覧ください。
- セレナ：

  ナビ画面内設定が可能です。

  ソナーを設定する★⋯p.208

カメラシステム

■ ソナーを設定する★

ナビ画面からソナーの各機能を設定できます。

1 設定スイッチを押す

その他設定 → ソナーを選ぶ

2 設定したい項目を選ぶ

センサ：
ソナーセンサのON/OFFを設定します。

FRセンサのみ：
ONにすると前方のソナーセンサのみ有効にします。

表示割込み：
ソナーの自動表示のON/OFFを設定します。

センサ感度：
ソナーの感度を調整します。

ソナー音量：
ソナーの音量を調整します。

知識

車種によっては、アドバンスドドライブアシストディスプレイ★でソナーの設定をします。

MOD（移動物検知）機能

⚠ 注意

- **車両の操作をするときは、周囲の安全をミラーや目視で直接確認してください。**

車庫入れや駐車場からの発進時などに自車周辺の移動物を運転者にお知らせすることで、安全確認をサポートする機能です。

車両周辺に移動物があるときに、音と黄枠を表示してお知らせします。(※1)

トップビューにMOD表示がある場合には移動物を検知したエリア（前後左右）に黄枠を表示します。

MOD（移動物検知）機能は以下の条件のとき、MODが表示されている画面で作動します。(※2)

- セレクトレバーがPまたはNで車両が停車しているときに、トップビュー側で作動します。
- セレクトレバーがDで車速約8km/h以下のときに、フロントで作動します。
- セレクトレバーがRで車速約8km/h以下のときに、リヤビューで作動します。

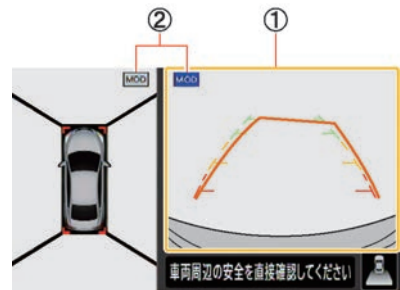
アドバイス

以下の場合にはMOD（移動物検知）機能は作動しません。

- 車速やシフトポジションがMOD（移動物検知）機能の作動条件から外れている場合
- トップビューによるMOD（移動物検知）機能作動中で電動格納ミラーが作動している場合
- トップビューによるMOD（移動物検知）機能作動中でいずれかのドアが開いている場合
- リヤビューによるMOD（移動物検知）機能作動中でトランクまたはバックドアが開いている場合

■ MOD(移動物検知)機能表示画面

トップビュー

リヤビュー

① **MOD（移動物検知）表示**
MOD（移動物検知）機能で移動物を検知したときに、黄枠でお知らせします。(※1)

② **MOD(移動物検知)機能作動状態アイコン**(※2)
MOD（移動物検知）機能を作動させる側の画面のアイコンを青色で表示します。
MOD：MODが作動します。
MOD：MODが作動しません
MOD （移動物検知)機能をOFFした場合、MOD/MODアイコンが消えます。

知識

(※1) 表示しているビューで映している範囲のみMOD（移動物検知）機能が作動します。例えば、リヤビューでMOD（移動物検知）機能を作動させている場合には、車両前方の移動物は検知しません。

知識

(※1) ソナーブザーが鳴っている場合はMOD（移動物検知）機能ブザーは鳴りません。

(※2) サイドブラインドビューにはMOD（移動物検知)機能が無いので、MODアイコンを表示しません。

カメラシステム

■ MOD（移動物検知）機能OFFについて★

MOD(移動物検知）機能をOFFにしたい場合は、メーターで設定することができます。機能のON/OFF切り替え方については車両取扱説明書をご覧ください。

インテリジェントパーキングアシスト★

インテリジェントパーキングアシストは、車庫入れ、縦列駐車を補助する機能です。

アラウンドビューモニターのトップビュー画面で設定した駐車目安枠付近へ駐車するように自動でハンドル操作をします。同時に、音声や画面表示で切り返し操作（セレクトレバー操作）をガイドします。

⚠ 警告

- **インテリジェントパーキングアシストは、駐車場における運転者のハンドル操作を補助することを目的としています。自動で速度を調整したり障害物を回避する機能ではありません。通常の駐車操作と同様に、周囲の安全や路面の状態をミラーや目視で直接確認してください。システム作動中は車両をゆっくり移動させ、周辺の車両や障害物、人などに接触しそうなときはブレーキを踏み込むなど回避操作を行ってください。**
- **インテリジェントパーキングアシスト作動中に、ハンドルのスポーク部に触れないでください。手や指にケガをする恐れがあります。また、ネクタイ、スカーフなどを巻き込まれないように十分注意してください。思わぬ事故につながるおそれがあります。**

インテリジェントパーキングアシスト画面

① PA
インテリジェントパーキングアシストが起動していることを意味します。

② **予想進路線（緑色）**
目標駐車位置に入れるために、進むべき進路を表示します。

③ **障害物目安線（赤色）**
駐車スペースの目安を示します。

④ **駐車目安枠（青色）**
駐車したい位置を表示します。

⑤ **駐車方法選択メニュー**
駐車方法を選択します。

⑥ 枠調整
駐車目安枠の位置を微調整します。
駐車位置を微調整する‥‥p.214

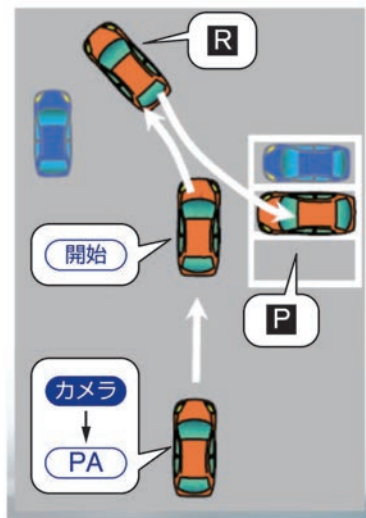
⑦ 開始
インテリジェントパーキングアシストの作動を開始します。

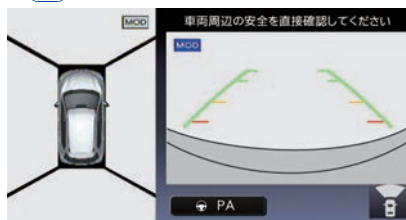
⑧ ヒント
操作ガイドを表示します。

⑨ 終了
インテリジェントパーキングアシストの作動を終了します。

⑩ **切り返し目安枠**
切り返しを開始する位置を示します。

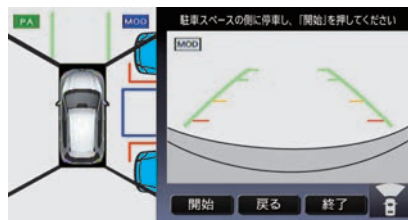
⑪
インテリジェントパーキングアシストが作動中に表示します。

インテリジェントパーキングアシストを使って駐車する

1 駐車したい場所の手前で停車する

2 カメラスイッチを押す
PAをタッチする

左画面がトップビューを表示していないときは、再度カメラスイッチを押してトップビューを表示します。

3 駐車方法を選ぶ(※1)

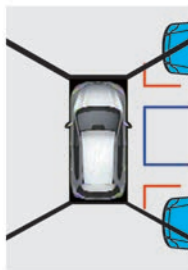
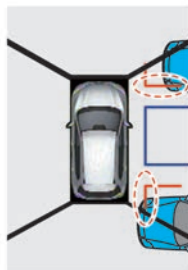
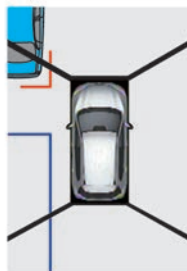
- 2回目以降は、前回使用したモードが自動選択されます。
- セレクトレバーがR以外のときに、駐車方法選択メニューが表示されます。
- 斜め駐車には使用できません。

4 ゆっくりと前進し、駐車したい場所の**1m**ほど横に停車する

車庫入れは駐車場所に垂直に、縦列駐車は水平になるように車両を停めます。

- 停車した状態で画面上の枠の位置を確認します。
- 周囲の安全を目視で確認しながらゆっくりと車両を移動させます。
- 再度車両を停車させて位置が合っていることを確認します。

このとき、必ず障害物が障害物目安線（赤色）の外側になっていることを確認してください。障害物と接触するおそれがあります。

車庫入れの場合：

良い例　悪い例

縦列駐車の場合：

良い例

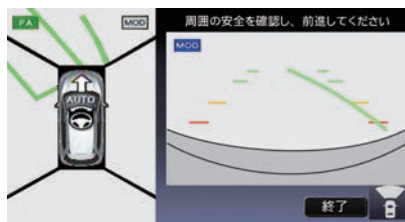
枠調整をタッチすると、駐車目安枠(青色)が微調整できます。

駐車位置を微調整する‴p.214

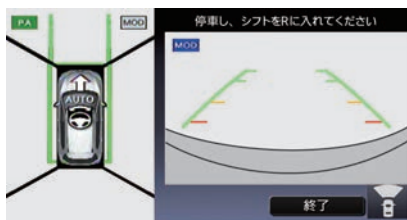
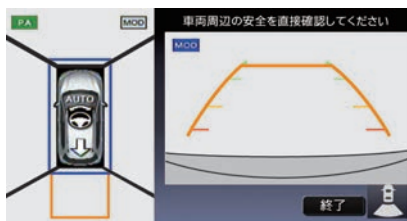
5 開始をタッチする(※2)

以下の状態になっているときにシステムを作動できます。

- 車両が完全に停止している
- ハンドルがまっすぐになっている
- セレクトレバーがDになっている

6 ハンドルに軽く手を添え、ブレーキで速度を調整しながらゆっくり前進する(※3)

切り返し目安枠（緑色）に向かって自動でハンドルを操作します。

進行方向に車両や障害物がある場合、または車両が切り返し目安枠付近に到達したときは、ブレーキペダルを踏んで停車してください。(※4)

7 セレクトレバーを**R**に入れて、ハンドルに軽く手を添えブレーキで速度を調整しながらゆっくり後退する

8 駐車したい場所まで車両を移動し、ブレーキを踏んで停車後、セレクトレバーを**P**にする

セレクトレバーを**P**にすると、インテリジェントパーキングアシストが終了します。
また、駐車目安枠（青色）付近に移動するとチャイムが鳴り、インテリジェントパーキングアシストが自動で終了します。

知識

(※1) 駐車方法を選択した後でも、方向指示器を使って駐車場所の方向を切り替えることができます。
(※2) ソナー機能をOFFにしていてもインテリジェントパーキングアシストが作動中のときは、ソナーがONになります。
(※3) 速度が速すぎると警告音が鳴ります。
(※4)
- 切り返しを繰り返すことで駐車目安枠（青色）付近に駐車します。
- 切り返し目安枠付近に到達すると、チャイムが鳴ります。

駐車位置を微調整する

駐車位置を設定するときに、駐車目安枠(青色)を微調整できます。(※1)

1 画面上の枠調整をタッチする

駐車枠線が引いてある駐車場の場合は、画像を解析して自動で微調整します。

2 矢印をタッチして微調整する

駐車枠線が引いていない駐車場や正しく調整ができなかったときに調整します。
障害物が障害物目安線（赤色）の外側になるように、駐車目安枠（青色）位置を調整してください。(※2)

(※1) 手順通り操作して、車両が枠から外れてしまう場合は、周囲の状況を確認しながら自車の位置を微調整してください。
(※2) 約70cmまで調整することができます。

インテリジェントパーキングアシストの注意事項

⚠ 警告

- **画面だけを見ながら走行することは絶対にしないでください。障害物に接触したり、思わぬ事故につながるおそれがあります。**
- **インテリジェントパーキングアシストによる補助が必要なくなったときは、画面上の 終了 をタッチして機能を終了してください。インテリジェントパーキングアシストが作動状態のままだと自動でハンドルが操作され、思わぬ事故につながるおそれがあります。**
- **インテリジェントパーキングアシストを使用する前に、車両周辺に駐車操作ができるスペースが十分あることを直接確認してください。**

⚠ 注意

以下の状況下では使用しないでください

- **砂地や砂利地などの整備されていない路面**
- **雪や凍結などでスリップしやすい路面**
- **傾斜地や段差、縁石、わだちなどのある平たんでない路面**
- **機械式駐車場**
- **タイヤチェーン、応急用タイヤ装着時**
- **けん引時**
- **ドア（バックドアを含む）が閉まっていないとき**

アドバイス

以下の操作や状況により、進路予測が正しくできず、駐車車両などの障害物が障害物目安線の内側に入り込む、駐車場所がずれるなど、インテリジェントパーキングアシストが正常に機能しない場合があります。

- 走行中にセレクトレバーを切り替えたとき
- 急発進、急停止、急なセレクトレバー操作をしたとき
- タイヤの空気圧が低いとき、極端に摩耗しているとき
- 工場出荷時装着タイヤ以外のタイヤを装着しているとき
- 積荷などで車両が傾いているとき

■ インテリジェントパーキングアシストの解除について

以下の場合にはインテリジェントパーキングアシストが解除されます。

- ハンドル操作をしたとき
- セレクトレバーが N の状態で、約5秒以上経過したとき
- 切り返しを10回以上繰り返したとき
- タイヤの摩耗や空気圧の低下、路面状態により、システムが車両の進路予測をできないと判断したとき
- インテリジェントパーキングアシストの作動を開始した位置より、車両が後退したとき
- 切り返し枠を約2m以上超えたとき
- 車速が約7km/hを超えた場合
- ガイドの通り操作を行わなかったとき

■ インテリジェントパーキングアシストの異常について

インテリジェントパーキングアシストに異常があると、画面に警告メッセージが表示され、自動的に解除されます。

インテリジェントパーキングアシスト使用中に警告が表示されたときは安全な場所に停車して、一度エンジンを止めてからエンジンを再始動してください。

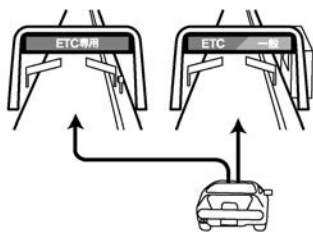
上記の操作を行っても警告が表示される、もしくはインテリジェントパーキングアシストが起動できないときは、システムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。

料金所の通過方法

⚠ 注意

- **ETCゲート付近に表示されている案内にしたがって走行してください。**
- **ETCゲートでも、何らかの理由で先行車両が停止する場合があります。ゲート通過時は、車間距離を保持し、速度を落とし（20km/h以下）、開閉バーが開いたことを確認し、周囲の状況を確認しながら安全に走行してください。**

ETCゲート、料金所、お知らせ／予告アンテナ付近では、ETCカードを抜かないでください。カード内のデータが破損するおそれがあります。

1 速度を落とし、**ETC**ゲートに進入する

「ETC専用」または「ETC／一般」表示ゲートに進入してください。

2 開閉バーが開いたらゲートを通過する（※1）

- 入口料金所の場合

  「ピンポン」という音とともに「ETCは正常に処理されました」と画面に表示されます（表示は、条件によって異なります）。

- 出口料金所の場合

  画面に、利用金額と利用年月日、利用時刻が表示されます（表示は、条件によって異なります）。また表示と同時に「料金は○○円です」という音声ガイドが流れます。（※2）

スマートICについて

SAやPAなどから一般道路への出入りが可能なETC専用のインターチェンジを「スマートインターチェンジ（スマートIC）」と呼びます。

- ETCユニット搭載車のみ通行可能です。
- スマートICの中には、営業時間、営業期間、対象車種、出入り方向などに制約がある場合があります。

(※1)
- 入口料金所がETC未対応だった場合は、入口で通行券を受け取り、出口では一般ゲートで通行券とETCカードを収受員にお渡しください。
- 入口でETCを使用し出口でETC未対応の場合、出口でETCカードだけを収受員にお渡しください。
- 料金所の入口と出口では同一のETCカードを使用してください。
- ETCユニット、ETCカードなど状態に異常があった場合（画面にエラーが表示された場合）には、ETCによる料金所通過はできません。収受員のいる車線へ入り、指示に従って通行してください。

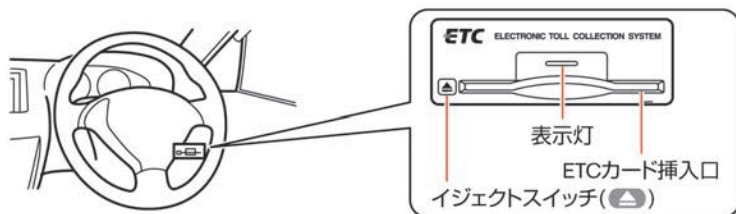
(※2) 音声や画面で案内される通行料金は、割り引きなどにより実際と異なる場合があります。

ETCの使いかた

アドバイス

- 車を離れるときは、ETCカードを車内に放置しないでください。故障、変形、盗難のおそれがあります。
- ETCカードを挿入したまま運転席ドアを開けると、1分間カード抜き忘れ警報が鳴ります。
- インストルメントパネルの上に物を置かないでください。内蔵されたETC用アンテナの感度が低下し、正常な作動ができないおそれがあります。
- 必ずETCカードに記載されている有効期限を確認してください。有効期限が切れていると開閉バーは開きません。
- ETCカードが確実にETCユニットに挿入されていることと正常に作動していることを確認してください。
- 安全のために、走行中はETCカードの出し入れやスイッチ操作を行わないでください。
- ETCカードの取り扱いについては、ETC発行会社の提示する注意事項をお読みください。

ETCの設置場所

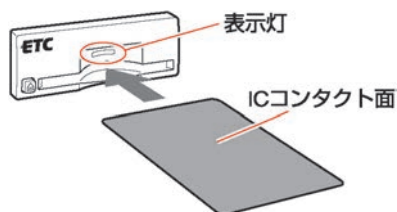
ETCユニットは、ハンドルの右下側にあります。(※)1

知識

(※1) セレナは、運転席アンダーポケット内に設置されています。

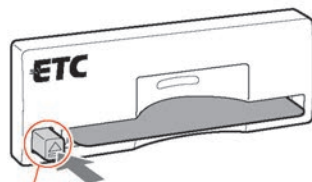
ETCカードを入れる／取り出す

1 電源ポジションをONにする

画面に「ご利用になる場合にはETCカードを挿入してください」と表示され、チャイム音が鳴ります。（カード入れ忘れ警告の設定がONの場合）画面の指示に従って、ETCカードを挿入してください。

2 ETCカードをユニットに差し込む

ETCカードのICコンタクト面が上面・挿入口側になるようにして挿入してください。
カードが正しく挿入されると、“ピッ”と音がします。

カード挿入後「ETCカードを確認しました」と表示されます。
画面右上に藤色のETCアイコンが表示され、利用可能な状態となります。(※1)
ETCカードの読み込みなどが正常に行えなかったときはチャイム音とともに、灰色のETCアイコンが点灯し、「ETCカードが読み取れません　ETCサービスが利用できませんのでカードを抜いて確認してください」と表示されます。

3 イジェクトボタンを押す

ETCユニットのイジェクトボタンを押して、ETCカードを取り出します。

(※1) ETCユニット、ETCカードなどの条件及び状態に異常があった場合（画面にエラーが表示された場合）には、ETCによる料金所通過はできません。収受員のいる車線へ入り、指示に従って通行してください。

ETCを使いこなす

ETCの各機能を確認・設定する

ETCの利用履歴やセットアップ情報などを表示、各機能の設定などを行うことができます。(※1)

(※1)
- ETCカードの情報読み取り中は、カードを取り出さないでください。
- ETCユニットがセットアップ（ETCユニットを利用可能にする手続き）されていない場合は、セットアップ情報以外は選べません。

(※2) 走行中は安全のため、利用履歴、利用積算額、セットアップ情報の表示と各種設定ができません。

(※3)
- 利用履歴は、最新20件までの利用状況が日時の新しい順に表示されます。全体表示をタッチすると、最大100件までの利用履歴が表示されます。
- 利用積算額は、あくまでも目安として活用してください。

付録

故障かな？と考える前に

本体関係

■ 液晶モニター関係

症状	原因	処置方法
画面が暗い。	液晶モニターの明るさ調節が暗い方へいっぱいに設定されている。	液晶モニターの明るさを調節してください。
画面が眩しい。	液晶モニターの明るさ調節が明るい方へいっぱいに設定されている。	液晶モニターの明るさを調節してください。
画面の中に小さな黒点、輝点が現われる。	液晶特有の現象である。	故障ではありません。
画像に、はん点や、シマ模様がでる。	ネオンサイン、高圧電線、アマチュア無線、他の自動車などからの電波を発する機器からの電磁波の影響を受けている。	故障ではありません。
表示画面内容が残る。（残像現象）	液晶特有の現象である。	故障ではありません。
低温のとき、画像の動きが遅い。	車内の温度が0℃以下になっている。	使用温度範囲（0℃～+50℃）に戻れば復帰します。
斜め方向から見ると画像が白っぽく見えたり、黒っぽく見える。	液晶モニターの特性である。	液晶モニターの明るさを調整してください。

■ SDカード関係

症状	原因	処置方法
画面が青くなり、エラーメッセージが表示された。	システムの動作などに異常が起こっている。	すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。

カーウイングス関係

症状	原因	処置方法
カーウイングス情報センターに接続できない。	カーウイングスサービスのお申し込みをしていない。	カーウイングスサービスのお申し込みを行ってください。お申し込みについては、日産販売会社にご相談ください。
	ユーザーIDおよびパスワードを登録していない。	ユーザーIDおよびパスワードの登録をしてください。
	通信回線が混雑している。	しばらく時間をおいてから再度通信してください。
メニュー画面にある項目が一部選べない。	走行中である。	車を安全な場所に停車して、パーキングブレーキをかけてから操作してください。
一部の画面が表示されない。	走行中である。	車を安全な場所に停車して、パーキングブレーキをかけてから操作してください。
オペレータをご利用時、音声が途切れる。またはデータが到達するのが遅くなる。	通信回線の状況、基地局の設置状況によって起こる場合がある	故障ではありません。しばらくしてからおかけ直しください。
情報が音声で読み上げられない。	音量調整が最小になっている。	情報を音声で読み上げているときに、コントロールパネルのVOLスイッチまたはステアリングの − + ★/ − + ★スイッチで音量を調整してください。

★：車種、グレード、オプションなどにより、装着の有無が異なります。◎：ディーラーオプションです。

ナビゲーション関係

■ 地図表示／メニュー画面関係

症状	原因	処置方法
画面が表示されない。	地図以外の画面が表示されている。	現在地スイッチを押してください。
	画面消しの設定がONになっている。	画面消しの設定をOFFにして、画面表示を復帰させてください。
画面下部に一時的に表示が割り込み、画面の操作が妨げられる。	表示の割り込みによって表示が重なることがある。	割り込み表示の上を選ぶと元の画面に戻ります。
スタンダードビュー（平面地図）とバードビュー®で地名表示が異なる。	画面が煩雑にならないように文字情報の間引き処理を行っているため。また道路や地名などを複数表示することもあり、処理の経緯から毎回同じ内容が表示されるとは限らない。	故障ではありません。
細街路が地図上に表示されない。	安全のため、走行中は細街路は表示されない。	故障ではありません。停車してパーキングブレーキをかけると表示されます。
	幅3m以下の道路は表示されないことがある。	故障ではありません。
ライトスイッチをON にしても「夜画面」にならない。	ライト点灯時の地図の表示色が、「昼画面」になっている。	ライト点灯時に設定スイッチ → 画質・画面消し → 地図の表示色切替で画面を「夜画面」に設定し直してください。
メニュー項目が一部選べない。	走行中である。	車を安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけてから操作してください。

■ 自車位置・自車マーク関係

症状	原因	処置方法
自車位置が正しく表示されない。	電源ポジションをOFFにしてから車を移動した。 例）フェリーや車両運搬車などでの移動。	GPS受信状態でしばらく走行してください。
	ナビゲーションシステムの位置算出精度により、現在地や進行方向は、走行条件などによってずれることがある。	故障ではありませんのでしばらく走行を続けると、正常な表示に戻ります。
	駐車場など、道路以外の場所にいる。	故障ではありません。道路上をしばらく走行すると正常な表示に戻ります。
	GPS衛星からの電波を受信できていない。	しばらく走行してください。 それでも受信できない場合は、販売会社または相談窓口にご相談ください。
	タイヤチェーンの装着、タイヤ交換などにより、車速信号からの車速推定にずれ（進みや遅れ）が発生した。	約30km/h以上の速度で30分程度走行すると自動的に調節されます。それでも進みや遅れが発生する場合は、販売会社または相談窓口にご相談ください。
	市街地図を表示しているとき、自車位置精度に対し画面表示が大きいため表示誤差が拡がる。	地図の縮尺を拡大すると症状が緩和されます。
	GPSアンテナ上に物が置いてあるため、GPS信号を受信できない。	室内に取り付けたGPSアンテナ上には、物を置かないでください。
市街地図を表示しているとき、反対車線上を走行しているように見えることがある。	表示上ずれが生じることがある。	故障ではありません。
市街地図を表示しているとき、自車マークが位置ずれを起こす。	自車位置精度に対し画面表示が大きいため表示誤差が拡がる。	故障ではありません。地図の縮尺を拡大すると症状が緩和されます。

症状	原因	処置方法
新しい道を走ると自車マークが近くの道にとぶ。	新しい道が地図データに未登録のため、登録されている近くの道路に自車マークを補正する。	地図データは、原則として年2回程度更新版が発売されます。新しい地図データに収録されるまでお待ちください。
自車を移動させても地図がスクロールしない。	現在地表示になっていない。	現在地スイッチを押してください。
自車マークが表示されない。		
GPS衛星がいつまでも灰色のまま。	屋内や建物の陰にいるためGPS信号がさえぎられている。	屋外の見通しの良い場所に移動してください。
	GPSアンテナ上に物が置いてあるため、GPS信号を受信できない。	室内に取り付けたGPSアンテナ上には、物を置かないでください。
	GPS衛星の配置が悪い。	配置が改善されるまでお待ちください。
自車位置精度が悪い。	GPS衛星からの電波を受信できていない。	GPS衛星からの電波を受けやすい場所に移動してください。
	地形データに誤り、または欠落がある（常に同じ場所でずれる）。	地図データは、原則として年2回程度更新版が発表されます。新しい地図データに収録されるまでお待ちください。
	低速走行や発進、停止を繰り返した。	しばらく（およそ30km/h以上の速度で30分程度）走行すると自動的に調節されます。それでも進みや遅れが発生する場合は、日産販売会社またはお客さま相談室にご相談ください。

■ 目的地／経由地が設定できない

症状	原因	処置方法
再探索時、経由地を探索しない。	すでに経由地を通過した、または通過したと判断した。	通過した経由地を再び経由地にしたい場合は、再度ルート探索を行ってください。
自動迂回路探索（または迂回路探索）をしたが、前回探索したルートと同じ結果になってしまう。	各種条件を考慮した探索を行ったが、同じ結果になった。	故障ではありません。
経由地が設定できない。	経由地がすでに5カ所設定してある。	設定できる経由地は5カ所までです。数回にわけて探索を行ってください。
行き先の設定で出発地が選べない。	行き先の設定での出発地は、常に現在地になる。	故障ではありません。

■ 音声ガイド関係

症状	原因	処置方法
音声ガイドしない。	音声ガイドはある一定の条件を満たすのマークが付いている交差点でしか行わないため、それ以外の場所では音声ガイドをしない場合がある。	故障ではありません。
	ルートを外れている。	ルートに戻るか、再度ルート探索してください。
	音声ガイドがOFFになっている。	音声ガイド設定をONにしてください。
	ルートガイドがOFFになっている。	ルートガイドをONにしてください。
	音量が小さくなっている。	音量を大きくしてください。
実際の道路と案内が異なる。	音声ガイドの内容は右左折する方向、他の道路との接続形態などにより異なった内容になる場合がある。	実際の交通ルールに従って走行してください。

症状	原因	処置方法
ETCゲートで案内される料金と実際の料金が異なる。	ETCユニット（ナビと連動しないもの）を装着している場合、各種有料道路の料金割引が考慮されないため、案内した料金と実際の料金が異なる場合があります。	故障ではありません。
	地図データの収録時期などの関係で、最新の料金が反映されていない場合があるため。	

■ ルート探索関係

症状	原因	処置方法
ルートが表示されない。	目的地の近くに探索可能な道路がない。	目的地を近くの道路まで位置修正してください。特に、上り下りで道路が別々に表示されているような場所では進行方向に注意の上、道路上に目的地や経由地を設定してください。
	出発地と目的地が近い。	距離を離してください。
	現在地、目的地付近に条件規制（曜日、時間）がある。	規制情報利用の探索条件をOFFにする。探索条件内の規制道路を「規制情報を使わない」に設定してください。
ルートが途切れて表示される。	探索では、細街路を含むその他一般道を使用しないエリアがあるため、現在地、または経由地が途中から表示されたり、または途切れたりする。	故障ではありません。
通りすぎたルートが消去されてしまう。	ルートは区間ごとに管理されているため、経由地1を通過すると、出発地から経由地1までのデータを消去する（エリアによっては消去されない場合もある）。	故障ではありません。

症状	原因	処置方法
大回りなルートを探索する。	探索では、細街路を含むその他一般道を使用しないエリアがあるため、大回りなルートになることがある。	故障ではありません。
	出発地、目的地付近の道路に規制（一方通行など）があるときに遠回りのルートを出すことがある。	出発地や目的地を少しずらして設定してください。または、通りたいルートに経由地を設定してみてください。
ランドマークの表示が実際と異なる。	地形データの不備や誤りにより起こることがある。	地図データは、原則として年2回程度更新版が発表されます。新しい地図データに収録されるまでお待ちください。
出発地、経由地、目的地から離れたポイントにルートが引かれる。	地図上の出発地、経由地、目的地付近に経路探索用のデータが入っていないため、ルートガイドの開始、経由、終了点が離れてしまう。	近くの道路上に目的地を設定してください。ただし近くの道路が細街路を含むその他一般道（灰色の道路）の場合、少し離れた一般道路からルートが引かれる場合があります。
設定した探索条件と異なる条件のルートが表示される。	場合によっては、設定した探索条件に合わないルートが探索されることがある。	故障ではありません。
自動再探索が行われない。	探索ルートがない。	探索対象道路を走行してください。または手動で再度ルート探索をしてください。
	オートリルートの設定がOFFになっている。	オートリルートの設定をONにしてください。
規制のあるルートが引かれる。	どうしても通らないと到着できない場合は、規制を通すことがある。	設定を確認してください。
ルート情報が表示されない。	ルート探索を行っていない。	目的地を設定し、ルート探索を行ってください。
	ルート上を走行していない。	ルート上を走行してください。
	ルートガイドがOFFになっている。	ルートガイドをONにしてください。
	細街路のルートは、ルート情報を表示しない。	故障ではありません。

症状	原因	処置方法
ルート探索後、有料道路出入口付近を通っても、案内記号が表示されない。	自車マークがルートを走行していない（案内記号は、ルート内容に関係があるマークのみを表示）。	ルート上を走行してください。
自動再探索ができない。	探索ルートがない。	探索対象道路を走行してください。または手動で再度ルート探索をしてください。
	設定がOFFになっている。	設定をONにしてください。

オーディオ関係

■ CD関係

症状	原因	処置方法
音声が聞こえない。	音量のボリュームが最小になっている。	オーディオ側の音量をご確認ください。
再生が始まらない。	ディスクの裏表が間違っている。	タイトル面を上にして入れ直してください。
	本体内に結露が生じている。	結露がおさまるまで、しばらく（約1時間程度）お待ちください。
	車内の温度が高くなっている。	プレイヤーの温度が常温に戻ると再生可能になります。
	ディスクに傷や汚れがついている。	ディスクの汚れを拭き取ってください。傷がついていると再生できない場合があります。
	ディスクが劣化している。	ディスクは、車室内に保管していた場合など、保管状態により劣化して読めなくなることがあります。また、レーベル面のヒビや浮きが発生することがあります。そのようなディスクは使用しないでください。レーベル面が剥がれる場合があります。

症状	原因	処置方法
音声圧縮再生ができない。	音楽CD（CD-DAデータ）と音声圧縮ファイルが混在しているディスクを再生しようとした。	音楽CD（CD-DAデータ）とMP3ファイルが混在している場合、MP3ファイルは再生できません。
	ファイル名が間違っている。	フォルダ名、ファイル名は規格に準拠した文字種、文字数で入力してください。また、必ず拡張子「.mp3」「.wma」「.MP3」「.WMA」「.m4a(※1)」を付けてください。
音声圧縮再生が始まるまでに時間がかかる。	ディスクに記録されているフォルダ、ファイル階層が多い。	ファイルのチェックに時間がかかる場合があります。音声圧縮以外のデータや必要ないフォルダは書き込まないようにしてください。
音質が悪い。	ディスクに汚れが付いている。	ディスクに付着した汚れをふき取ってください。
CDの再生時間は表示されているが、音がでない。	ミックスモード（第1トラックに音楽以外のデータ、第2トラック以降に音楽データが、1セッションで記録されているフォーマット）のディスクの第1トラックを再生した。	第2トラック以降の音楽データを再生してください。
音切れ、音飛びする。	書き込み速度が速い状態で記録されている。	ソフト／ハードの組み合わせや書き込み速度、書き込みの深さ、幅などの規格が合わない可能性があります。
音飛びする。	高ビットレートで記録されたファイルを再生している。	高ビットレートで書き込みしたデータの場合は、音飛び（コマ落ち）する場合があります。
再生時すぐ次の曲に移る。	MP3またはWMAではないファイルの拡張子を「.mp3」「.wma」「.MP3」「.WMA」「.m4a」にしている。	MP3またはWMAのファイルをご用意ください。 ファイルの拡張子は、「.mp3」「.wma」「.MP3」「.WMA」「.m4a(※1)」にしてください。
	著作権保護により再生が禁止されているファイルを再生しようとした。	著作権保護により再生が禁止されているファイルは再生できません。約5秒間無音再生し、次の曲に移ります。

症状	原因	処置方法
曲順が意図した順序に再生されない。	書き込み時にライティングソフトがフォルダの位置を変えて書き込んでいる。	ライティングソフトで書き込まれた順序で再生されるため意図した順序で再生されない場合があります。

知識

(※1)iTunesでEncodeしたAACファイル（M4Aファイル）のみ有効です。

■ iPod関係

症状	原因	処置方法
iPodが認識されない。	コネクタケーブルが正しく接続されていないか、iPodが正しく動作していない。	コネクタケーブルを接続し直してください。それでもiPodが認識されない場合は、iPodをリセットしてください。
	使用しているiPodが、接続対応していない。	iPodの対応機種およびバージョンを確認してください。
	iPodファームウェアが最新でない。	iPodを最新のファームウェアにバージョンアップしてください。
	USB延長ケーブルの接続状態が悪い。	USB延長ケーブルを使用しないでください。
	USB接続の際、すばやく抜き差しをした。	ゆっくり抜き差しをしてください。
iPodをコントロールできない。	iPodにヘッドフォンなどが接続されたまま、ナビ本体に接続した。	iPodをナビ本体から一旦取り外し、iPodからすべての機器を取り外してから再度接続し直してください。
	iPodが正しく動作していない。	iPodをナビ本体から一旦取り外し、iPodをリセットしてから再度接続し直してください。
	特定のアルバムアートが存在するアルバム／曲を再生した。	iPodをナビ本体から一旦取り外し、iPodをリセットしてください。合わせて対象のアルバムアートを使用しない状態で再度接続し直してください。
レスポンスが悪くなった。	1つのカテゴリ内の曲数が多い。さらに、シャッフル機能をONにしている。	1つのカテゴリ内の曲数を少なくしてください（3,000曲以下）。また、曲数が多い状態ではシャッフル機能をONにしないでください。
iPodの曲をプレイできない。	コネクタが正しく接続されていない。	カチッと音がするまでしっかり接続してください。
曲再生の音が途切れる。	iPodの取り付けが不安定で、振動により音飛びしている。	走行中にiPodが転がらないよう、車内にしっかりと取り付けし直してください。
音が歪む。	iPodのEQ機能（イコライザー機能）がONになっている。	OFFにしてください。

症状	原因	処置方法
充電完了までに時間がかかる。	―	iPod本体の充電を目的とする場合は、iPodの再生を停止することをお勧めします。
iPodの充電ができない。	iPodを接続するケーブルが断線している可能性がある。	ケーブルをご確認ください。
ナビゲーションシステムに接続すると、iPodの操作ができなくなる。	―	本機と接続中は、iPodの操作はナビゲーションシステム側から行ってください。
音飛びする。	周辺環境（ノイズなど）により、音が飛ぶことがあります。	故障ではありません。
	USB延長ケーブルの接続状態が悪い。	USB延長ケーブルを使用しないでください。

● **iPod の制約事項について**

症状	処置方法
iPod nano 3GおよびiPod Classicでジャケット写真を再生すると、iPodがフリーズまたはリセットされる場合がある。	一度iPodをはずしてリセットしてください。

■ USB接続関係

症状	原因	処置方法
USB機器を認識しない。	USB専用ケーブルが正しく接続されていない。	USB専用ケーブルの接続状態を確認してください。
	USB延長ケーブルを使用している。	USB延長ケーブルを使用しないでください。
	HUBを使用している。	HUBを使用しないでください。
	使っているUSB機器が、接続対応していない。	USB機器の仕様を確認してください。
	USB接続の際、すばやく抜き差しをした。	ゆっくり抜き差しをしてください。

症状	原因	処置方法
音楽データが正しく再生されない。	USB2.0ハイスピードに対応していないUSBメモリで再生した。	USB2.0ハイスピード対応のUSBメモリをご使用ください。
	USB3.0を使用している。	
音声圧縮再生ができない。	ファイル名が間違っている。	フォルダ名、ファイル名は規格に準拠した文字種、文字数で入力してください。また、必ず拡張子「.mp3」「.wma」「.MP3」「.WMA」「.m4a」(※1) を付けてください。
音声圧縮再生が始まるまでに時間がかかる。	USBメモリに記録されているフォルダ、ファイル階層が多い。	ファイルのチェックに時間がかかる場合があります。音声圧縮以外のデータや必要ないフォルダは書き込まないようにしてください。
再生時すぐ次の曲に移る。	MP3またはWMAではないファイルの拡張子を「.mp3」「.wma」「.MP3」「.WMA」「.m4a」にしている。	MP3またはWMAのファイルをご用意ください。 ファイルの拡張子は、「.mp3」「.wma」「.MP3」「.WMA」「.m4a」(※1)にしてください。
	著作権保護により再生が禁止されているファイルを再生しようとした。	著作権保護により再生が禁止されているファイルは再生できません。約5秒間無音再生し、次の曲に移ります。

(※1)iTunesでEncodeしたAACファイル（M4Aファイル）のみ有効です。

付録

■ Bluetooth®オーディオ関係

症状	原因	処置方法
登録できない。	本機に対応していないBluetooth®オーディオ機器を使っている。	Bluetooth®オーディオ機器は、機種によりご利用できない場合があります。
	パスキーが間違っている。	登録するBluetooth®オーディオ機器のパスキーをご確認ください。
		Bluetooth®オーディオ機器のパスキーと、車載機のパスキーが一致しているかご確認ください。
	車内に登録機以外のBluetooth®機器がある。	登録する機器以外のBluetooth®機器は、登録が完了するまで、電源をOFFにしてください。
再生できない。	本機に対応していないBluetooth®オーディオ機器を使っている。	Bluetooth®オーディオ機器は、機種によりご利用できない場合があります。
	本機とオーディオ機器が接続できない。	TV・AUXスイッチを押して、Bluetooth®オーディオモードが選択されているか、ご確認ください。
		オーディオ機器にBluetooth®アダプターをつけて使用する場合は、TV・AUXスイッチを押して、Bluetooth®オーディオモードを選択してから、Bluetooth®アダプターの電源をONにしてください。
Bluetooth®オーディオが自動再生されない	Bluetooth®オーディオ機器の仕様により自動再生されない場合がある。	Bluetooth®オーディオ画面にし、再生操作を実施してください。

症状	原因	処置方法
音が停止する。	本機に対応していないBluetooth®オーディオ機器を使っている。	Bluetooth®オーディオ機器は、機種によりご利用できない場合があります。
	携帯電話の接続をしている。	故障ではありません。
	カーウイングスを使っている。	故障ではありません。
	交通情報ダウンロードをしている。	故障ではありません。
	Bluetooth®オーディオ機器本体を操作している。	お使いのBluetooth®オーディオ機器によっては本体操作で音がとぎれることがあります。TV・AUXスイッチを押してBluetooth®オーディオモードを再度選択してください。
音が飛ぶ。	Bluetooth®オーディオ機器の置き場所によっては、音が飛ぶことがあります。	置き場所を変えてください。
	車内に他の無線機器があると、音が飛ぶことがあります。	他の無線機器の電源をOFFにしてください。
音質が悪い。	音楽データが低ビットレートでBluetooth®オーディオ機器に保存されている。	Bluetooth®オーディオ機器に保存するビットレートをより高レートに変更してください。
操作メニューが使用できない。	接続しているBluetooth®オーディオ機器によっては、使用できない操作があります。	オーディオ機器の取扱説明書で使用できる操作をご確認ください。

■ DVD関係

症状	原因	処置方法
映像が映らない。	走行中である。	車を安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけてください。
操作どおりに動作しない。	ディスク制作者の意図により、操作どおりに動作しないDVDディスクがある。	故障ではありません。
操作を受け付けない。	操作した動作が禁止されている（ディスクによってはメッセージが表示されない場合もあります）。	操作可能な画面になるまでお待ちください。
音声が聞こえない。	音量のボリュームが最小になっている。	オーディオ側の音量を調節してください。
再生が始まらない。	ディスクの裏表が間違っている。	タイトル面を上にして入れ直してください。
	音量のボリュームが最小になっている。	オーディオ側の音量をご確認ください。
	本体内に結露が生じている。	結露がおさまるまで、しばらく（約1時間程度）お待ちください。
	DVDメニューが表示されている。	メニュー項目を選び、決定を選んでください。
	リージョンコードの異なるディスクを入れた。	リージョンコードの異なるディスクは再生できません。ディスクをご確認ください。
	DVDソフトによっては、DVDの規格を厳密には満たしていないことがあるため、本機での再生ができない場合があります。	故障ではありません。
再生がとぎれたり、画面が乱れる。	ディスクに傷が付いている。	傷の大きさによっては、エラー訂正できない場合があります。
	ディスクに汚れが付いている。	ディスクに付着した汚れをふき取ってください。

症状	原因	処置方法
字幕が表示されない。	字幕の表示設定がOFFになっている。	設定の字幕を選んで字幕の設定をしてください。
	字幕が収録されていないソフトを再生している。	ディスクをご確認ください。
設定している音声言語で再生されない。	設定している音声言語がディスクに収録されていない場合は、ディスク側の推奨言語で再生されます。	ディスクをご確認ください。
設定している字幕言語で再生されない。	設定している字幕言語がディスクに収録されていない場合は、ディスク側の推奨言語で再生されます。	ディスクをご確認ください。
アングルを変えることができない。	複数のアングルが記録されていないソフトを再生している。	マルチアングル対応のディスクであるか、ご確認ください。
画面表示がおかしい。	DVDソフトの出力用アスペクト比に対する適正な表示モードを選んでいない。	表示モードを切り替えてください。
画像が乱れる。	早送り、早戻しをしている。	故障ではありません。
音質が悪い。	ディスクに汚れが付いている。	ディスクに付着した汚れをふき取ってください。
字幕言語、音声言語を切り替えることができない（設定した字幕言語、音声言語にならない）。	複数の字幕言語、音声言語が記録されていないディスクを再生している。	字幕言語、音声言語の数はディスクにより異なります。また、メニュー画面などで切り替えられるディスクもあります。ディスクをご確認ください。
	ディスク側に優先の言語や設定がある。	ディスク側に優先の言語や設定がある場合は、本機での設定の変更は反映されません。
ビデオCDのメニュー再生ができない。	プレイバックコントロール付きビデオCDではない。	プレイバックコントロール付きビデオCD以外は、メニュー再生はできません。ディスクをご確認ください。

症状	原因	処置方法
ディスクの再生時間は表示されているが、音がでない。	ミックスモード（第1トラックに音楽以外のデータ、第2トラック以降に音楽データが、1セッションで記録されているフォーマット）のディスクの第1トラックを再生した。	第2トラック以降の音楽データを再生してください。

■ 地上デジタルテレビ関係

症状	原因	処置方法
映像が映らない。	走行中である。	安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけてください。
電源を入れても映像がすぐに出ない。	本機は電源を入れても、ソフトウェアが起動して映像を表示するまでに時間がかかる場合があります。	故障ではありません。
映像も音声も出ない。	地上デジタルチューナーユニットが異常高温になると、自動的に電源がオフされます。	車内、ラゲッジルームなどの温度を下げてから、電源を入れ直してください。
	車の場所や方向により、受信状態が変化します。	アンテナレベルを確認してください。「地デジ固定」になっている場合は、受信エリアが拡大する1セグ／地デジ切替にて自動もしくは1セグ固定へ切り替えてください。

症状	原因	処置方法
映像や音声が出ない。 （または、ときどき出なくなる） 映像が静止する。 （または、ときどき静止する）	車のある場所や方向により、受信状態が変化します。	1セグ放送視聴中に、受信状態により黒画面になることがありますが、故障ではありません。「地デジ固定」になっている場合は、受信エリアが拡大する1セグ／地デジ切替にて自動もしくは1セグ固定へ切り替えてください。
	車両の搭載機器※の動作によってノイズが発生し、アンテナレベルが低下することがあります。	故障ではありません。
	自動車／バイク／高圧線／ネオンサインなどの近くを車が通過したとき、アンテナレベルが低下することがあります。	故障ではありません。
地上デジタル放送が受信できない。	地上デジタル放送の受信エリアにいない。	地上デジタル放送は、現在の地上アナログ放送との混信を避けるために当初は非常に小さい出力電波で開始されるため受信エリアが限られます。また、受信障害がある環境では放送エリア内でも受信できない場合もあります。
	「自宅エリア／おでかけエリア」の設定は適切ですか？	「自宅エリア」と「おでかけエリア」設定を切り替えてください。
チャンネルリストに数字が表示される。	放送局名のない受信局をリストに登録している。	故障ではありません。

※：ワイパー、電動ドアミラー、パワーウィンドウ、エアコン、ドライブレコーダー、レーザー探知機など。

● **メッセージ表示一覧**

本機では、メールで送られてくる情報とは別に、状況に合わせてメッセージが表示されます。

主なメッセージとその内容は下記のとおりです。

メッセージ	内容
信号レベルが低下しているため、このチャンネルは受信できません。	デジタル放送の受信レベルが低い場合に表示されます。
このチャンネルは受信できません。	デジタル放送の電波を受信できていない場合に表示されます。
このチャンネルは現在放送されていません。	放送時間が終了しています。番組表などでチャンネルをお確かめください。
データ取得中です。	データ取得中の表示です。故障ではありません。

ハンズフリーフォン関係

適合機種、初期登録手順については、日産販売会社またはカーウイングスお客様センターにお問い合わせいただくか、N-Link OWNERS（http://n-link.nissan.co.jp）またはカーウイングスホームページ（www.nissan-carwings.com）の「適合携帯電話一覧」でご確認いただけます。

症状	原因	処置方法
携帯電話の接続を認識しない。 発信または着信できない。	適合していない携帯電話を使用している。	適合携帯電話機種をご確認ください。
	携帯電話が接続されていない。	携帯電話をBluetooth®接続してください。
	携帯電話にダイヤルロック等の操作制限が設定されている。	携帯電話のダイヤルロックなどの操作制限を解除してからBluetooth®接続してください。
	携帯電話側の制限によって、発信できない場合がある。	お使いの携帯電話の取扱説明書をお読みください。または携帯電話会社にお問い合わせください。

症状	原因	処置方法
特定の電話番号に発信できない。	同じ番号への発信の際、特定の事象（相手が電話に出ない場合、相手が圏外の場合、相手が出る前に切断した場合）が一定の回数繰り返されると、その番号への発信ができなくなる場合があります。	携帯電話の電源を一旦OFFにし、再度ONにして接続し直してください。
Bluetooth®の機器登録ができない。	携帯電話がBluetooth®に対応していない。	● Bluetooth®に対応した携帯電話機種をご利用ください。 ● 適合携帯電話機種をご確認ください。
	Bluetooth®の機器登録手順に誤りがある。	● 携帯電話の取扱説明書をご確認ください。 ● Bluetooth®携帯電話の初期登録方法をご確認ください。
Bluetooth®の機器登録をしたのにもかかわらず、接続されない、もしくは、切断される。	ナビのBluetooth®がOFFになっている。	ナビのBluetooth®をONに切り替えてください。
	携帯電話のBluetooth®がOFFになっている。	携帯電話のBluetooth®をONに切り替えてください。
	携帯電話のバッテリー残量が十分ではない。	携帯電話のバッテリー残量が十分な状態でご利用ください。
	携帯電話の置場所によって、Bluetooth®の電波状況が悪くなることがある。	携帯電話を金属で覆われた場所やナビ本体から離れた場所に置かないで下さい。またシートや身体の間に密着させないでください。
	Bluetooth®の機器登録手順を完了していない。	● 携帯電話の取扱説明書をご確認ください。 ● 各Bluetooth®携帯電話の初期登録方法をご確認ください

症状	原因	処置方法
相手に声が伝わらない。通話相手側で音が割れたり、途切れたりする。	携帯電話とBluetooth®接続されていない。	携帯電話をBluetooth®接続してください。
	車外の音が大きい（大雨、工事、現地、トンネル内、対向車が多い、など）。	窓を閉じてください。
	エアコンの風音が大きい。	風量を下げてください。
	走行中の騒音が大きい。	速度を落として、騒音の少ないところで操作してください。
	受話／送話音量が大きすぎる。	受話／送話音量を調節してください。
Bluetooth®接続でのハンズフリー通話時、音が切れたり、ノイズが入る。	携帯電話の置場所によっては、Bluetooth®の電波状況が悪くなることがある。	携帯電話を金属で覆われた場所やナビ本体から離れた場所に置かないでください。またシートや身体の間に密着させないでください。
携帯電話操作で発信するとハンズフリー機能が使えない。	機種によっては、携帯電話から発信操作するとハンズフリーに切り替えられない場合がある。	ナビ（車載）のハンズフリー機能から、発信し直してください。
呼び出し音、着信音などと音声の音量が違う。	呼び出し音、着信音などとの声の音量が調節されていない。	着信音は着信時に調節してください。受話音は通話中にオーディオ音量で調節してください。送話音は設定画面の送話音量メニューで調節してください。
● 電話画面と携帯電話機の電界受信バーの本数が違う。 ● 電話画面に受信バーが表示されている状態で発信しても電話がつながらない。	電界受信バーの本数の基準が携帯電話機ごと異なる。	電話画面の電池残量と電界強度表示（バー表示）一致しないことがあります。目安としてご利用ください。
ビルの谷間などで携帯電話を使用すると音声が乱れる。	携帯電話の電波がビルなどにより乱反射したり、電波を遮ることがある。	故障ではありません。
鉄道の高架下、高圧線、信号機、ネオンサインなどの近くで携帯電話を使用するとノイズが入る。	電波を発する機器から電磁波の影響を受けている。	故障ではありません。

症状	原因	処置方法
携帯電話を使用すると、オーディオにノイズが入る。	携帯電話からの電波がオーディオに混入することがある。	故障ではありません。

ETC関係

症状	処置方法
画面上に「ETCに異常が発生しています　ETCサービスが利用できませんので　販売店に連絡してください」と表示された。 （灰色の［ETC］アイコンが表示されます）	ETCカードが挿入されている場合は、カードを抜き取ってください。 閉じるをタッチして、通常のナビゲーション画面に移行させます。その後は、速やかに日産販売会社で点検を受けてください。
画面上に「ETCカードを読み取れません　ETCサービスが利用できませんのでカードを抜いて、確認してください」と表示された。 （灰色の「ETC」アイコンが表示されます）	カードを抜き取り、ETCカードであるか、カードを挿入する向き、表裏は正しいか、確認してください。
画面上に「料金 0円」と表示された。 （年月日、時刻表示はなし）	ETCカードの端子（金色部分）の傷、汚れなどにより、料金所通過時に課金はされたものの、履歴情報が記録されない場合があり、左記画面表示が出ます。このような場合は、ETCカードの端子部を確認してください。
画面上に「No.2」と表示された。 （上記表示は一例であり、数字部分は02～07の間で出る可能性あり）	料金所通過時に、ETCユニット内部で何らかの異常が偶発的に発生した場合に、異常内容に該当する数字が左のように表示されます（一定時間で表示は消えます）。このような表示が頻繁に出る場合は、日産販売会社にお問い合わせください。
利用履歴の確認ができない。	ETCカード挿入後、システムが認識するのに数秒がかかります。ナビ画面にETCアイコン（藤色）が表示され、「ETCカードを確認しました」と案内があった後に再度利用履歴の確認を行ってください。

音声操作関係

症状	原因	処置方法
発話しても動作しない。誤認識してしまう。または「もう一度お話しください」というエラーメッセージが出る。	同乗者の発話が認識されている。	同乗者の発話を控えてもらってください。
	発話の音量が小さい。	もう少し大きな声でお話しください。
	発音がはっきりしていない。	はっきりお話しください。
	発話を開始するタイミングが早すぎる。	★または★スイッチを押して指を離した後、確実に“ピッ”という音が鳴ったことを確認してからお話しください。
	★または★スイッチを押して、ガイダンスが流れた後、“ピッ”という音から5秒以上たっている。	“ピッ”という音から5秒以内にコマンドを話し始めるようにしてください。
	該当するコマンドがない。	画面上にオレンジ色で表示されているコマンド、数字、もしくは「コマンドリスト」の中から発話してください。
	車外の音が大きい（大雨、工事、現地、トンネル内、対向車が多い、など）。	窓を閉じて周囲の雑音を遮断してください。
	エアコンの風音が大きい。	風量を下げてください。
	走行中の騒音が大きい。	速度を落として、騒音などの少ないところで操作してください。
	話す速さが遅すぎる。	自然なスピードで滑らかに話してください。
携帯メモリが正しく認識できない。	登録されているヨミガナが異なっている。	正しいヨミガナを登録してください。
	名称が短すぎる、または似ているヨミガナが複数登録されている。	名称を長くしてください。また、似ているヨミガナは違うものにかえてください。

症状	原因	処置方法
数字入力がうまくできない。	一度に入力する数字の桁数が多い。	桁数を区切って入力した方が認識しやすくなります。電話番号を入力するときは市外局番、市内局番などに区切って入力してください。
★または★スイッチを押しても、“ピピッ”と鳴って音声操作を使うことができない。	エンジン始動直後に★または★スイッチを押した。	しばらくしてからもう一度★または★スイッチを押してください。

以下の操作を行っているときは、音声操作を行うことはできません。

- ハンズフリーフォン使用中
- 車両後退時

カメラシステム関係

症状	原因	処置方法
映像の映りが悪い。	カメラレンズの前面ガラスが汚れている。	水を含ませた柔らかい布などで軽くふいてください。
	カメラレンズに雨、雪などの水滴が付着している。	柔らかい布などで軽くふいてください。
	太陽光や他車のヘッドランプの光が直接カメラレンズ面に当たっているため。	故障ではありません。当たっている光がなくなれば元に戻ります。
	温度の急な変化によってカメラレンズ部が結露したため。	故障ではありません。しばらく走行すると元に戻ります。
	暗い所や夜間時には映りが悪くなることがある。	故障ではありません。
映像にちらつきが出る。	蛍光灯などの照明の下にいるため。	故障ではありません。
実際の色味と異なる。	カメラの特性のため。	故障ではありません。
映像が映らない。	セレクトバーがRになっていない。	セレクトレバーをRにしてください。
映像が正しい方向を向いていない。	トランクまたはバックドアが開いている。	トランクまたはバックドアを閉めてください。

付録

症状	原因	処置方法
映像が見づらい。	カメラに強い光や反射光が入っていたため。	故障ではありません。
映像にスミヤが入る。	バンパーなどから強い反射光が入っていたため。	故障ではありません。

■ アラウンドビューモニター

<table>
<tr><th>症状</th><th>原因</th><th>処置方法</th></tr>
<tr><td rowspan="3">映像が映らない。</td><td>セレクトレバーが R になっていない。</td><td>セレクトレバーを R にしてください。</td></tr>
<tr><td>カメラ スイッチが押されていない。</td><td>カメラ スイッチを押してください。</td></tr>
<tr><td>車速が10km/h以上出ている。</td><td>低速で走行するか、停車してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">映像が正しい方向を向いていない。</td><td>トランクまたはバックドアが開いている。</td><td>トランクまたはバックドアを閉じてください。</td></tr>
<tr><td>前席ドアが開いている、または半ドアになっている。</td><td>ドアを閉めてください。</td></tr>
<tr><td>ドアミラーが格納されている。</td><td>ドアミラーを開いてください。</td></tr>
<tr><td>トップビューの画面上の線がずれる。</td><td colspan="2">高さのあるものや、積載状態などの状況により合わないことがあります。車両より離れた場所ほどズレは大きくなる傾向にあります。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">夜間の映像が暗い。</td><td>ドアミラーの補助照明のカバーが汚れている。</td><td>水を含ませた柔らかい布などで軽く拭いてください。</td></tr>
<tr><td colspan="2">画面の明るさやコントラストを調整してください。</td></tr>
<tr><td>映像が青っぽい。</td><td colspan="2">暗いところや夜間時のためで故障ではありません。</td></tr>
<tr><td>トップビューの映像の色が均一ではない。</td><td colspan="2">各カメラごとに映している範囲に応じて明るさを調整しているため、カメラ間の映像に差が生じますが故障ではありません。</td></tr>
</table>

知っておいていただきたいこと

液晶ディスプレイの取り扱いについて

- 本ディスプレイは、タッチパネル操作専用です。操作は必ず指で行ってください。ボールペンやシャープペンシルのような先端の硬いもので操作すると、ディスプレイの表面が傷ついたり、正しく動作しなくなる場合があります。
- ディスプレイの表面にフィルムやセロハンテープなどを貼り付けると、ディスプレイ表面が変質したり、誤動作の原因となるおそれがあります。
- 画面に強い衝撃や無理な荷重を与えないようにしてください。液晶ディスプレイのガラスが破損し、けがをするおそれがあります。
- 液晶ディスプレイが割れた場合、割れたガラスには絶対に触れないでください。またパネル内部の液体には絶対に触れないでください。万が一、液体が体や衣服に付着したり、目や口に入った場合は、直ちに以下の処置を行ってください。
  - 目や口に入った場合は、すぐに大量の流水で最低15分間洗浄し、医師の手当てを受けてください。
  - 皮膚や衣服に付着した場合は、すぐに拭き取り、石鹸を使用して大量の流水で最低15分間洗浄してください。皮膚の炎症を引き起こしたり、衣服を傷めるおそれがあります。
  - 飲みこんでしまった場合は、すぐに水で口の中を洗浄し、大量の水を飲んで吐き出してください。その後、必ず医師の手当てを受けてください。
- 固い布や、アルコール、ベンジン、シンナーなどの有機溶剤や化学ぞうきんは使用しないでください。ディスプレイやパネルに傷が付いたり、変質・変色したりして見にくくなったり、内部に水分が侵入して、正しく動作をしなくなるおそれがあります。
- 水や芳香剤などの液体をかけないでください。本体内部に液体が入り込むと、故障の原因となります。
- 清掃するときは、電源をOFFにして、乾いた柔らかい布でふいてください。汚れがひどいときは、中性洗剤を少し含ませて（水滴が付かない程度）　ふいてください。強く擦ったり、先端の尖ったものや硬いものを当てたりしないでください。正しく動作しなくなる場合があります。
- 偏光サングラスを使用すると、画面の表示が変色して見えたり、暗く見えるおそれがあります。
- 車内が高温になっているときは、ディスプレイやパネル以外の金属部に触れないようにしてください。高温になっていて火傷などになるおそれがあります。

ナビゲーション

■ ルート探索について

- 表示されるルートは参考ルートです。必ずしも最速／最短であるとは限りません。
- 道路は日々変化しており、地図データ作成時期の関係から、形状、交通規制などに誤りがある場合があります。必ず実際の交通規制に従って走行してください。
- ルート探索中は、車両走行に伴う地図の移動は行われません。
- ルート探索終了後、ルートが表示されるまでに時間がかかることがあります。
- 目的地および経由地に到着してもルートが消えないことがあります。新しいルートを探索するか、電源ポジションをOFFにしたときにルートは消えます。
- 再探索をしたとき、通過したと判断した経由地に戻るルートは探索しません。
- ルート表示時に地図を移動させると、ルートが再度表示されるまで時間がかかることがあります。
- 時間指定の一方通行規制は、探索条件の(時間規制通路)の設定をしても、ルートの探索に加味いたしません。
- 経由地が設定されている場合は、各経由地間のルートをそれぞれ別々に探索していますので、以下のようになることがあります。
  - どれか1つでもルートが探索できなかったときは、全ルートが表示されません。
  - 経由地付近でUターンするルートが表示されることがあります。
- ルート探索では、細街路を含むその他一般道を含めたルートの探索を行います。（一部地域では探索できないことがあります。）
  - 現在地、経由地、目的地付近のみ細街路を含むその他一般道も使用してルート探索を行います。
  - 市街地図の収録エリアでは、交通規制情報を加味した探索が行われます。
  - 細街路でも一般道と同様に音声でルート案内を行います。ただし目的地または経由地付近の細街路では進入時に「実際の交通規制に従って走行してください」と注意を促します。
  - 細街路を含むその他一般道から、それ以外の道路に出るルートおよび細街路を含むその他一般道に入るルートでは交通規制を考慮していないので、現地では十分確認のうえ、実際の交通規制に従って走行してください。
  - 道路が近接している所では、正確に位置を設定してください。特に、上り、下りで道路が別々に表示されているような場所では、進行方向に注意して道路上に目的地や経由地を設定してください。
- 以下のようなとき、ルートが探索できないことがあります。
  - 現在地と目的地が近いとき。この場合はメッセージが表示されます。
  - 現在地と目的地が遠すぎるとき。この場合は目的地をもう少し近づけてから再度ルート探索してください。
  - 交通規制で目的地や経由地まで到達できないとき。
  - 極度に迂回したルートしかないとき。
- 以下のようなルートが表示されることがあります。
  - ルート探索しても、現在地の前、または後からルートが表示されることがあります。

- 目的地を設定しても、目的地の前、または後にルートが表示されることがあります。
- ルート探索しても、他の道路からのルートが表示されることがあります。この場合は現在地マーク（自車マーク）がずれている可能性がありますので、車を安全な場所に停車させ、現在地マークを正しい道路上に修正するか、しばらく走行して現在位置マーク（自車マーク）が正しい道路上に戻ってから、再度ルート探索を行ってください。
- 目的地や経由地を設定するときに、その付近に複数の道路が交差（隣接）していると、遠回りなルートが表示されることがあります。このような場合は、目的地や経由地の設定で地図が表示されたときに、タッチパネルで目的地や経由地付近の道路に修正してください。修正する場合は、進行方向などに注意して設定してください。インターチェンジやサービスエリアなどのように上りと下りの道路が別々になっている場所では、特にご注意ください。
- 冬季通行止め、時間規制道路の設定が「回避」設定のときは時間・曜日規制を終日規制として扱っているため、実際は通行可能であっても遠回りのルートが表示される場合があります。
- 一般道優先でルート探索しても、有料道路上にルートが設定される場合があります。ルートを修正したいときは、一般道路上に経由地を設定して再度ルート探索を行ってください。
- 陸路のみで目的地に到着できるときや探索条件の設定でフェリー航路を使うをOFFにしてルート探索させても、フェリー航路上にルートが設定される場合があります。ルートを修正したいときは、陸路に経由地を設定して再度ルート探索を行ってください。
- フェリー航路は、旅客のみ、2輪のみの航路を除いた主なものがルート設定可能ですが、目安としてお考えいただき、所要時間、運行状況などをご確認の上、利用してください。
- 探索用のフェリールートは国道レベルのもの（国道の延長）です。一般的に、長距離航路は、探索データに登録されていません。

- 現在地や進行方向は走行条件などによってずれることがあります。故障ではありませんので、しばらく走行を続けると正常な表示に戻ります。

● ルートガイドの注意点

- 本システムのルートガイドは、あくまでも補助的な機能ですので実際に運転する際には地図上のルート表示を確認の上、実際の交通規制に従って走行してください。
- ルートガイドは、ある一定の条件を満たす交差点でしか行わないため、ルート上では方向が変わっていてもルートガイドを行わない場合があります。
- 音声の内容は、曲がる方向や他の道路との接続形態などにより異なった内容になることがあります。
- 音声ガイドのタイミングは、場合によって遅れたり早くなったりすることがあります。
- ルートを外れた場合は、音声ガイドは行いません。また、外れたことの案内もしません。
- ガイド・メッセージ音声のON表示が消灯している場合は、音声ガイドは行われません。

  また、ガイド・メッセージ音声のON表示が点灯している場合でも、ガイド音量設定がOFFになっていると、音声ガイドは行われません。
- 音声ガイドは、設定されたルート上を走行し始めてから行われますので、ガイドが開始されるまでは地図上のルート表示を参考に走行してください。
- 経由地に近づくと“経由地付近です”と音声ガイドが行われ、次のルート区間の案内に移ります。

  このときもガイド開始時と同様に、次の音声ガイドが行われるまでは地図上のルート表示を参考に走行してください。

- 目的地に近づくと“目的地付近です。運転お疲れ様でした。”と音声ガイドが行われ、音声ガイド（ルートガイド）は終了します。そこから先は、地図を参考に目的地へ向かって走行してください。
- 音声操作時は、音声ガイドは行われません。

■ 細街路（主要市区町村道路）探索エリア

⚠ 注意

- **経路探索結果により、自動車が通行できない細街路を案内することがあります。運転の際は常に実際の道路状況に従って運転してください。**

■ 地図データについて

1. 本商品に収録されている地図データ（以下「地図データ」といいます。）の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を使用した一般財団法人日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベース（測量法第44条に基づく成果使用承認11-080）を基に（株）ゼンリンにて作成しております。（©2014一般財団法人日本デジタル道路地図協会）
2. この地図データの作成にあたっては、（株）ゼンリンが国土地理院長の承認を得て、同院発行の50万分の1地方図及び2万5千分の1地形図を使用しております。（平23情使、第192－B143号）
   - 市街地図データは、住宅地図データベースを基に（株）ゼンリンが作成したものです。
   - 本商品で表示している経緯度座標数値は、日本測地系に基づくものとなっています。基図の作成時期などにより、新設道路の地図データが収納されていないもの、名称や道路などが一部異なる場合があります。
3. この地図データの作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院の技術資料H・1-No.3「日本測地系における離島位置の補正量」を使用しています。
   （承認番号　国地企調発第78号　平成16年4月23日）
4. 3次元地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図50mメッシュ（標高）を使用しました。
   （承認番号平23情使、第768-001号）
5. 交通事故多発地点データは、（財）交通事故総合分析センターが作成した交通事故多発地点の地図データに基づき作成したものを使用しています。この地図データに使用している交通事故多発地点データは、1998年11月時点の交通事故多発地点です。この地図データに使用している交通事故多発地点データは、（財）日本交通事故管理協会と（財）交通事故総合分析センターが所有権を有し、（株）ゼンリンは二次的著作物に使用実施権を取得しております。
6. 地形データは、国土地理院長の承認を得て同院発行の5万分の1地形図を使用し、（株）武揚堂にて作成されたものです。
   （承認番号平9総使、第47号）
7. 道路データは、高速道路、有料道路はおおむね2014年4月、国道、県道、主要地方道はおおむね2014年2月までに収集された情報に基づき製作されておりますが、表示される地図が現場の状況と異なる場合があります。
8. 現在、2011年3月11日に発生した東日本大震災の影響により、以下の地区については、立入制限等の規制区域内の地図データの更新を停止しております。

南相馬市／田村市／川俣町／浪江町／双葉町／大熊町／ 富岡町／楢葉町／広野町／飯舘村／葛尾村／川内村

交通規制データについて

交通規制データは、道路交通法及び警察庁の指導に基づき全国交通安全活動推進センターが公開している交通規制情報を使用して、MAPMASTERが作成したものを使用しています。

VICSリンクについて

「VICS」リンクデータベースの著作権は、（財）日本デジタル道路地図協会、（財）日本交通管理技術協会が有しています。

タウンページデータについて

電話番号情報は、NTTのタウンページ電話帳の情報を収録しています。なお、各業種の中でも一部場所の特定ができない情報は収録していません。地図表示につきましては、タウンページに収録されている電話番号の住所を基に作成しております。また、地図表示は該当する物件の周辺を表示します。

※タウンページは、NTT東日本およびNTT西日本の商標です。

注意事項

本商品に使用しているデータは、無断複製・複写・加工・改変を禁じます。

● 安全上のご注意 （交通事故防止等安全確保のために必ずお守りください。）

本取扱説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財物損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

■ 表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、次の「表示」で区分し、説明しています。

「死亡または重傷を負うおそれがある内容」を示しています。

■ お守りいただく内容の種類を、次の「図記号」で区分し、説明しています。

	「してはいけない内容」を示しています。		「しなければならない内容」を示しています。

付録

⚠ 警告

①	禁止	**運転者は、走行中に操作をしないでください。** 運転を誤り、交通事故を招くおそれがあります。
②	指示	**操作は、安全な場所に車を停止させてからおこなってください。** 安全な場所以外では追突、衝突されるおそれがあります。
③	禁止	**運転中は、画面を注視しないでください。** 運転を誤り、交通事故を招くおそれがあります。
④	指示	**常に実際の道路状況や交通規制標識・標示などを優先して運転してください。** 本商品に収録されている地図データ、交通規制データ、経路探索結果、音声案内などが実際と異なる場合があり、交通規制に反する場合や、通行できない経路を探索する可能性があるため、交通事故を招くおそれがあります。
⑤	指示	**一方通行表示については、常に実際の交通規制標識・標示を優先して運転してください。** 本商品の一方通行表示はすべての一方通行道路について表示されているわけではありません。また、本商品に一方通行表示のある区間でも実際にはその一部が両面通行の場合があります。
⑥		**本商品を救急施設などへの誘導用に使用しないでください。** 本商品にはすべての病院、消防署、警察署などの情報が含まれているわけではありません。また、情報が実際と異なる場合があります。そのため、予定した時間内にこれらの施設に到着できない可能性があります。

重要

本使用規定（「本規定」）は、お客様と株式会社ゼンリン（「弊社」）間の「ナビゲーションシステム」（「本商品」）に格納されている地図データおよび検索情報等のデータ（「本ソフト」）の使用許諾条件を定めたものです。本ソフトのご使用前に、必ずお読みください。本ソフトをご使用された場合は、本規定にご同意いただいたものとします。

● 使用規定

1. 弊社は、お客様に対し、本取扱説明書（「取説」）の定めに従い、本ソフトをお客様自身が管理使用する本商品1台に限り使用する権利を許諾します。
2. 弊社は、本ソフトの媒体や取説にキズ・汚れまたは破損があったときは、お客様から本ソフト購入後90日以内にご通知いただいた場合に限り、弊社が定める時期、方法によりこれらがないものと交換するものとします。但し、本ソフトがメーカー等の第三者（「メーカー」）の製品・媒体に格納されている場合は、メーカーが別途定める保証条件によるものとします。
3. お客様は、本ソフトのご使用前には必ず取説を読み、その記載内容に従って使用するものとし、特に以下の事項を遵守するものとします。
   (1) 必ず安全な場所に車を停止させてから本ソフトを使用すること。
   (2) 車の運転は必ず実際の道路状況や交通規制に注意し、かつそれらを優先しておこなうこと。
4. お客様は、以下の事項を承諾するものとします。
   (1) 本ソフトの著作権は、弊社または弊社に著作権に基づく権利を許諾した第三者に帰属すること。
   (2) 本ソフトおよび本ソフトを使用することによってなされる案内・料金表示などは、必ずしもお客様の使用目的または要求を満たすものではなく、また、本ソフトの内容・正確性について、弊社は何ら保証しないこと。従って、本ソフトを使用することで生じたお客様の直接または間接の損失および損害について、弊社は故意または重過失の場合を除き何ら保証しないこと。
   （本ソフトにおける情報の収録は、弊社の基準に準拠しております。また、道路等の現況は日々変化することから本ソフトの収録情報が実際と異なる場合があります。）
   (3) 本規定に違反したことにより弊社に損害を与えた場合、その損害を賠償すること。
5. お客様は、以下の行為をしてはならないものとします。
   (1) 本規定で明示的に許諾される場合を除き、本ソフトの全部または一部を複製、抽出、転記、改変、送信すること。
   (2) 第三者に対し、有償無償を問わず、また、譲渡・レンタル・リースその他方法の如何を問わず、本ソフト（形態の如何を問わず、その全部または一部の複製物、出力物、抽出物その他利用物を含む。）の全部または一部を使用させること。
   (3) 本ソフトをリバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルすること、その他のこれらに準ずる行為をすること。
   (4) その他本ソフトについて、本規定で明示的に許諾された以外の使用または利用をすること。

● 地図データの更新について

地図データのバージョンアップは、日産販売会社にて有償でSDメモリーカードの地図データを書き換えさせていただく方式となります。詳しくは、地図データ更新時に日産販売会社にご相談ください。またバージョンアップ書き換え作業中はナビゲーションは使用できません。あらかじめご了承ください。

車両初度登録年月日より3年以内の日産販売会社での有料点検入庫時（12ヶ月／24ヶ月法定点検、3年目車検）に限り1回、無料で地図データをバージョンアップいたします。

本内容は2015年2月現在の予定です。実際には内容が異なる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

■ VICSについて

VICS（Vehicle Information and Communication System）とは、事故や規制、工事の情報、渋滞情報や駐車場の空き情報などを電波や光でリアルタイムに提供する情報システムです。

本機ではVICSで提供された最新の情報を地図上に重ねて表示したり、文字や道路図などの形で画面に表示できます。

また、ルート探索機能と連動させて、スムーズに通れそうなルートを探索できます。

VICSは財団法人道路交通情報通信システムセンターの登録商標です。

アドバイス

- VICSから提供される情報は参考情報であり、情報の収集、伝達処理などにより提供された情報が実際の状況と異なることがあります。

● 情報の提供時間

ビーコン情報：24時間

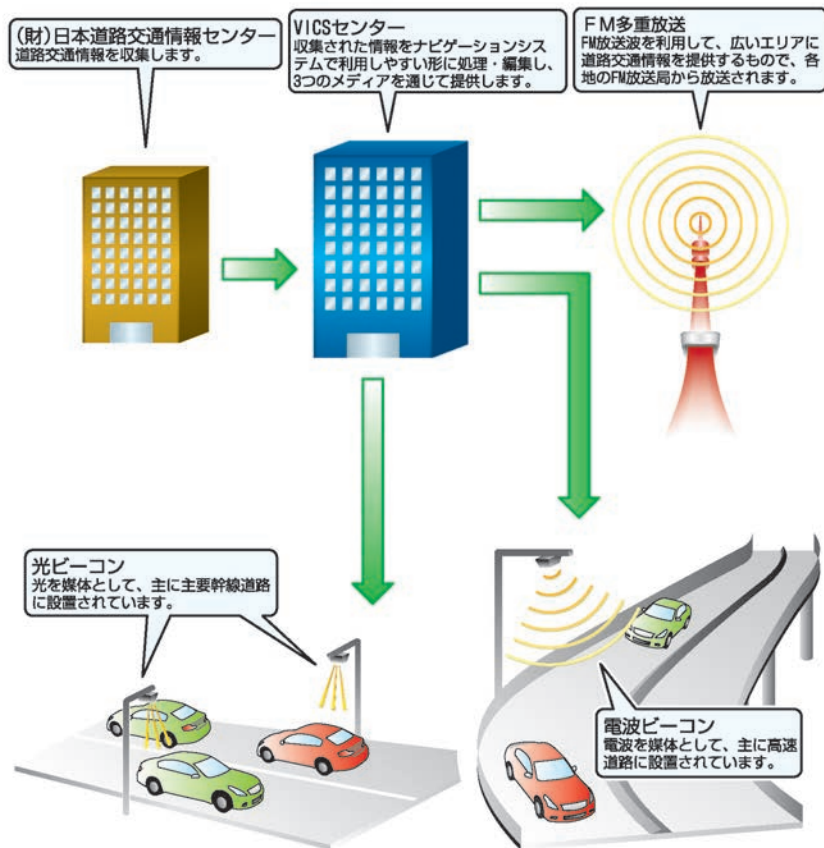
FM多重放送：24時間

（ただし定例放送休止日のAM1:00～5:00を除く）

- FM多重一般放送での道路交通情報は15分～30分間隔で更新されるのに対し、VICSで提供される高速道路の交通情報は、おおむね1分または5分間隔、一般道路の交通情報は5分間隔で更新されます。また、FM多重一般放送が文字のみの情報提供なのに対し、VICSでは、図形情報や地図への重ね描き表示などでも情報提供されます。
- 地図（レベル3）情報の表示は、送られてきた情報を車載機で処理（演算）した上で地図上に重ねて表示しています。このためVICS情報の表示に関しては、受信情報に整理、処理を行うために、多少遅れて表示されることがあります。

● VICSのしくみ

VICS は（財）日本道路交通情報センターが収集した道路交通情報を、VICS センターが処理、編集したものを FM 多重放送、光ビーコン◎情報、電波ビーコン◎情報として配信されています。

付録

● 情報の受信について

- FM多重のオートチューニングは受信状態の良い放送局を受信します。このため必ずしも現在地付近の情報が表示されるとは限りません。
- FM多重は、FMの音声がステレオ受信可能であっても、情報が受信できないことがあります。
- FM多重の一般放送を受信させた場合には、その後VICS情報（FM多重）の表示に時間がかかる場合があります。

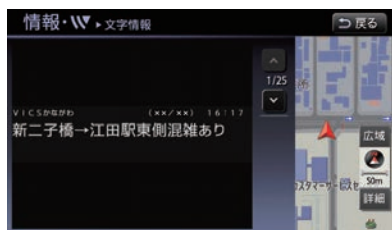
● VICS情報に関するお問い合わせについて

VICSの最新情報やFM多重放送局の周波数、FM多重放送の定例放送休止日などの詳細情報は、下記のホームページでご覧いただけます。

URL:http://www.vics.or.jp/

お問い合わせ先の判断に迷うような場合には、まず日産販売会社、またはお客さま相談室へお問い合わせください。

● VICSから提供される情報

文字表示（レベル 1）

渋滞情報などを文字で表示します。

図形表示（レベル2）

渋滞情報などを簡易な図形で表示します。

地図表示（レベル3）

地図上に渋滞情報などのVICS情報を表示します。

● VICS情報を受信するには

VICS情報の受信方法には、FM多重放送からの受信と道路上に設置されたビーコンからの受信の2種類があります。

FM多重放送を受信するには本機のままで受信できます。

ビーコン情報を受信するには本機にVICS（ビーコン）対応キット◎を付ける必要があります。

● VICSビーコン（2.4GHz）の今後の扱いについて

ITSスポットサービスの開始等を踏まえ、VICSビーコン（2.4GHz）の今後の扱いについては以下のとおりです。

- 新サービスの開始や路側機の老朽化等に伴い、高速道路のVICSビーコン（2.4GHz）による情報提供は、今後、ITSスポットによる情報提供に移行します。
- VICSビーコン（2.4GHz）によって行われていた情報提供は、より広域な情報及び安全運転を支援する情報が加わり、ITSスポットによって情報提供されます。

- 高速道路においては既にITSスポットが全線に設置されており、平成24年4月以降に開通する高速道路においては、ITSスポットが設置されます。(VICSビーコン(2.4GHz)は原則として設置されません)
- 既存のVICSビーコン（2.4GHz）は当面存置されサービスが提供されますが、故障して容易に機能を回復できない等の場合には、原則として更新されません。

お問い合わせ先： 国土交通省道路局交通管理課高度道路交通システム（ITS）推進室 03-5253-8111（代表）

http://www.mlit.go.jp/road/ITS/j-html/spot_dsrc/index.html

■ VICS情報有料放送サービス契約約款

● 第1章　総　　則

（約款の適用）

第1条

一般財団法人道路交通情報通信システムセンター（以下「当センター」といいます。）は、放送法（昭和25年　法律第132号）第147条の4の規定に基づき、このVICS情報有料放送サービス契約約款（以下「この約款」といいます。）を定め、これによりVICS情報有料放送サービスを提供します。

（約款の変更）

第2条

当センターは、この約款を変更することがあります。この場合には、サービスの提供条件は、変更後のVICS情報有料放送サービス契約約款によります。

（用語の定義）

第3条

この約款においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使用します。

1. VICSサービス
   当センターが自動車を利用中の加入者のために、FM多重放送局から送信する、道路交通情報の有料放送サービス
2. VICSサービス契約
   当センターからVICSサービスの提供を受けるための契約
3. 加入者
   当センターとVICSサービス契約を締結した者
4. VICSデスクランブラー
   FM多重放送局からのスクランブル化（攪乱）された電波を解読し、放送番組の視聴を可能とするための機器

付録

● 第2章　サービスの種類等

（VICSサービスの種類）

第4条

VICSサービスには、次の種類があります。

1. 文字表示型サービス
   文字により道路交通情報を表示する形態のサービス
2. 簡易図形表示型サービス
   簡易図形により道路交通情報を表示する形態のサービス
3. 地図重畳型サービス
   車載機のもつデジタル道路地図上に情報を重畳表示する形態のサービス

（VICSサービスの提供時間）

第5条

当センターは、原則として一週間に概ね120時間以上のVICSサービスを提供します。

● 第3章　契　　　　約

（契約の単位）

第6条

当センターは、VICSデスクランブラー1台毎に1のVICSサービス契約を締結します。

（サービスの提供区域）

第7条

VICSサービスの提供区域は、当センターの電波の受信可能な地域（全都道府県の区域で概ねNHK-FM放送を受信することができる範囲内）とします。ただし、そのサービス提供区域であっても、電波の状況によりVICSサービスを利用することができない場合があります。

（契約の成立等）

第8条

VICSサービスは、VICS対応FM受信機（VICSデスクランブラーが組み込まれたFM受信機）を購入したことにより、契約の申込み及び承諾がなされたものとみなし、以後加入者は、継続的にサービスの提供を受けることができるものとします。

（VICSサービスの種類の変更）

第9条

加入者は、VICSサービスの種類に対応したVICS対応FM受信機を購入することにより、第4条に示すVICSサービスの種類の変更を行うことができます。

（契約上の地位の譲渡又は承継）

第10条

加入者は、第三者に対し加入者としての権利の譲渡又は地位の承継を行うことができます。

（加入者が行う契約の解除）

第11条

当センターは、次の場合には加入者がVICSサービス契約を解除したものとみなします。

1. 加入者がVICSデスクランブラーの使用を将来にわたって停止したとき
2. 加入者の所有するVICSデスクランブラーの使用が不可能となったとき

（当センターが行う契約の解除）

第12条

1. 当センターは、加入者が第16条の規定に反する行為を行った場合には、VICSサービス契約を解除することがあります。また、第17条の規定に従って、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、VICSサービス契約は、解除されたものと見なされます。
2. 第11条又は第12条の規定により、VICSサービス契約が解除された場合であっても、当センターは、VICSサービスの視聴料金の払い戻しをいたしません。

● 第4章　料　　　　金

（料金の支払い義務）

第13条

加入者は、当センターが提供するVICSサービスの料金として、契約単位ごとに加入時に別表に定める定額料金の支払いを要します。なお、料金は、加入者が受信機を購入する際に負担していただいております。

● 第5章　保　　　　守

（当センターの保守管理責任）

第14条

当センターは、当センターが提供するVICSサービスの視聴品質を良好に保持するため、適切な保守管理に努めます。ただし、加入者の設備に起因する視聴品質の劣化に関してはこの限りではありません。

（利用の中止）

第15条

1. 当センターは、放送設備の保守上又は工事上やむを得ないときは、VICSサービスの利用を中止することがあります。
2. 当センターは、前項の規定によりVICSサービスの利用を中止するときは、あらかじめそのことを加入者にお知らせします。
   ただし、緊急やむを得ない場合は、この限りではありません。

● 第6章　雑　　　　　則

（利用に係る加入者の義務）

第16条

加入者は、当センターが提供するVICSサービスの放送を再送信又は再配分することはできません。

（免責）

第17条

1. 当センターは、天災、事変、気象などの視聴障害による放送休止、その他当センターの責めに帰すことのできない事由によりVICSサービスの視聴が不可能ないし困難となった場合には一切の責任を負いません。

   また、利用者は、道路形状が変更した場合等、合理的な事情がある場合には、VICSサービスが一部表示されない場合があることを了承するものとします。

   但し、当センターは、当該変更においても、変更後3年間、当該変更に対応していない旧デジタル道路地図上でも、VICSサービスが可能な限度で適切に表示されるように、合理的な努力を傾注するものとします。

2. VICSサービスは、FM放送の電波に多重して提供されていますので、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、加入者が当初に購入された受信機によるVICSサービスの利用ができなくなります。当センターは、やむを得ない事情があると認める場合には、3年以上の期間を持って、VICSサービスの「お知らせ」画面等により、加入者に周知のうえ、本放送の伝送方式の変更を行うことがあり ます。

[別表]

視聴料金　　300円（税抜き）

ただし、車載機購入価格に含まれております。

■ 現在地表示について

本機のナビゲーションシステムは、車からの情報（車速・ジャイロセンサー）と、人工衛星からの情報（GPS）を組み合わせて現在の自車がいる位置を計算します。そして現在地（自車位置）の情報を地図上に表示することで、目的地までのルート案内を可能にしています。

※　GPS衛星は、米国の追跡管理センターによって信号をコントロールされているため、意図的に精度が落ちたり、電波が止まってしまうことがあります。

※　GPS衛星からの電波を受信しても測位に時間がかかる場合があります。

● 現在地の補正

GPS 受信精度が高いとき、車速・ジャイロセンサーなどから求めた位置の精度が低いとシステムが判断すると、GPSでの現在地補正が行われます。

現在地や進行方向は走行条件などによってずれることがあります。

故障ではありませんので、しばらく走行を続けると正常な表示になります。

しばらく走行を続けても表示が戻らない場合は、自車位置を修正してください。車両が停車しているときは、GPSによる位置修正は行われません。**その他のナビ設定をする‥p.83**

以下のような場所では、電波がさえぎられて受信できなくなることがあります。

- トンネルの中やビルの駐車場
- 2層構造の高速道路の下
- 高層ビルの群集地帯
- 密集した樹木の間など

GPSの室内取りつけアンテナはダッシュボード内に設置されているため、ダッシュボード上部に物を置いたり、携帯電話やハンディ無線機などを置かないでください。衛星の電波の強度はテレビ放送電波の10億分の1程度ですので、感度が低下したり、受信できなくなることがあります。

現在地や進行方向は、以下のような走行条件などによってずれることがあります。

- 近くに似た形状の道路がある所の走行
- 碁盤目上の道路の走行
- 緩やかなY字路の走行
- 直線や緩やかなカーブの長距離走行
- S字の連続する道路の走行
- ループ橋などの走行
- 雪道、砂利道などの走行
- 旋回、切り返しを繰り返したとき
- 電源ポジションをOFFにしてターンテーブルなどで旋回したとき
- 地図画面に表示されない道路や新設された道路、改修などにより形状が変わった道路などの走行
- 走行可能表示灯が点灯して、すぐ車を動かしたとき
- サイズ違いのタイヤやタイヤチェーンを装着したとき

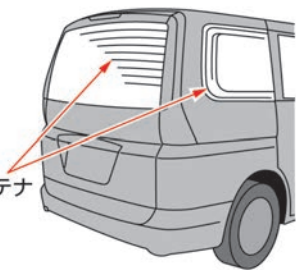
■ SDカードの取り扱いについて

- **SDカードが抜かれた状態では、本機は動作しません。もし、SDカードを誤って抜いてしまった場合は、元の挿入口に挿入した後、電源ポジションをOFFにして、再度ONにしてください。**
- SDカードを本機で使用するときは必ず本書およびSDカードの取扱説明書にある注意に従ってください。
- 濡れた手でSDカードを使用しないでください。感電や故障の原因となります。
- SDカードの端子部に手や金属で触れないでください。
- SDカードをダッシュボードの上や直射日光の当たる場所など、湿気の多い場所に置かないでください。SDカードの破損や変形の原因となります。
- シンナーやベンジンなどでSDカードを拭かないでください。
- 静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所ではSDカードを使用しないでください。データの損傷や紛失の原因となります。
- SDカードの最適化は行わないでください。
- 使用しなくなったSDカードを破棄する場合は、保存したデータを消去するだけでなく、物理的に破棄した上で処分することをお勧めします。

オーディオ・テレビ

■ アンテナについて

● ガラスアンテナ

- アンテナ線部にミラータイプのフィルムや金属物（市販のアンテナなど）を貼り付けないでくだ さい。受信感度が低下し、ノイズ（雑音）などが入るおそれがあります。
- ガラスの内側を清掃するときは、アンテナ線を切らないように、水を含ませた柔らかい布でアン テナ線にそって軽くふいてください。
- アンテナ線は、手荷物などで傷つけないようにしてください。

※車種により異なります。

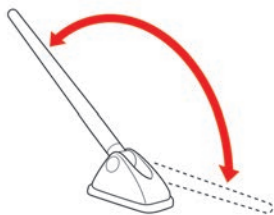
● ルーフアンテナ★

ルーフアンテナの調整のしかた

アドバイス

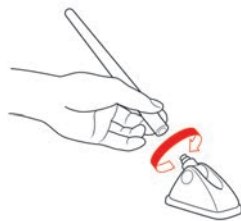
- ルーフアンテナが当たるような場所以外では倒したままにしないでください。車体に当たり、塗装面を傷つけるおそれがあります。
- 屋根の低い車庫や立体駐車場など、ルーフアンテナが当たるような場所ではルーフアンテナを倒してください。

ルーフアンテナの角度は、無段階に調整できます。

1 ルーフアンテナの根元を持って動かします。

ルーフアンテナの外しかた

アドバイス

- ルーフアンテナを脱着するときは、周囲の安全を十分に確認してから行ってください。
- 次のような場合には、必ずルーフアンテナを取り外してください。破損するおそれがあります。
  ± 洗車機を使うとき。
  ± 降雪時に長時間駐車するとき。

1 ルーフアンテナの根元を持ち、矢印の方向に回して取り外します。

2 取り付けるときはルーフアンテナの根元を持ち、逆方向に回し、確実に締め付けます。

■ オーディオプレーヤーを上手に使うために

- 寒いときや雨降りのときは、プレーヤー内に露（水滴）が生じ、正常に作動しないことがあります。その場合はオーディオソフトを取り出し、しばらくの間、除湿や換気をしてから使ってください。
- 炎天下に長時間駐車したときなどプレーヤーの温度が高いときは、正常に作動しないことがあります。温度を下げてから使ってください。
- 走行中に振動が激しいと、音とびすることがあります。
- CDは専用ケースに入れ、直射日光のあたる場所や高温多湿の場所を避けて保管してください。

■ 再生できるディスク、フォーマット

● 再生できるフォーマットの種類

再生できるフォーマット				
音楽データ	MP3	MPEG2 Layer3	**[ビットレート]** 8 - 160 kbps	**[サンプルレート]** 16 - 24 kHz
		MPEG1 Layer3	32 - 320 kbps	32 - 48 kHz
	WMA		**[ビットレート]** 12 - 192 kbps	**[サンプルレート]** 8 - 48 kHz
	AAC		**[ビットレート]** 8 - 320 kbps	**[サンプルレート]** 11.025 - 48 kHz
映像データ	DVD-VIDEO、DVD-VR、VIDEO-CD			

- VBR、MPEG2.5、HE-AACは保証しません。
- WMA9のLossless、Professional、Voiceは未対応です。
- 組み合わせによって再生不可能な組み合わせもあります。
- iTunesでEncodeしたAACファイル（M4Aファイル）のみ有効です。AACの拡張子は.m4aのみです。
- 本機では、映像信号がNTSC方式およびPAL方式で記録されたディスクを再生することができます。

● 再生できるディスクの種類

再生できるディスク		
DVD(※1)	DVD-ROM DVD±R DVD±RW DVD±R DL	片面1層 片面2層 両面1層 両面ミックス 両面2層
CD	CD-ROM（CD-DA）、CD-RW、CD-R、dts-CD	

- 12cmディスクのみの対応です。
- ブルーレイディスク、DVD-RAMは再生できません。
- お客様ご自身で作成・コピーされたディスクは記録状態によっては再生できない場合があります。

(※1) DVD+R、 DVD-R DLは、記録状態によっては
レイヤー（1層／2層）の切り替え時に映像や
音声が途切れる場合があります。

■ CD（コンパクトディスク）について

- 音楽用CDは、以下のマークが入っているものを使用してください。

- 8cmCD(シングルCD)には対応していません。アダプターをつけてもご使用いただけません。
- コピーコントロールCDは規格に準拠していない特殊ディスクのため、再生できないことがあります。
- CD-R、CD-RWは、再生できないことがあります。
- 次のようなCDは、故障の原因となりますので使用しないでください。
  - ハート型や八角形などの特殊な形状のCD
  - そったり、傷があるCD
  - 読み取り面が汚れているCD
  - 内外周が荒く処理されたCD
  - 個人でシールやラベルを貼ったCD
  - レーベル面に印刷できるCD
- レンズクリーナーはピックアップ故障の原因となる恐れがありますので使用しないでください。
- 走行中に振動が激しいと音とびすることがあります。

■ ミュージックボックスについて

音楽CDを本機に録音して様々な方法で再生することができます。また、本機に収録されているデータベースからアーティスト名、ジャンルなどを自動的に取得し、表示することができます。

● 録音について

- MP3/WMA/AACのファイルの録音はできません。
- USBメモリからの録音はできません。
- CDを再生しているときは約4倍速以下、再生していないときは約4倍速で録音します。
- 録音中は、「REC」と録音曲数が表示されます。
- 録音中に振動、ディスクの傷や汚れなどにより読み取りエラーが発生した場合、その曲の始めに戻り録音を再開します。
- はじめからの録音を2回繰り返しても読み取りエラーが発生した場合は、そのまま録音が継続され音飛びのあったことを示す ⦸ （音飛びマーク）が表示されます。
- CD以外のモード（ソース）に切り替えても、録音は継続されますが、オーディオをOFFにしたとき、CDを取り出したとき、本機の容量がいっぱいになったときには録音を停止します。
- 音飛びしたときやディスクの状態が悪いときは、無音状態が録音される場合があります。
- SCMS（シリアルコピーマネージメントシステム）を検出したトラックの録音は行いません。
- ディスクの傷、汚れなどにより、録音できなかったり、音飛びが発生したり、録音に時間がかかる場合があります。
- CDデータを本機に録音（リッピング）しているとき、CDの回転音が大きくなりますが、故障ではありません。

● プレイリストについて

音楽CDを録音すると、本機に収録されているデータベースまたはCD-TEXTから取得した情報をもとに、アルバム別やアーティスト別、ジャンル別、フィーリング別に自動的にグループ分けして、プレイリストを作成します。グループ分けされた曲は「アーティスト」、「アルバム」、

「ジャンル」などいろいろな選曲方法で再生することができます。

■ Gracenote音楽認識サービスについて

音楽認識テクノロジー及び関連データは、Gracenote®により提供されます。

Gracenoteは、音楽認識テクノロジー及び関連コンテンツ配信の業界標準です。

詳細については、次のWebサイトをご覧ください

:www.gracenote.com<http://www.gracenote.com>

Gracenote、CDDB、MusicID、Gracenoteロゴとロゴタイプ、“Powered by Gracenote”ロゴは、米国およびその他の国におけるGracenote Inc. の登録商標または商標です。

■ Gracenote音楽認識サービスのご利用について

この製品を使用する際は、以下の条項に同意しなければなりません。

この製品は米国カリフォルニア州、エメリービル市のGracenote（“Gracenote”）からの技術とデータが含まれています。この製品はGracenoteの技術（“Gracenote Embedded Software”）により、ディスク認識を可能とし、また名前、アーティスト、トラック、タイトルなどを含む音楽に関する情報（“Gracenote Data”）を得ることも可能です。この技術はGracenote Database（“Gracenote Database”）に実装されています。

- Gracenote Data、Gracenote Database、Gracenote Embedded Softwareを商用ではなく、個人の使用のみに使うことに同意すること。
- 標準エンドユーザー機能及びこの製品の機能によってのみ、Gracenote Dataにアクセスすることに同意すること。
- 第三者にGracenote Embedded Software又はGracenote Dataの譲渡、コピー、転送をしないことに同意すること。
- この文章中で明白に許可されたこと以外でのGracenote Data、Gracenote Databaseや、Gracenote Embedded Softwareの使用あるいは応用をしないことに同意すること。
- これらの制約に違反した場合、あなたのGracenote Data、Gracenote Database、Gracenote Embedded Softwareを使用する非独占的ライセンスの契約を解除します。解除された場合、Gracenote Data、Gracenote Databaseの全ての使用をやめることに同意すること。
- GracenoteはGracenote Data、Gracenote Database、Gracenote Embedded Softwareの所有権を含む全ての権利を保有しています。
- Gracenoteはこの同意のもとで、Gracenoteの名において、直接あなたに対する権利を執行することができます。

Gracenote Embedded SoftwareやGracenote Dataの、各項目はあなたに現状のままで使用許可を与えます。Gracenoteは、全てのGracenote Dataの正確さに関する、明示或いは黙示、真実の明示或いは保証は、一切致しません。GracenoteはGracenoteが明らかに問題であると判断した際、又は更新が必要な際には、データカテゴリーを更新したり、データを消去することができます。Gracenote Embedded Softwareが、エラーフリーであるとか、Gracenote Embedded Softwareの機能が断絶しないものであるという保証は致しません。

Gracenoteは新しく拡張された或いは追加されるいかなるデータタイプも提供する義務はありません。或いはまた、将来Gracenoteが提供するかもしれないカテゴリーについても、あなたに提供する義務はありません。

Gracenoteは、商品性に関する黙示の保証、特定目的への適合性及び権利侵害の不存在を含む全ての明示又は黙示の保証はしません。Gracenoteは、Gracenote Component又はいかなるGracenote Serverの利用により生じた結果についても保証しません。

Gracenoteはいかなる場合でも結果的もしくは付随的侵害又は逸失利益もしくは逸失収益に対して責任を負いません。

■ USBメモリについて

- USBメモリは装備に含まれておりません。お客様ご自身でご用意ください。
- ご使用に際しては、USBメモリが正しく接続されていることをご確認ください。
- USBメモリのフォーマットは本機では行えません。お手持ちのパソコンなどで行ってください。
- USBメモリには一部対応していない機種があります。

  使用できるUSBメモリの仕様：

  - 規格 : USB2.0のみ
  - ファイルシステム ： FAT12、FAT16、FAT32
  - 最大メモリサイズ：64GB
  - セクタサイズ：512B
  - クラスタサイズ：32kB以下
- 複数のパーテーションに分かれているUSB機器は使用できない場合があります。
- 暗号化やコピープロテクト、著作権保護されたファイルなどは再生できません。
- **データ収録の制限について**
  - 最大ファイル数：8000
  - 最大フォルダー数：255
  - 最大フォルダー階層：8
  - 1ファイルあたりの最大ファイルサイズ：2GB未満

■ Bluetooth®オーディオについて

- Bluetooth®オーディオ機器は、機種により対応していない場合があります。また、対応している機種でも一部の機能が使用できない場合があります。
- 以下のときはBluetooth®オーディオの再生は一時停止します。下記動作が終了すると、Bluetooth®オーディオの再生を再開します。
  - カーウイングスによるデータダウンロード中 (手動または自動)
  - 交通情報の受信中
  - ハンズフリー通話中
  - 携帯電話の接続確認中
- Bluetooth®通信用の車両側アンテナは、本機に内蔵されていますので、Bluetooth®オーディオ機器を金属に覆われた場所や本機から離れた場所においたり、シートや身体の間に密着させた状態では音が悪くなったり接続できない場合があります。
- 無線LAN（Wi-Fi）とBluetooth®機能は同一周波数帯（2.4GHz）を使用しています。そのため、お客様がお使いの携帯電話の無線LAN機能とBluetooth®機能を同時に使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になることがあります。
- Bluetooth®接続を行うと、通常よりBluetooth®オーディオ機器の電池の消耗が早くなります。
- 本機は、Bluetooth®AVプロファイル（A2DP、AVRCP）に対応しています。
- Bluetooth®およびBluetooth®ロゴは、Bluetooth SIG, Inc.の登録商標であり、クラリオン株式会社は、ライセンスに基づいて使用しています。

  Bluetooth®

付録

■ DVDについて

DVDディスクによってはディスク制作者の意図により、お客さまの操作に対して各種操作を受け付けないディスクや、お客さまの操作意図と違う動作をするディスクがあります。操作した動作が禁止されている場合は、「! 現在その操作ができません」と画面に表示されます（ディスクによっては表示されない場合もあります）。

● リージョンコードについて

リージョンコードとは、映画の配給権保護や海賊版の防止を目的としてつくられた、地域別の再生管理コードのことです。DVDプレーヤーとDVDディスクにそれぞれ、地域別のコードを記録することで、プレーヤー側とディスク側のリージョンコードが合致しなければ、再生が行われない仕組みになっています。

※　DVDソフトの中には、複数のリージョンコードを持つもの（例えば、「1」と「2」）や、全地域で再生可能なもの（「ALL」）があります。

リージョンコードは全世界で、6つのエリアに分けられています。日本の地域コードは、欧州や南アフリカ共和国と同じ2番が割り当てられています。

例）
※番号は地域ごとに違います

本DVDプレーヤーで再生可能なリージョンコードは、「2」「ALL」「2を含むもの」の製品です。

● 著作権および商標について

- 本機は、マクロビジョンコーポレーションおよびその他の権利者が保有する、米国特許権およびその他の知的所有によって保護された著作権保護技術を採用しています。
- この著作権保護技術はマクロビジョンコーポレーションの許可なく使用できません。また、同社の特別な許可がない限り、一般家庭その他における限られた視聴用だけに使用されるようになっています。
- 改造、または分解は禁止されています。
- 本機は、ドルビーラボラトリーズからの実施権に基き製造されています。
- Dolby、ドルビー、Pro Logic、MLP Losslessおよびダブルロ記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。

- DTSおよびDTS 2.0はDTS社の登録商標です。

- DTSおよび DTS Digital Surround はDTS社の登録商標です。

● パレンタルレベル（視聴制限）について

本DVDプレーヤーは視聴制限のかかったDVDディスクでも再生できます。再生するDVDディスクの視聴レベルは、お客さまのご判断によりお願いいたします。

● DVD-VIDEOの仕様表記について

DVD-VIDEOソフトのレーベル面とパッケージには、下のようにディスクのいろいろな仕様が分かる表記が記載されています。

この表記により、DVDソフトに本機が対応できるかを確認することができます。

仕様表記（一般例）：

① ディスク部番
② 収録時間
③ ディスクの種類
④ カラー／モノクロ
⑤ 映像フォーマット
⑥ 対応言語（音声）
⑦ 対応言語（字幕）
⑧ アスペクト比
⑨ 音声フォーマット
⑩ リージョンコード番号
⑪ アングル

● 言語コード一覧

コード	言語
001	アファル
002	アブバジア
003	アフリカーンス
004	アムハラ
005	アラビア
006	アッサム
007	アイマラ
008	アゼルバイジャン
009	バジキール
010	ベラルーシ
011	ブルガリア
012	ビハーリー
013	ビスラマ
014	ベンガル、バングラ
015	チベット
016	ブルトン
017	カタロニア
018	コルシカ
019	チェコ
020	ウェールズ
021	デンマーク
022	ドイツ
023	ブータン
024	ギリシャ
025	英

コード	言語
026	エスペラント
027	スペイン
028	エストニア
029	バスク
030	ペルシャ
031	フィンランド
032	フィジー
033	フェロー
034	フランス
035	フリジア
036	アイルランド
037	スコットランド ゲール
038	ガルシア
039	グアラニ
040	グジャラート
041	ハウサ
042	ヒンディ
043	クロアチア
044	ハンガリー
045	アルメニア
046	国際
047	インドネシア
048	国際
049	イヌピック
050	アイスランド

コード	言語
051	イタリア
052	イヌクチタット
053	ヘブライ
054	日本
055	イディッシュ
056	ジャワ
057	グルジア
058	カザフ
059	グリーンランド
060	カンボジア
061	カンナダ
062	韓国
063	カシミール
064	クルド
065	キルギス
066	ラテン
067	リンガラ
068	ラオス
069	リトアニア
070	ラトビア
071	マダガスカル
072	マオリ
073	マケドニア
074	マラヤーラム
075	モンゴル
076	モルダビア

コード	言語
077	マラータ
078	マレー
079	マルタ
080	ミャンマー
081	ナウル
082	ネパール
083	オランダ
084	ノルウェー
085	オック （プロバンス）
086	アファン
087	オリヤー
088	パンジャブ
089	ポーランド
090	パシュトー
091	ポルトガル
092	ケチュア
093	ラエティ=ロマン
094	キルンディ
095	ルーマニア
096	ロシア
097	キニャルワンダ
098	サンスクリット
099	シンド
100	サンゴ
101	セルビア クロアチア
102	シンハラ

コード	言語
103	スロバキア
104	スロベニア
105	サモア
106	ショナ
107	ソマリ
108	アルバニア
109	セルビア
110	シスワティ
111	セストゥ
112	スンダ
113	スウェーデン
114	スワヒリ
115	タミール
116	テルグ
117	タジク
118	タイ
119	ティグリニャ
120	トゥルクメン
121	タガログ
122	セツワナ
123	トンガ
124	トルコ
125	ツォンガ
126	タタール
127	トウィ
128	ウイグル

コード	言語
129	ウクライナ
130	ウルドゥ
131	ウズベク
132	ベトナム
133	ボラピュク
134	ウォロフ
135	コーサ
136	ヨルバ
137	チワン
138	中国
139	ズルー

■ 地上デジタルテレビについて

● 正しくお使いいただくために

- デジタル放送では受信状態が悪いと、映像のブロックノイズ、音声途切れの発生や静止画面、黒画面となり音声が出なくなることがあります。
- 車で移動して受信するため、家庭用に比べて受信可能エリアが狭くなります。また、車の場所や方向、速度などにより受信状態が変化します。
- 本機の受信周波数帯域に相当する周波数を用いた携帯電話などの機器を、本機やアンテナケーブルに近づけると、その影響で映像・音声などに不具合が生じる場合があります。それらの機器とは離してご使用ください。

● 製造メーカーについて

本地上デジタルチューナーは、日産自動車株式会社向けにクラリオン株式会社が開発・製造しています。

● 地上デジタル放送

地上デジタル放送を高画質・高音質に楽しむことができます。

※　本機は、双方向データサービスに対応しておりません。

● 1セグ放送

地上デジタル放送に加え、1セグにも対応しています。また、地上デジタル放送⇔1セグへの自動切り替えまたは手動切り替えにより、受信エリアが拡大します。

※　本機は1セグは、最大3サービスまで対応しています。データ放送には対応しておりません。

※　番組によってはサイマル放送が運用されていない場合があります。

● 緊急警報放送（EWS）について

大規模災害など緊急な出来事が発生した場合に、視聴者にいち早く情報を知らせる放送システムです。

本機能は、地上デジタル放送視聴時のみの機能です。視聴中の放送局で緊急警報放送が開始されると、自動的に緊急警報放送のチャンネルに切り替わります。緊急警報放送終了後、90秒で自動的に元のチャンネルに戻ります。

● ご留意していただくこと

- 本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロヴィジョン社及びその他の著作権利者が保有する米国特許及びその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用は、マクロヴィジョン社の許可が必要で、またマクロヴィジョン社の特別な許可がない限り家庭用及びその他の一部の観賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。
- 本機はARIB（電波産業会）規格に基づいた商品仕様になっております。将来規格変更があった場合は、商品仕様を変更する場合があります。
- 各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

● B-CASカードについてのお問い合わせ

株式会社ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズカスタマーセンター

0570-000-250

（IP電話からの場合045-680-2868）

受付時間10：00～20：00

詳細情報は、下記のホームページでご覧いただけます。

URL http://www.b-cas.co.jp/

● B-CASカード使用許諾契約約款

お客様がお買い求めの地上デジタルテレビジョン放送の受信機器には、デジタル放送を受信するためのICカード（B-CAS（ビーキャス）カード）（以下「カード」といいます）が内蔵されています。このカードは、株式会社ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ（以下「当社」といいます）が受信機器（一般社団法人電波産業会（ARIB）の技術的基準に適合した受信機器）に内蔵されます。

当社は、このカードを、この約款の規約に基づいてお客さまに貸与します。お客様は、お買い求めの受信機器を使用する前にこの約款を必ずお読みください。

この約款は「特別内蔵用　B-CASカード」と「特別内蔵用　miniB-CASカード」に適用されます。

第1条　（カードの使用目的）

このカードは、放送番組の著作権保護等に対応した地上デジタルテレビジョン放送の受信機器において、各種放送サービスを受信する目的で使用されます。

第2条　（カードの所有権と使用許諾）

このカードの所有権は、当社に帰属します。

2.この約款に基づき、お客様およびお客様と同一世帯がこのカードを使用できます。

第3条　（カードの故障交換等）

カードが原因と思われる受信障害が発生した場合は、受信機器メーカーあるいは販売店（以下「メーカー等」といいます）に連絡してください。カードの故障交換等は、お買い求めの受信機器の修理・保障に準じて、メーカー等により行われます。詳しくは受信機器の取扱説明書をご覧ください。

2.当社に故意または重大な過失があった場合を除き、カードの故障により、第1条の放送サービスが受信できないことによる損害が生じても、当社はその責任を負いません。

第4条　（カードの交換依頼）

カードの不具合やシステム変更（バージョンアップ）等、当社の都合によりカード交換が必要となった

場合、カード交換をお願いすることがあります。

第5条　（契約の終了）

当社は、受信機器の廃棄や譲渡等によりお客様がこのカードを使用しなくなった場合には、お客様との契約が終了したものとみなします。

第6条　（禁止事項）

第1条のカードの使用目的に反する機器（例えば著作権保護に対応していない機器）に、このカードを使用することはできません。

2.このカードを使用して、BSデジタル放送や110度CSデジタル放送等の有料放送の視聴契約をすることはできません。

3.このカードの複製、分解、改造、変造若しくは改ざん、またはカード内部に記録されている情報の複製若しくは翻案等、カードの機能に影響を与え、またはカードに利用されている知的財産権の侵害に繋がる恐れのある行為を行うことはできません。

4.カードを日本国外に輸出または持ち出すことはできません。

第7条（損害賠償）

お客様が第6条に違反する行為を行い当社に損害を与えた場合、当社は、お客様に対し損害の賠償を請求することがあります。

第8条　（約款の変更）

この約款は変更することがあります。この約款の変更事項または新しい約款については、当社のホームページ（http://www.b-cas.co.jp）に掲載します。

株式会社　ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ

● 地上デジタル放送チャンネル

受信チャンネル設定で選択された地域（お住まいの地域）の放送局とチャンネル番号の組み合わせは、下記のホームページでご確認いただけます。

http://www.soumu.go.jp/main_sosiki/joho_tsusin/dtv/

● 後席ヘッドフォンを上手に使うために★

- ヘッドフォンシステムを使用しているときに、赤外線通信機器や携帯電話を使用されますと大きな雑音が入ることがあります。このような時にはボリュームを下げるか、一時的にヘッドフォンの使用を中止してください。
- ヘッドフォンシステムは赤外線によって音声を通信しています。このため赤外線送出部（後席ディスプレイの近くにあります）から離れたり、近づいても赤外線の届く範囲から外れると雑音（サー音）が増えることがありますが、雑音が増える現象は赤外線の特性によるもので故障ではありません。
- 赤外線送出部の発光部の明るさにムラがある場合がありますが、赤外線の届く範囲や音質などの性能には影響はありません。
- ヘッドフォンを使用しないときはヘッドフォンの電源スイッチをOFF　にしてください。赤外線の受信ができない状態（ディスプレイが閉じている状態）では約5分で自動的に電源が切れます。
- 後席ディスプレイは後席リモコンで操作します。後席リモコンを紛失しないようにご注意くださ

い。

● 用語解説

（株）B-CAS：

BSデジタル放送の限定受信システム（CAS）を管理するために設立された（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズの略称です。B-CASカードの発行・管理をしています。110 度CS デジタル放送、地上デジタル放送も同じシステムを使用しています。

データ放送：

お客様が見たい情報を選んで画面に表示させることができます。例えばお客様のお住まいの地域の天気予報を、いつでも好きなときに表示させることができます。また、テレビ放送に連動したデータ放送もあります。

3桁チャンネルと物理チャンネル：

- 3桁チャンネル

  地上アナログ放送では、1 つのチャンネルで1 つの番組を放送しており、チャンネル番号はその放送局に対応しています。それに対して地上デジタル放送では1 つのチャンネルで複数の番組を同時に放送できるため編成チャンネルと呼ばれる3 桁のチャンネルが設定されています。3 桁のうち最初の2 桁は放送局を示すチャンネル（リモコンチャンネル）、最後の1 桁はその放送局の中でのチャンネルを示す代表チャンネルとなっています。

- 物理チャンネル

  物理チャンネルとは、実際に受信する周波数を表すチャンネル番号のことです。地上デジタル放送では、従来のアナログ放送とは異なり実際に受信する周波数を送信しているチャンネル（物理チャンネル）と放送局を示すチャンネル（リモコンチャンネル）が異なります。

＜東京のチャンネル例＞

放送局	リモコンチャンネル	3桁チャンネル	物理チャンネル
NHK総合	1	011	27
NHK教育	2	021	26
日本テレビ	4	041	25
TBS	6	061	22
フジテレビジョン	8	081	21
テレビ朝日	5	051	24
テレビ東京	7	071	23
TOKYO MX	9	091	20
放送大学	12	121	28

ハンズフリーフォン

■ ご使用上の注意

- ハンズフリーフォンをご使用になるときは、必ず車載機に携帯電話を接続してください。
- バッテリーあがり防止のため、エンジン始動後に使用してください。
- 携帯電話にはご利用できない機種があります。適合携帯電話機種については、日産販売会社またはカーウイングスお客さまセンターにお問い合わせいただくか、N-Link OWNERS（http://n-link.nissan.co.jp）またはカーウイングスホームページ（www.nissan-carwings.com）の「適合携帯電話一覧」で必ずご確認ください。
- 以下の場合には、ハンズフリーフォンを使用できません。
  - 使用する携帯電話の圏外に車が移動したとき
  - トンネル、地下駐車場、ビルの陰、山間部など、電波が届きにくい場所にいるとき
- 以下の機能が設定されているとハンズフリーフォンが使用できません。設定を解除してください。（機能の解除方法は、お使いの携帯電話の取扱説明書をご覧ください）
  - ダイヤルロック、オートロック、オールロック、セルフモード
  - その他、発着信を制限、もしくは禁止する機能
- 通話中に“カシャッ”という音が聞こえることがありますが、これはある無線ゾーンで電波が弱くなったときに、隣の無線ゾーンへ切り替わるために発生する音で、異常ではありません。
- スピード違反取り締まり用レーダーの逆探知機（レーダー探知機）を搭載していると、スピーカーから雑音が出ることがあります。
- デジタル方式のため、声が多少変わって聞こえたり、周囲の音が人のざわめきのように聞こえたりすることがあります。
- 携帯電話の電波状態が悪いときや、高速で走行しているとき、窓を開けているとき、エアコンファンの音が大きいときなどは、通話中のお互いの声が聞こえにくいことがあります。
- 三者通話機能には対応していません。
- 電源ポジションをONにした直後は、電話の着信を受けることができません。
- ハンズフリー状態で、携帯電話側での発着信操作（着信拒否、転送も含む）はしないでください。誤作動をする場合があります。

● 故障、サービスなどについて

万一、ハンズフリーフォンが故障したときは、お買い上げいただいた日産販売会社にご相談ください。

■ Bluetooth®電話機について

Bluetooth®電話機は、無線（Bluetooth®）で通信を行うことのできる電話機です。従来の携帯電話機のように、ケーブルで接続しなくても本機との通信ができるため、例えば胸ポケットに電話を入れたままでもハンズフリーフォンとして使用することができます。

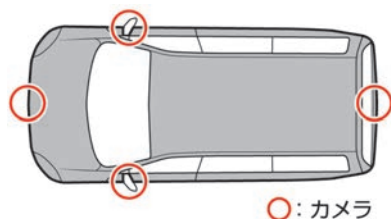
- Bluetooth®通信用の車両側アンテナはナビに内蔵されていますので、携帯電話を金属に覆われた場所やナビ本体から離れた場所に置いたり、シートや身体の間に密着させた状態では音が悪くなったり接続できない場合があります。
- Bluetooth®接続を行うと、通常より携帯電話の電池の消耗が早くなります。
- Bluetooth®オーディオ使用時にハンズフリーフォンを使用すると、Bluetooth®オーディオは一時停止します。
- 無線LAN（Wi-Fi）とBluetooth®機能は同一周波数帯（2.4GHz）を使用しています。そのため、お客様がお使いの携帯電話の無線LAN機能とBluetooth®機能を同時に使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になることがあります。
- 放送局や他の無線機器が近くにある場合は、正常に接続できないことがあります。
- ペースメーカーなどの電子医療機器に影響を与える可能性がある場合は、Bluetooth®接続を「しない」に設定してください。
- Bluetooth®およびBluetooth®ロゴは、Bluetooth SIG, Inc.の登録商標であり、クラリオン株式会社は、ライセンスに基づいて使用しています。

Bluetooth®

カメラシステム

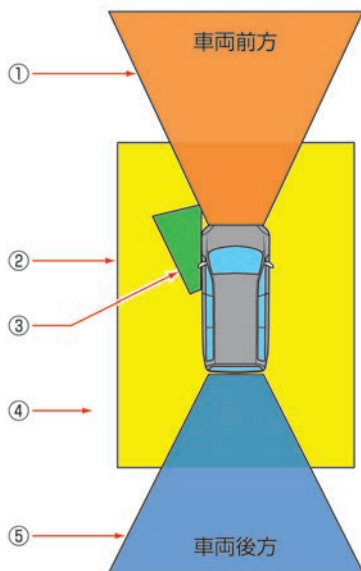
■ アラウンドビューモニターについて

- フロントビューおよびリヤビューの表示線は、路面の状況により障害物への距離が実際と異なって見えることがあります。特徴をよく理解してください。
- アラウンドビューモニターは、近赤外線カメラを使用しているため、実際の色とは違って見えることがあります。
- 暗いところや夜間では、映りが悪くなったり、青っぽく表示される場合があります。
- トップビューの画像は、4つのカメラからの映像を加工処理して表示するため、以下のように表示される場合があります。
  - 立体物が倒れこんで見える
  - 路面よりも高い位置にある車両などが実際より遠くに見える
  - 高さのあるものが画像の継ぎ目でずれて表示される
  - 各カメラ画像の明るさが違う
- 路上の白線などは、トップビューに映し出されたときにカメラのつなぎ目でずれる場合があります。
  白線などが遠方にあるほどずれは大きくなります。
- 乗員人数、ガソリン残量、荷物の積載状況などによる車体の傾きなどにより、トップビューの映像がずれる場合があります。
- トランクまたはバックドアが完全に閉まっていないと、映像が正しく表示されないことがあります。

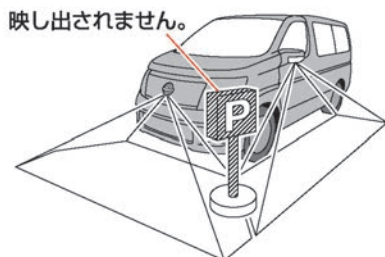
● カメラの位置

アラウンドビューモニターのカメラはフロントエンブレムの下、左右のドアミラー、トランクまたはバックドアのドアグリップ付近にあります。

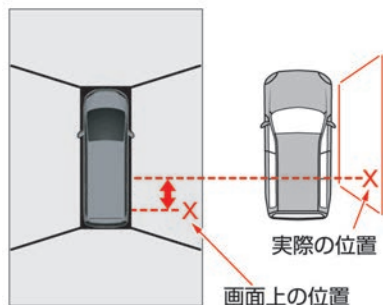
● 映し出す範囲

① フロントビュー
② トップビュー

付録

③ サイドブラインドビュー
④ リヤビュー

● **立体物の消失について**

カメラの映し出す範囲の境界線上にあるもの、路面より高さのあるものが映らない場合があります。

● **車両アイコンとの距離について**

トップビューに表示される車両アイコンと、周りの画像に映っているものとの位置関係は、実際とは異なります。

● **MOD(移動物検知)機能**

- MOD（移動物検知）機能は止まっている障害物をお知らせする機能はありません。
- MOD（移動物検知）機能はディスプレイに表示されている画像を画像処理して移動物を検知しており、移動物の検知性能には限界があります。
- 以下の場合などでは適切に作動しない場合があります。
  - 背景と移動物の色や明るさが似ている
  - ウィンカーなど点滅している光がある
  - 他車のヘッドライトや太陽など強い光が映りこんでいる
  - ミラーがたたまれているなどカメラの向きが通常と異なる
- カメラレンズ上を流れる水滴やマフラーからの白煙、動いている影など移動物でないものを検知する場合があります。
- 移動物の速度、方向、距離、形状等によっては適切に検知できない場合があります。

● **駐車枠認識機能★**

駐車枠認識機能★は以下の場合など 天候や路面状態によっては適切に認識しない場合があります。

- 路面の駐車枠線がかすれている場合
- 路面の駐車枠線が白線で書かれていない場合
- 路面と駐車枠線のコントラストが低い場合
- 駐車枠が極端に狭いもしくは広い場合
- 駐車エリアが傾斜しているなどカメラ映像上で平行な駐車枠線に見えない場合
- 自車が駐車枠を踏んでいる場合
- 駐車枠線が極端に細いもしくは太い場合
- 駐車枠線に見えるような影、段差、路面ペイント、引きなおし線などがある場合
- 駐車枠線が1本しか見えていない場合
- 夜間、霧などカメラ映像に駐車枠が映っていない場合
- 駐車枠と自車が傾いて止まっている場合

ETC

■ ETCとは

ETC（ノンストップ自動料金支払いシステム）は、財団法人道路システム高度化推進機構の登録商標です。有料道路料金所のETC利用可能な車線（以下「ETC車線」と称す）内に設置された道路側アンテナと車載ETCユニット間の無線通信により、従来のような現金、クレジットカードなどの受け渡しを行わずに自動的に料金支払いができるシステムです。通行料金は、有料道路利用時の記録をもとに請求され、後日、金融機関などから引き落とされます。ETCによって、料金支払いにかかる時間が短縮されるため、料金所通過時における渋滞の軽減が期待されています。

■ ETCの利用について

ETCをご利用になるには、ETCユニットのほかにクレジット会社が発行するETC専用ICカード（以下「ETCカード」と称す）が必要になります。カードの発行は、カード会社の審査・条件を満たしている必要があります。詳しくは、各カード会社へお問い合わせください。

- 万一、ETCカードを盗難・紛失された場合は、ただちにETCカード発行会社に連絡してください。
- ナンバープレートの変更など車検証の記載が変更になった場合はETCユニットの変更手続きが必要となりますので、日産販売会社にご相談ください。
- ETCカードは、お客さまご自身による申し込みが必要です。詳しくは日産販売会社にご相談ください。
- ETCを初めて使うときは、セットアップする必要があります。セットアップは、財団法人道路システム高度化推進機構の認可を受けた「セットアップ取扱店」で行えます。

ボイスコマンド一覧

ここでは音声操作で発話できるボイスコマンドを紹介しています。

コマンドリストは、画面上でも確認することができます。

グレード、オプションにより、表示されるコマンドリストは異なります。

■ ナビゲーション関連

ボイスコマンド	動　作
自宅へ帰る	自宅へ帰るルートを探索します。
住所で探す	住所を発話して設定します。地図を表示することもできます。
周辺施設へ行く	リストからジャンルを選択して現在地周辺の施設を検索し、目的地に設定します。ルートが設定されている場合、ルート沿いの施設を検索します。
登録地へ行く	画面にリストが表示されます。1番から5番の番号で設定できます。それ以外の登録地は登録した名前の「よみ」で設定します。
最近の行き先へ行く	以前に設定した目的地を再度設定します。

付録

■ オーディオ関連

ボイスコマンド	動　作
AM	ラジオをAM にします。
FM	ラジオをFMにします。FM再生時はFM1とFM2を切り替えます。
CD	CDを再生します。
DVD	DVDを再生します。
テレビ	テレビを表示します。
Music Box	Music Boxを再生します。
USB	USBメモリ内のファイルを再生します。
Bluetooth®オーディオ	Bluetooth®オーディオを再生します。
AUX	AUXを再生します。

※　ラジオ／テレビ使用中に操作します。

■ カーウイングス関連

ボイスコマンド	動　作
お気に入りチャンネル	お気に入りに登録されているチャンネルの最新情報を取得します。
情報チャンネル	最新情報を取得します。
オペレータ	カーウイングス情報センターのオペレータを呼び出します。
最速ルート探索	カーウイングス情報センターから最新の交通情報をダウンロードして、最速ルートを探索します。
渋滞情報取得	カーウイングス情報センターから最新の交通情報をダウンロードします。

■ ハンズフリーフォン関連

ハンズフリーフォン関係のコマンドは、停車中のみ使用できます。

ボイスコマンド		動　作
ダイヤル		電話番号を発話して電話をかけます。
短縮ダイヤル		表示されたリストから選んで、電話をかけます。リストに表示されない短縮ダイヤルは、登録した名前の「よみ」で電話をかけます。
ハンズフリー電話帳		携帯電話に登録されている「よみ」を発話して電話をかけます。
発着信履歴	着信履歴	最新の着信履歴5件から番号を選んで、電話をかけます。
	発信履歴	最新の発信履歴5件から番号を選んで、電話をかけます。

アルファベット

A

B

C

D

E

F

G

I

M

U

V

かな

あ

い

う

お

か

さ

し

ち

つ

て

と

な

に

は

ひ

ふ

へ

ほ

ま

み

め

も

ゆ

よ

ら

り

る

ろ

カーウイングスに関するお問い合わせは下記にお願いいたします。

カーウイングスお客さまセンター

0120-981-523

受付時間：**9:00〜17:00**（年末年始を除く）

日産自動車へのご相談は下記にお願いいたします。

お客さま相談室

0120-315-232

受付時間：**9:00〜17:00**

お問い合わせ・ご相談内容につきましては、お客さま対応や品質向上のために記録し活用させていただいております。
なお、内容によっては、当社の販売会社等から回答させていただくことが適切と判断した場合には、必要な範囲で情報を開示し、当該販売会社等からお客さまにご連絡をとらせていただく場合もございますので、あらかじめご了承ください。
当社における個人情報の取り扱いの詳細については、日産自動車ホームページ（http://www.nissan.co.jp）にて掲載しています。

日産自動車株式会社

〒220-8686 神奈川県横浜市西区高島一丁目1番1号

本ナビゲーションシステムは、日産自動車株式会社向けに、クラリオン株式会社が開発・製造しています。

お問い合わせは、「日産自動車株式会社 お客さま相談室」へお願いいたします。